

安濃子育て支援センター移転に伴う 津市安濃保健センター改修工事

	建築工事		電気設備工事		機械設備工事
A - 1	改修工事特記仕様書 1	E - 1	電気設備工事特記仕様書 1	M - 1	機械設備特記仕様書 1
A - 2	改修工事特記仕様書 2	E - 2	電気設備工事特記仕様書 2	M - 2	機械設備特記仕様書 2
A - 3	改修工事特記仕様書 3	E - 3	電気設備工事特記仕様書 3	M - 3	給排水衛生設備、換気設備平面図 改修前・改修後 平面図
A - 4	改修工事特記仕様書 4	E - 4	コンセント設備 平面図	M - 4	わくわくランド、幼児トイレ平面詳細図
A - 5	改修工事特記仕様書 5	E - 5	電灯設備 平面図	M - 5	消火設備平面図 改修前・改修後 平面図
A - 6	改修工事特記仕様書 6	E - 6	弱電設備（1） 平面図		
A - 7	改修工事特記仕様書 7	E - 7	弱電設備（2） 平面図		
A - 8	附近見取図・配置図兼仮設計画図				
A - 9	平面図 内部仕上表（改修前）				
A - 10	平面図 内部仕上表（改修後）				
A - 11	改修前・改修後 平面詳細図 展開図 立面図 断面詳細図				
A - 12	改修前 展開図（1）				
A - 13	改修前 展開図（2）				
A - 14	改修前 展開図（3）				
A - 15	改修後 展開図（1）				
A - 16	改修後 展開図（2）				
A - 17	改修後 展開図（3）				
A - 18	改修前・改修後 天井伏図				
A - 19	建具表・仮設平面図				
A - 20	外構図・雑詳細図				

Ⅰ. 工事名称		安濃子育て支援センター移転に伴う津市安濃保健センター改修工事
Ⅱ. 工事概要		
1	工事場所	津市 安濃町東観音寺 地内
2	敷地面積	37,600㎡
3	工事内容	
	様名称	安濃保健センター
	構造	鉄筋コンクリート造3階建（地下1階）
	建築面積	1,768㎡
	延べ面積	1,768㎡
	工事項目	改修工事
Ⅲ. 建築改修工事仕様		
1	共通仕様	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。		
2	特記仕様	
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。		
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。		
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。		

[illegible]

建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACIOが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

5 三重県産業廃棄物税

本工事に産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

6 電気保安技術者 (1.3.3)

・ 配置する

7 技能士 (1.6.2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

8 施工数量調査 (1.5.2)

調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による

9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)

補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

10 建築材料等

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。

2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

11 化学物質の濃度測定 (1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジロブペンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	●
●	その他	●	●	●	●	●	●

測定対象室及び測定箇所数 () 図示（図面番号：A-9、10） ・ （ ）

測定方法 () バックアップ法 ・ アクティブ法

測定時期 () (改修前、改修後)

報告書提出部数 2部

12 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

13 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

14 工事写真 (1.2.4)

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部（平成31年版））に従い撮影する。

提出部数1部 用紙は上質紙とする。

なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営第211号）」による。

15 完成図等 (1.8.2) (1.8.3)

作成する () 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ）

完成図作図範囲（設計図を訂正）

完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

16 完成写真 ()

デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。

（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部

箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

17 設備工事との取合い

施工範囲

・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強

・ 自動した壁・天井の仕上り・下地材の切込み及び補強

・ 自動閉鎖装置取付け箇所の下切込み及び補強

・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

施工図

・ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

18 既存部分等への取合い (1.13.3)

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。

19 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

20 消防提出書類

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成

・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

21 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

22 不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項

市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資材機等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

23 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

②

騒音・粉じん等の対策
(2.1.3)

・ 防音バネル 設置範囲 ・ 図示 (図面番号:)
 ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示 (図面番号:)
 ・ 図示 (図面番号: A-19)

②

足場
(2.2.1)
(表2.2.1)

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
 内部足場の種別 () 脚立 () 足場板 ()
 外部足場の種別 () 設置範囲 ・ 図示 (図面番号:)
 防護シート等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない
 足場(つり足場、張出し足場又は高さが1.0m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る)の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者
 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

③

既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生 () 図示 (図面番号: A-19)
 既存ブライド・カーテンの養生
 養生方法 ()
 保管場所 ・ 構内既存施設内
 固定された備品、机、ロッカーの移動
 ・ 行う ・ 行わない

④

仮設間仕切り
(2.3.2)
(表2.3.1)

屋内の仮設間仕切り ・ A種 () B種 ・ C種
 合板 厚さ 9mm ()
 せっこうボード 厚さ 9.5mm ()
 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う () 行わない
 仮設扉 () 図示 (図面番号: A-19)
 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ ()

5

監督員事務所
(2.4.1)

・ 構内建物内の一部を使用する。
 ・ 設置する ・ 設置しない
 監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

 監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

6

監督員事務所の設備・備品等
(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑦

仮設便所

構内既存の施設
 () 利用できる ・ 利用できない

⑧

工事用水

構内既存の施設
 () 利用できる (・ 有償 () 無償) ・ 利用できない

⑨

工事用電力

構内既存の施設
 () 利用できる (・ 有償 () 無償) ・ 利用できない
 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑩

交通誘導警備員

配置 () 図示 (図面番号: A-08)

③ 防水改修工事

1

アスファルト防水
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・ PIB

・ B-1 ・ B-2 ・ B-3

・ PIE

・ E-1 ・ E-2

・ P2E

改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, P0D1, M3D1, M4D1)

材質 ・ ()

・ 押出法ポリステレンフォーム断熱材 3種 b A (スキンあり)

・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号

・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号

厚さ ・ ()

ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)

(3.3.3) (2) (4)

脱気装置 (M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1)

(3.3.3) (3)

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())

・ 設けない

・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()

(3.3.5)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()

床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()

(表8.1.5)

こて仕上げの場合のコンクリートの平坦さ

・ a 種 ・ b 種 ・ c 種

保護層 ・ 設ける ・ 設けない

屋上排水溝の適用 ・ 適用する

立上り保護

・ 乾式保護材 ()

・ れんが (材質 ・ JIS R1250)

2

改質アスファルトシート防水
(3.4.2)

改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, P0AS1)

材質、厚さ ()

図示 ・ ()

(3.4.3)

(表3.4.1)～
(表3.4.3)

工 法

種 別

施 工 箇 所

仕 上 塗 料

・ M4AS

・ AS-T1 ・ AS-T2
・ AS-J2

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())

・ 設けない

3

合成高分子系
ルーフィング
シート防水
(3.5.2)

ルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()

断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質、厚さ ()

・ 図示 ()

(3.5.3)

(表3.5.1)～
(表3.5.3)

工 法

種 別

種 別

仕 上 塗 料

・ S3S

・ S-F1 (S1-F1)

・ S3S1

・ S-F2 (S1-F2)

(3.5.3)

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())

・ 設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理 ・ 図示 (図面番号:)

増張り ・ 図示 (図面番号:)

機械式固定方法

風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:)

保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)

4

塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3) (1)

工 法

種 別

施 工 箇 所

仕 上 塗 料

・ POX

・ X-1 ・ X-2

・ L4X

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())

・ 設けない

(3.6.3) (2)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・ PIY

・ Y-2

・ PZY

保護層 ・ 図示 (図面番号:)

5

既存防水層表面
の仕上塗装の除
去
(3.2.6) (3) (イ)
(3.2.6) (3) (ハ)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)

・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う ・ 行わない

6

材料		
(3.7.2) (表3.7.1)	種類	材種
	・ SR-1	シリコン系
	・ MS-2	変成シリコン系
	・ PS-2	ポリサルファイド系
(3.7.4~7)	・ PU-2	ポリアウレタン系
(3.7.8)	工法	施工箇所
	・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法	ガラス廻り、衛生器具廻り 外部建具廻り、アルミ製庇廻り
7	シーリング材の試験	
	・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない	
(3.8.2) (表3.8.1) (表3.8.2)	材質	硬質ポリ塩化ビニル管（カラー） ・ （ ）
	・ 配管用銅管（白管）	
	とい受金物及び足金物	
	といの材種	形状
		取付け間隔
	工法	図示（図面番号： ）
8 アルミニウム製 笠木	部材の種類	
	・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形（本体幅（ ）mm、板厚 ・ 2.0mm ・ （ ））	
(3.9.3)(2)	固定金具の間隔（ mm）	
	固定方法 ・ （ ）	
(3.9.2)(4) (3.9.3)	表面処理 ・ （ ）	
	工法	既存笠木等の撤去 ・ 図示（図面番号： ） 下地補修の工法 ・ 図示（図面番号： ） 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示（図面番号： ） 笠木固定金具の工法 ・ 図示（図面番号： ）
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。		
1 施工数量調査	・ 行う ・ 行わない	
	調査範囲 ・ 全面 ・ （ ） 調査項目 ・ ひび割れ部（ 幅0.2mm未満 ・ 0.2mm以上～1.0mm以下 ・ 1.0mm以上超） ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等（ ・ 足場 ・ ゴンドラ） 報告書 2部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）	
2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	外壁	種類
	・ コンクリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部
		欠損部
		ひび割れ部
		欠損部
	・ モルタル塗り仕上 げ外壁	浮き部
		目地
	・ タイル張り仕上げ 外壁	新規仕上げ
		薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マステック塗材塗り 外壁用塗膜防水材塗り

3

3	改修工法等	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 種類 <ul style="list-style-type: none"> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入量 () 注入間隔 () 手動式エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入量 () 注入口間隔 () 機械式エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入量 () 注入口間隔 () 材料 <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂) <ul style="list-style-type: none"> 低粘度形 中粘度形 コア抜取検査 <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない 抜取り個数 () 抜取り部分補修方法 ()
(4.2.2)(1)	(4.3.4)	
(4.4.5)	(4.5.5)	
(4.2.2)(2)	(4.3.5)	<ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 <ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> シーリング用材充填 <ul style="list-style-type: none"> (・ P U - 1 ・ P U - 2 ・ ()) 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない
(4.2.2)(3)	(4.3.6)	<ul style="list-style-type: none"> シール工法 <ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂
(4.4.7)		
(4.2.2)(4)	(4.3.7)	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 <ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル
(4.4.8)		
(4.2.2)(7)	(4.4.9)	<ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 <ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> 現場調査材料 既調合材料 既製目地材の適用及び形状 () 仕上げ厚 ()
(4.2.2)(5)	(4.4.10)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.1)		<ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()
(4.2.2)(5)	(4.4.11)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.2)		<ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()
(4.2.2)(5)	(4.4.12)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.3)		<ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()
(4.2.2)(6)	(4.4.13)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.3)		<ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.2.2)(6)	(4.4.14)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.4)		<ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.2.2)(6)	(4.4.15)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.4)		<ul style="list-style-type: none"> 材料 <ul style="list-style-type: none"> ポリマーセメントスラリー () 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()) 呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.2.2)(8)	(4.5.7)	<ul style="list-style-type: none"> タイル部分張替え工法 <ul style="list-style-type: none"> 張替え材料 <ul style="list-style-type: none"> ポリマーセメントモルタル 接着剤 (一液反応硬化型変成シリコーン樹脂) ・ ()

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調合モルタル ・ 使用する ・ 使用しない

(4.2.2)(8)	(4.5.8)	(表4.5.4)	<ul style="list-style-type: none"> タイル張替え工法 <table> <tr> <th>タイルの種類</th><th>タイルの大きさ</th><th>工法</th><th>塗り厚(mm)</th></tr> <tr> <td rowspan="3">外装 タイル</td><td rowspan="3">小口以上二丁掛け以下</td><td>・ 密着張り</td><td>5～8</td></tr> <tr> <td>・ 改良積み上げ張り</td><td>7～10</td></tr> <tr> <td>・ 改良圧着張り</td><td>下地側 4～6 タイル側 3～4</td></tr> <tr> <td rowspan="2">ユニットタイル</td><td>・ 25mm角を超え小口未満</td><td>・ マスク張り</td><td>3～4</td></tr> <tr> <td>・ 小口未満</td><td>・ モザイクタイル貼り</td><td>3～5</td></tr> </table> 	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)	外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5～8	・ 改良積み上げ張り	7～10	・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4	ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ マスク張り	3～4	・ 小口未満	・ モザイクタイル貼り	3～5
タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)																			
外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5～8																			
		・ 改良積み上げ張り	7～10																			
		・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4																			
ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ マスク張り	3～4																			
	・ 小口未満	・ モザイクタイル貼り	3～5																			

(4.5.15)

- 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
 - 注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2)(9)

- 目地ひび割れ部改修工法
- 伸縮調整目地改修工法
 - 伸縮調整目地
 - (位置 寸法 ×)
 - 検査
 - シーリング接着性試験
 - 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4塗り仕上げ
(4.2.2)(10)
(表4.2.4(その1)
(その2))

種 類

呼び名

仕上げ形状

工法

薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材 E

・ ゆず肌状
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ゆず肌状
・ さざ波状
・ 着色骨材砂壁状

吹付け
こて
ローラー
吹付け
こて

厚付け仕上塗材

・ 外装厚塗材 C

・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ひき起し
・ 掻き落とし

吹付け
こて

複層仕上塗材

・ 複層塗材 E
・ 複層塗材 RE
・ 防水形複層塗材 E
・ 防水形複層塗材 RE

・ 凸部処理
・ 凹凸状

吹付け
吹付け
ローラー
吹付け

可とう形改修用
仕上塗材

・ 可とう形改修塗材 E
・ 可とう形改修塗材 RE
・ 可とう形改修塗材 OE

・ 平たん状
・ さざ波状
・ ゆず肌状

ローラー
吹付け

・ 外装厚塗 C の上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m2)

・ マスチック塗材塗り ・ A 種 ・ B 種

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
・ アクリル シリコン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
・ ふっ素系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け
	・ 凸部処理	
	・ ゆず肌状	・ ローラー
	・ さざ波状	

既存塗膜等の除去及び下地処理

工 法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)	

下地調整
・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

⑤ 建具改修工事

① 改修工法
(5.1.3)

・ かぶせ工法
・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

・ 撤去工法
・ はつり工法 ・ 引抜き工法

2 防火戸
(5.1.4)

・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:)
・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)

3 見本の製作
(5.1.5)

・ 製作する ・ 製作しない

4 防犯建物部品
(5.1.7)

・ 図示 (図面番号:)

5 ブラインドボックス等
(5.1.6)(3)

・ 再使用する ・ 再使用しない

⑥ アルミニウム製建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1)

(表5.2.2)

外部建具の性能等級等 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ ()
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類
・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)
・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()
・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)
・ BB-1 ・ BB-2 ・ ()
・ 内部に面する建具
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()

⑦ 網戸
(5.2.3)(5)

8 樹脂製建具
(5.3.2)~(5.3.5)
(表5.3.1)~
(表5.3.3)

9 鋼製建具
(5.4.2)

(5.4.4)

⑩ 鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1)

11 ステンレス製建具
(5.6.2)
(5.4.2)

(5.6.3)
(5.6.4)
(5.6.5)

⑫ 建具用金物
(5.7.2)

(5.7.4)

13 自動ドア開閉装置
(5.8.2)

(5.8.3)
(表5.8.4)

(5.8.3)(7)

14 自閉式上吊り引戸装置
(5.9.3)

15 重量シャッター
(5.10.2)

(5.10.2)(3)
(表5.10.1)

(5.10.2)(6)
(5.10.3)

16 軽量シャッター
(5.11.2)
(表5.11.1)
(5.11.3)
(5.11.4)

・ 可動式 ・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製
網目
・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

外部に面する樹脂製建具の性能等級等
・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
ガラス ・ 複層ガラス ・ ()
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:)
水切り ・ 図示 (図面番号:)
ぜん板 ・ 図示 (図面番号:)
丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:)

鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2Iによる

鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1Iによる

表面仕上げ
・ 塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
・ (焼付塗装)

ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

材料 ・ SUS304 ・ ()

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

金物の見え掛かり部等の材質等
・ 改修標準仕様書 (表5.7.1) による
・ 図示 (図面番号:)

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレ出入口用)
・ 図示 (図面番号:)

引き戸用検出装置の種類
・ 図示 (図面番号:)

凍結防止措置 ・ あり ・ なし

自閉式上吊り引戸装置の性能値
・ 改修標準仕様書 (表5.9.1) による ・ ()

種類
・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター

耐風圧強度 (Pa以上)

開閉機能
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式

一般重量シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()

開閉形式
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式

耐風圧強度 (Pa以上)

スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()
JIS G 3322 ・ A290 ・ ()

17 オーバーヘッドドア
(5.12.2)

(5.12.3)
⑧ 板ガラス
(5.13.2)(1)
(5.13.4)
⑨ ガラス留め材
(5.13.2)(2)
⑩ ガラス溝の寸法、形状等
(5.13.3)

21 ガラスブロック積み
(5.13.5)

型式及び機構
セクション材料
・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧強度 (Pa以上)
開閉方式
・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式
・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形
ガイドレール
・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
・ 図示 (図面番号: A-19)

・ シーリング ・ ガスケット ()
・ 図示 (図面番号:)
・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)
金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)

化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)
工法 ・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥ 内装改修工事

① 一般事項
(6.1.3)(2)

(6.1.3)(3)

(6.1.3)(5)

② 既存床撤去、下地補修
(6.2.2)(1)(7)

(6.2.2)(1)(4)

(6.2.2)(3)

3 既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)

④ 木下地等
(6.5.1)(3)
(表6.5.1)
(表6.5.2)
(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.3)

(6.5.2)(2)(7)

(6.5.2)(2)(4)
(6.5.2)(2)(9)
(表6.5.4)

(6.5.2)(3)(7)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改 修 範 囲
・ 天井	・ 図示 (図面番号:)
・ 壁	・ 図示 (図面番号:)
・ 床	・ 図示 (図面番号:)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・ 図示 (図面番号: A-18) ・ ()

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・ 図示 (図面番号: A-11) ・ ()

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・ 行う ・ 行わない

合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・ ()

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・ ()

表面仕上げ
機械加工 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
手加工 ・ H-A 種 ・ H-B 種 ・ H-C 種

木材の含水率 (工事現場搬入時・質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A 種 ・ B 種
造作材	・ A 種 ・ B 種

製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用 針葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
造作用 針葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
広葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)
造作材の材面の品質 ・ A 種 ・ ()
樹種

部 位	樹 種	県 産 材

造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
化粧ばり構造用 造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ ()

アル テ ッ ク 設 計

津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊 藤 公 智

原図：A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

改修工事特記仕様書 3

A - 3

S： non

	(6.5.2)(3)(f)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １５％以下 ・ （ ）																											
	(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th><th>品名・寸法</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td></tr> </table>	部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）																			
部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理																										
造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）																										
(6.5.2)(4)(f)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １４％以下 ・ （ ）																												
(6.5.2)(5)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）																												
(6.5.2)(6)	・ 合板等 <table border="1"> <tr> <th>品名（品目）</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理等</th><th>厚さ</th></tr> <tr> <td>耐水77%合板</td><td>針葉樹</td><td>1類</td><td>2級</td><td>C-D以上</td><td>2級</td><td>12mm</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ	耐水77%合板	針葉樹	1類	2級	C-D以上	2級	12mm														
品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																							
耐水77%合板	針葉樹	1類	2級	C-D以上	2級	12mm																							
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ （ ）																												
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ）																												
(6.5.5)(1)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示（図面番号： ） 保存処理性能区分（ ） 薬剤の塗布等の処理方法（ ） 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する（ ・ 薬剤の種類（ ） ・ 適用部材（ ）） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ）																												
(6.5.5)(2)	・ 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）																												
⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 <div> <div>○</div> <div>●</div> </div> 屋内 19形 ・ （ ） 屋外 25形 ・ （ ） 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ） ・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ） ・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示（図面番号： ）																												
6	軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	既存埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う） 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（ 図示（図面番号： ）） ○ 行わない ・ 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 確認強度（ ） 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ）																											
	⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(f)	材料 ● ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】 <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>F S</td><td>マーブル</td><td>2.5mm</td><td>多湿部</td></tr> <tr> <td>F S</td><td>マーブル</td><td>2.0mm</td><td>一般部</td></tr> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	F S	マーブル	2.5mm	多湿部	F S	マーブル	2.0mm	一般部															
種類の記号	色柄	厚さ	備考																										
F S	マーブル	2.5mm	多湿部																										
F S	マーブル	2.0mm	一般部																										
(6.8.2)(2)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】 <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>K T</td><td></td><td></td><td>2.0mm</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	K T			2.0mm																			
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																									
K T			2.0mm																										
(6.8.2)(3)(7)(f)	・ 帯電防止床シート又は床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>性能</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	性能	寸法	厚さ	備考																							
種類	性能	寸法	厚さ	備考																									
(6.8.2)(3)(9)	・ 視覚障害者用床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>形状</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td><td>300×300×7.0mm</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm																							
種類	形状	備考																											
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																												
(6.8.2)(3)(x)	・ 耐動荷重性床シート <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	厚さ	備考																									
種類	厚さ	備考																											
(6.8.2)(3)(7)(h)	・ 防滑性床シート又は床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	寸法	厚さ	備考																								
種類	寸法	厚さ	備考																										
(6.8.2)(5)	・ ゴム床タイル <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	色柄	寸法	厚さ	備考																							
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																									
(6.8.3)(1)	工法 下地 ○ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他（ ）																												

8	(6.8.3)(2)(9)	<p>ビニル床シート張り 熱溶接工法 ○ 適用する ・ 適用しない</p>																							
	8 カーベツト敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)	<p>・ 織じゅうたん</p> <table> <tr> <th>種別</th><th>糸の種類</th><th>パイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th><th>色柄</th></tr> <tr> <td>・ A種</td><td>・ そ毛</td><td>・ カットパイル</td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td><td>・ ()</td><td>・ 無地</td></tr> <tr> <td>・ B種</td><td>・ 紡糸</td><td>・ ループパイル</td><td></td><td></td><td>・ 柄物</td></tr> <tr> <td>・ C種</td><td>・ ()</td><td>・ カット、ループ併用</td><td>・ ()</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p>	種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・ A種	・ そ毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地	・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル			・ 柄物	・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()	
種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																				
・ A種	・ そ毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地																				
・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル			・ 柄物																				
・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()																						
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	<p>・ タフテッドカーベツト</p> <table> <tr> <th>パイルの形状</th><th>パイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td>・ カットパイル</td><td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td><td>・ 全面接着工法</td><td></td></tr> <tr> <td>・ ループパイル</td><td></td><td></td><td>・ グリッパ工法</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td><td></td><td>・ ()</td><td></td><td></td></tr> </table>	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法		・ ループパイル			・ グリッパ工法	・ ()	・ カット、ループ併用		・ ()						
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																					
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法																						
・ ループパイル			・ グリッパ工法	・ ()																					
・ カット、ループ併用		・ ()																							
(6.9.2)(3)	<p>・ ニードルパンチカーベツト</p> <table> <tr> <th>厚さ(mm)</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ ()</td><td></td></tr> </table>	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下			・ ()																
厚さ(mm)	帯電性	備考																							
	・ 人体帯電圧 3KV以下																								
	・ ()																								
(6.9.2)(4) (表6.9.2)	<p>・ タイルカーベツト</p> <table> <tr> <th>種類</th><th>パイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td></td><td>・ カットパイル</td><td>・ 500×500</td><td>・ 6.5</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ループパイル</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table>	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()									
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																					
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()																					
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()																					
(6.9.2)(5)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()																								
(6.9.2)(6)	見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号:))																								
(6.9.3)(3)	<p>織じゅうたんの接合法</p> <p>・ ヒートボンド工法 ・ ()</p>																								
(6.9.3)(5)	<p>タイルカーベツトの敷き方</p> <table> <tr> <td>平場</td><td>・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()</td></tr> <tr> <td>階段部分</td><td>・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()</td></tr> </table>	平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()	階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()																				
平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()																								
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()																								
9	合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)	<p>弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程</p> <p>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p>																							
	(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	<p>エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類</p> <p>・ 薄膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)</p> <p>・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ(・ 平滑)</p>																							
	⑩ フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	<p>・ 釘留め工法</p> <table> <tr> <th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td><td></td><td rowspan="3">・ なら ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> <p>防湿処理 ・ 図示(図面番号:)</p>	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種															
材料	種別	樹種																							
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()																							
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種																								
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	<p>○ 接着工法</p> <table> <tr> <th>材種</th><th>樹種</th><th>厚さ</th><th>大きさ</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○ ・ フローリングブロック(直張用)</td><td>○ ・ なら ・ ()</td><td>○ 15</td><td>○ 300×300</td></tr> <tr> <td>・ 複合フローリング(直張用)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード(直張用)				○ ・ フローリングブロック(直張用)	○ ・ なら ・ ()	○ 15	○ 300×300	・ 複合フローリング(直張用)				・ A種 ・ B種 ・ C種							
材種	樹種	厚さ	大きさ																						
・ フローリングボード(直張用)																									
○ ・ フローリングブロック(直張用)	○ ・ なら ・ ()	○ 15	○ 300×300																						
・ 複合フローリング(直張用)																									
・ A種 ・ B種 ・ C種																									
	緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)																								
(6.11.6)(3)	<p>塗装</p> <p>・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)</p> <p>・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り</p> <p>・ 生地そのままワックス塗り</p> <p>・ ()</p>																								
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>・ D種の畳床 K Tー(・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)</p>																								
⑫ セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table> <tr> <th>材種</th><th>種別</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr> <td rowspan="2">○ セッコウボード</td><td></td><td>壁 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)</td></tr> <tr> <td></td><td>天井 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">○ 化粧セッコウボード</td><td>○ トラバーチン模様</td><td>・ 9.5(不燃) ○ 9.5(準不燃)</td></tr> <tr> <td>・ 木目模様</td><td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ ロックウール化粧吸音板</td><td>・ 普通</td><td>・ 9() ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 立体模様</td><td>・ 9() ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td><td>・ タイプII 0.8FK</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 耐水セッコウボード</td><td></td><td>○ 12.5(不燃)</td></tr> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	○ セッコウボード		壁 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)		天井 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)	○ 化粧セッコウボード	○ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ○ 9.5(準不燃)	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9() ・ ()	・ 立体模様	・ 9() ・ ()	・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK		○ 耐水セッコウボード		○ 12.5(不燃)
材種	種別	厚さ(mm)																							
○ セッコウボード		壁 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)																							
		天井 ○ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)																							
○ 化粧セッコウボード	○ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ○ 9.5(準不燃)																							
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																							
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9() ・ ()																							
	・ 立体模様	・ 9() ・ ()																							
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK																								
○ 耐水セッコウボード		○ 12.5(不燃)																							
(6.13.2)(8)	<p>遮音シール材</p> <p>・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</p>																								
(6.13.3)(5)(9)	<p>合板類の張付け</p> <p>・ A種 ○ B種</p>																								
(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5)	<p>セッコウボードの目地工法</p> <p>○ 継目処理 ○ 突付け ・ 目透し</p>																								
⑬	壁紙張り (6.14.2)	<table> <tr> <th>施工箇所</th><th>種類</th><th>防火性能</th></tr> <tr> <td>わくわくランド、倉庫、事務室、健康相談室</td><td>中級品</td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> </table>	施工箇所	種類	防火性能	わくわくランド、倉庫、事務室、健康相談室	中級品	・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃											
施工箇所	種類	防火性能																							
わくわくランド、倉庫、事務室、健康相談室	中級品	・ 不燃 ・ 準不燃																							
		・ 不燃 ・ 準不燃																							
		・ 不燃 ・ 準不燃																							

<div> <div>14</div> <div>モルタル塗り</div> <div>(6.15.3)</div> <div>(6.15.5)</div> <div>(6.15.6)</div> </div> <div> <div>15</div> <div>タイル張り</div> <div>(6.16.2)</div> <div>(6.16.3)</div> </div> <div> <div>(6.16.3)</div> <div>(2)</div> </div>	<div> <div>モルタル</div> <div>・ 現場調合材料</div> <div>・ 既調合材料</div> </div> <div> <div>既製目地材</div> <div>・ 使用する（形状： ）</div> </div> <div> <div>床の目地</div> <div>・ 図示（図面番号： ）</div> </div> <div> <div>下地処理</div> <div>・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示（図面番号： ）</div> </div> <div> <div>伸縮調整目地</div> <div>位置</div> <div>・ 図示（図面番号： ）</div> </div> <div> <div>タイルの種類</div> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>工 法</th><th>種 類</th><th>形状寸法</th><th>耐滑り性</th><th>うわぐすり</th><th>役 物</th><th>標準・特注色の別</th><th>耐凍害性の有無</th></tr> <tr> <td>外構ステップ</td><td>圧着張り</td><td>I 類(磁器)</td><td>段鼻100角</td><td>－</td><td>無</td><td>不要</td><td>標準</td><td>無</td></tr> <tr> <td>外壁</td><td>密着張り</td><td>I 類(磁器)</td><td>75角</td><td>－</td><td>無</td><td>不要</td><td>標準</td><td>無</td></tr> <tr> <td>内壁</td><td>密着張り</td><td>I 類(磁器)</td><td>150角</td><td>－</td><td>無</td><td>不要</td><td>標準</td><td>無</td></tr> </table> </div> <div> <div>試験張り</div> <div>・ 行う</div> <div>・ 行わない</div> </div> <div> <div>見本焼き</div> <div>・ 行う</div> <div>・ 行わない</div> </div> <div> <div>既調合モルタル</div> <div>・ 使用できる</div> <div>・ 使用できない</div> </div>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無	外構ステップ	圧着張り	I 類(磁器)	段鼻100角	－	無	不要	標準	無	外壁	密着張り	I 類(磁器)	75角	－	無	不要	標準	無	内壁	密着張り	I 類(磁器)	150角	－	無	不要	標準	無	<div> <div>16</div> <div>セルフレベリング材塗り</div> <div>(6.17.2)</div> <div>(6.17.3)</div> </div> <div> <div>17</div> <div>断熱材</div> <div>(9.5.2)</div> </div> <div> <div>(9.5.3)</div> </div>	<div> <div>・ セッコウ系</div> <div>・ セメント系</div> </div> <div> <div>塗厚（ ）mm</div> </div> <div> <div>断熱材打込み工法</div> <table> <tr> <th>種類</th><th>種別</th><th>厚さ（mm）</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ A 種硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ グラスウール</td><td>24kg/m³</td><td>50</td><td>幼児用便所（壁、天井）、事務室（壁）</td></tr> </table> </div> <div> <div>断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）</div> <table> <tr> <th>種類</th><th>厚さ〔mm〕</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ A 種 1</td><td></td><td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版</td></tr> <tr> <td>・ A 種 1 H</td><td>・ （ ）</td><td>・ 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td></tr> <tr> <td>・ （ ）</td><td></td><td>・ （ ）</td></tr> </table> </div>	種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A 種硬質ウレタンフォーム				・ グラスウール	24kg/m ³	50	幼児用便所（壁、天井）、事務室（壁）	種類	厚さ〔mm〕	施工箇所	・ A 種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版	・ A 種 1 H	・ （ ）	・ 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ （ ）		・ （ ）	<div> <div>1</div> <div>材料</div> <div>(7.1.3)</div> </div> <div> <div>2</div> <div>下地調整</div> <div>(7.2.1～7.2.7)</div> <div>(表7.2.1)～</div> <div>(表7.2.7)</div> </div> <div> <div>3</div> <div>錆止め塗料塗り</div> <div>(7.3.2)</div> <div>(7.3.3)</div> <div>(表7.3.1)～</div> <div>(表7.3.4)</div> </div> <div> <div>4</div> <div>合成樹脂調合ベイント塗り(SOP)</div> <div>(7.4.2)</div> <div>(7.4.3～7.4.5)</div> <div>(表7.4.1)～</div> <div>(表7.4.3)</div> </div> <div> <div>5</div> <div>クリヤラッカー塗り(CL)</div> <div>(7.5.2)</div> <div>(表7.5.1)</div> </div> <div> <div>6</div> <div>アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)</div> <div>(7.7.2)</div> <div>(表7.7.1)</div> </div> <div> <div>7</div> <div>耐候性塗料塗り(DP)</div> <div>(7.8.2)～</div> <div>(7.8.4)</div> <div>(表7.8.1)～</div> <div>(表7.8.3)</div> </div>	<div> <div>・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</div> <div>・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）</div> </div> <div> <div>既存塗膜の除去範囲（塗り替えてR B 種の場合）</div> <div>・ 図示（図面番号： ）</div> </div> <div> <div>種別</div> <table> <tr> <th>下地</th><th>種別</th><th>ひび割れ部の補修</th></tr> <tr> <td>・ 木部</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td></tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td></tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td></tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ セッコウボード、その他ボード面</td><td>・ RA種</td><td>・ RB種</td><td>・ RC種</td><td></td></tr> </table> </div> <div> <div>錆止め塗料種別</div> <div>鉄鋼面</div> <div>・ A 種</div> <div>・ B 種</div> </div> <div> <div>亜鉛めっき鋼面</div> <div>・ A 種</div> <div>・ B 種</div> <div>・ C 種</div> </div> <div> <div>錆止め塗料塗り種別</div> <div>鉄鋼面</div> <div>・ A 種</div> <div>・ B 種</div> <div>・ C 種</div> </div> <div> <div>亜鉛めっき鋼面</div> <div>・ A 種</div> <div>・ B 種</div> <div>・ C 種</div> </div> <div> <div>塗料種別</div> <div>・ 1 種</div> <div>・ （ ）</div> </div> <div> <div>種別</div> <table> <tr> <th>下地</th><th>種別</th></tr> <tr> <td>・ 木部</td><td>・ A 種</td><td>・ B 種</td><td>・ C 種</td></tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td><td>・ A 種</td><td>・ B 種</td><td>・ C 種</td></tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種</td><td>・ B 種</td><td>・ C 種</td></tr> </table> </div> <div> <div>種別</div> <div>木部</div> <div>・ A 種</div> <div>・ B 種</div> </div> <div> <div>種別</div> <div>・ A 種</div> <div>・ B 種</div> </div> <div> <div>上塗り等級</div> <div>・ 1 級（フッ素系）</div> <div>・ 2 級（シリコン系）</div> <div>・ 3 級（ポリウレタン系）</div> </div> <div> <div>下地</div> <table> <tr> <th>下地</th><th>種別</th></tr> <tr> <td>鉄鋼面</td><td>・ A 種</td><td>・ B 種</td><td>・ C 種</td></tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種</td><td>・ B 種</td><td>・ C 種</td></tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td><td>・ A－1 種</td><td>・ A－2 種</td><td>・ B－1 種</td><td>・ B－2 種</td><td>・ C－1 種</td><td>・ C－2 種</td></tr> </table> </div>	下地	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ モルタル、プラスター面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う	・ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種		下地	種別	・ 木部	・ A 種	・ B 種	・ C 種	・ 鉄鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種	下地	種別	鉄鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種	亜鉛めっき鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A－1 種	・ A－2 種	・ B－1 種	・ B－2 種	・ C－1 種	・ C－2 種
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無																																																																																																																																			
外構ステップ	圧着張り	I 類(磁器)	段鼻100角	－	無	不要	標準	無																																																																																																																																			
外壁	密着張り	I 類(磁器)	75角	－	無	不要	標準	無																																																																																																																																			
内壁	密着張り	I 類(磁器)	150角	－	無	不要	標準	無																																																																																																																																			
種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所																																																																																																																																								
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																											
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																											
・ A 種硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																											
・ グラスウール	24kg/m ³	50	幼児用便所（壁、天井）、事務室（壁）																																																																																																																																								
種類	厚さ〔mm〕	施工箇所																																																																																																																																									
・ A 種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版																																																																																																																																									
・ A 種 1 H	・ （ ）	・ 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																																																																																																																									
・ （ ）		・ （ ）																																																																																																																																									
下地	種別	ひび割れ部の補修																																																																																																																																									
・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																																																																																																																								
・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																																																																																																																								
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																																																																																																																								
・ モルタル、プラスター面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う																																																																																																																																							
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う																																																																																																																																							
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う																																																																																																																																							
・ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																																																																																																																								
下地	種別																																																																																																																																										
・ 木部	・ A 種	・ B 種	・ C 種																																																																																																																																								
・ 鉄鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種																																																																																																																																								
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種																																																																																																																																								
下地	種別																																																																																																																																										
鉄鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種																																																																																																																																								
亜鉛めっき鋼面	・ A 種	・ B 種	・ C 種																																																																																																																																								
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A－1 種	・ A－2 種	・ B－1 種	・ B－2 種	・ C－1 種	・ C－2 種																																																																																																																																					

8 の 3 耐震 改修 工事 共通事項	8 つや有合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)～(7.9.5) (表7.9.1)～ (表7.9.4)	<table><tr><th>種別</th><th>種別</th></tr><tr><td>下地</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()</td></tr><tr><td>コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面</td><td></td></tr><tr><td>木部 (屋内)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr><tr><td>鉄鋼面 (屋内)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面 (屋内)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr></table>	種別	種別	下地	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面		木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
	種別	種別												
	下地	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()												
	コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面													
	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種												
	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種												
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種													
9 合成樹脂エマ ルションペイン ト塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()													
10 合成樹脂エマ ルション模様 塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種													
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種													
12 オイルステ ィン塗り (OS) (7.13.2) (表7.13.1)	塗料 ()													
13 木材保護塗料 塗り (WP) (7.14.2) (表7.14.1)	種別 ・ A種 ・ B種													
8 の 1 耐震 改修 工事 共通事項	8 (一般事項) 1 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 工事種別 ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 ・ 土工事及び地業工事												
	8 の 2 耐震 改修 工事 撤去 工事	1 既存部分の撤去等 (8.21.2) 撤去の範囲 ・ 図示 (図面番号：) ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 () 既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 () 撤去範囲 ・ 図示 (図面番号：) 2 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4) 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示 (図面番号：) はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 <table><tr><th>鉄筋の切断</th><th>範囲</th><th>適用</th></tr><tr><td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td><td>・ 図示 (図面番号：) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし</td><td></td></tr><tr><td>・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td><td>・ 図示 (図面番号：) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし</td><td></td></tr><tr><td>・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td><td>・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()</td><td></td></tr></table> はつりだした鉄筋の処置 ・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 () はつりだした鉄骨の処置 ・ 発泡スチロール等で養生する。 () 既存構造体コンクリート面の目荒らし 目荒らし程度 ・ 平均深さ2～5mmで最大深さ5～7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15～30%程度の面積となるように施す。 ・ 図示 (図面番号：) (既存部分の処理) 3 既存構造体コン クリート面の 目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号：) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし		・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号：) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし		・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	
鉄筋の切断	範囲	適用												
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号：) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし													
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号：) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし													
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()													

8
の
3

耐震
改修
工事

鉄筋
工事

1鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

2溶接金網
(8.2.2)

3加工
(8.3.2)

4鉄筋の継手及び定着
(8.3.4)

5鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(8.3.5)
(表8.3.6)

6各部配筋

7ガス圧接
(8.3.8)

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

8割製補強筋
(8.21.6)
(8.22.7)

9鉄筋の機械式継手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

材料改修標準仕様書(表8.2.1)による

種別	径(mm)
・SD295A	D10
・SD345	
・SD390	
・()	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)

90°未満の折曲げの内法直径

・図示(図面番号:)

	径	部位
重ね継手	・D16以下	土間コンクリート
ガス圧接	・D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

・改修標準仕様書(8.3.4)(3)(7)による

・図示(図面番号:)

継手位置

・各部配筋参考図による

・図示(図面番号:)

先組み工法等

・柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ

・改修標準仕様書(表8.3.4)による

・(表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法

・図示(図面番号:)

図示(図面番号:)

帯筋組立の形、継手及び定着

・図示(図面番号:)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

・()mm

・図示

圧接完了後の試験

超音波探傷試験

・行う

・行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スパイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼	・R235	・6Φ ・9Φ ・()	スパイラルの径(mm) () スパイラルのピッチ(mm) ()	・図示(図面番号:)
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・295A	・10 ・() ・()	壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	

・機械式継手

種類()

性能()

施工完了後の継手部の試験()

不合格となった継手部への措置等()

適用箇所()

鉄筋相互のあき()mm

・溶接継手

工法()

性能()

溶接完了後の溶接部の試験()

不合格となった溶接部への措置等()

適用箇所()

鉄筋相互のあき()mm

8
の
4

耐震
改修
工事

コンクリート工事

(コンクリート工事一般事項)

1コンクリートの種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)
(8.9.1)
(8.9.2)
(表8.9.1)

2構造体コンクリートの仕上り
(8.1.4)
(表8.1.4)
(表8.1.5)

(コンクリート)

3コンクリートの材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

コンクリートの種類

・I類

・II類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
・21	土間コンクリート	・2.3t/m3程度	18
・()			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度Fc [N/mm2]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ
・36	・1種			
	・2種			
・()				

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別

・A種

・B種

・C種

コンクリートの仕上りの平たんさ

・a種

・b種

・c種

セメントの種類

・普通ポルトランドセメント

・高炉セメントA種

・シリカセメントA種

・フライアッシュセメントA種

・()

・高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種

適用箇所()

		<p>骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none">・ A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制)・ A (安全と認められる骨材を使用) <p>なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特殊な骨材の使用<ul style="list-style-type: none">・ フェロニッケルスラグ細骨材・ 銅スラグ細骨材・ 電気炉酸化スラグ骨材・ 再生骨材 H (普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)																					
4	混和材料 (8.2.5)	<ul style="list-style-type: none">・ 混和剤 <p>混和剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none">・ 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (a) による・ 図示 (図面番号:) <ul style="list-style-type: none">・ 混和材 <p>混和材の種類</p> <ul style="list-style-type: none">・ 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (b) による・ 図示 (図面番号:)																					
5	調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	<p>構造体強度補正值 (S)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 3 N/mm² ・ 6 N/mm² ・ ()																					
6	養生 (8.7.7)	<ul style="list-style-type: none">・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()																					
7	型枠 (8.2.7) (8.7.8)	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none">・ 複合合板 (厚さ ・ 12mm ・ ()) ・ 普通合板 <p>スリーブ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 材種 () 規格 () <p>型枠存置期間及び取外し</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()																					
8	暑中コンクリート (8.10.2)	<p>構造体強度補正值 (S)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 6N/mm² ・ ()																					
9	無筋コンクリート (8.11.1)	<p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普通コンクリート ・ () <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none">・ 18N/mm² ・ () <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 15cm ・ 18cm ・ ()																					
<p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p>																							
10	コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	<p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table><tr><th>補強工法</th><th>打設工法</th><th>部位</th></tr><tr><td rowspan="4">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td><td>・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td rowspan="4">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td><td>・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td>・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td></tr></table>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()
補強工法	打設工法	部位																					
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
	・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
	・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																					
(8.23.6)	<p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none">・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む・ () <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 図示 (図面番号:) <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 図示 (図面番号:) ・ 60mm ・ ()																						
11	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	<ul style="list-style-type: none">・ 図示 (図面番号:)																					

9環境配慮改修工事

地盤の載荷試験
試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

杭地業の工法、寸法
・ 図示 (図面番号:)

杭頭処置
・ 行う ・ 行わない

砂利及び砂地業
範囲 ・ 図示 (図面番号:) 厚さ (mm) ・ 60 ・ ()

捨てコンクリート地業
範囲 ・ 図示 (図面番号:) 厚さ (mm) ・ 50 ・ ()

9.1.1)1石綿含有建材の除去工事

施工調査
・ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。

調査範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
貸与資料 ()

・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・ JIS A 1481-1 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による
・ JIS A 1481-2 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による
・ JIS A 1481-3 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による
・ JIS A 1481-4 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部:質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点
・	測定 5		処理作業室外 (敷地境界)	計 点
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計 点
・	測定 8	以降	調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

9.1.3)・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化
・ 固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

9.1.4)・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4 (1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

9.1.5)・ 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

・ 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」 (平成29年5月30日付け環水大発第1705301号) 及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」 (平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所) に基づき適切に処理すること。

2断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)～
(9.2.3)

3外断熱改修工事
(9.3.2)

改修特記仕様書3章による

断熱材

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

9.3.3)既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

9.3.4)工法
通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

4断熱・防露改修工事
(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

9.5.3)・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1H ・ ()
厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示 (図面番号:)

・ 現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

9.5.4)・ 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ ()	・ 有 ・ 無	

施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

5屋上緑化改修工事
(9.6.1)
(9.6.2)

9.6.3)工法

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない

かん水装置 ・ 設置する (種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6透水性アスファルト舗装改修工事
(9.7.2)～
(9.7.7)
(9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用
路床

種別	材料	厚さ [mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 (図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)
添加量 (kg/m2) (目標CBR ・ 5以上 ・)

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ [mm] ・ 0.5～1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻⁷～1cm/sec 以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CB試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシャーラン
・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・ 図示 (図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ [mm]
・ ストレートアスファルト ・ 改質アスファルト (・ I型 ・ II型 ・ ()型)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

アルテック設計

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

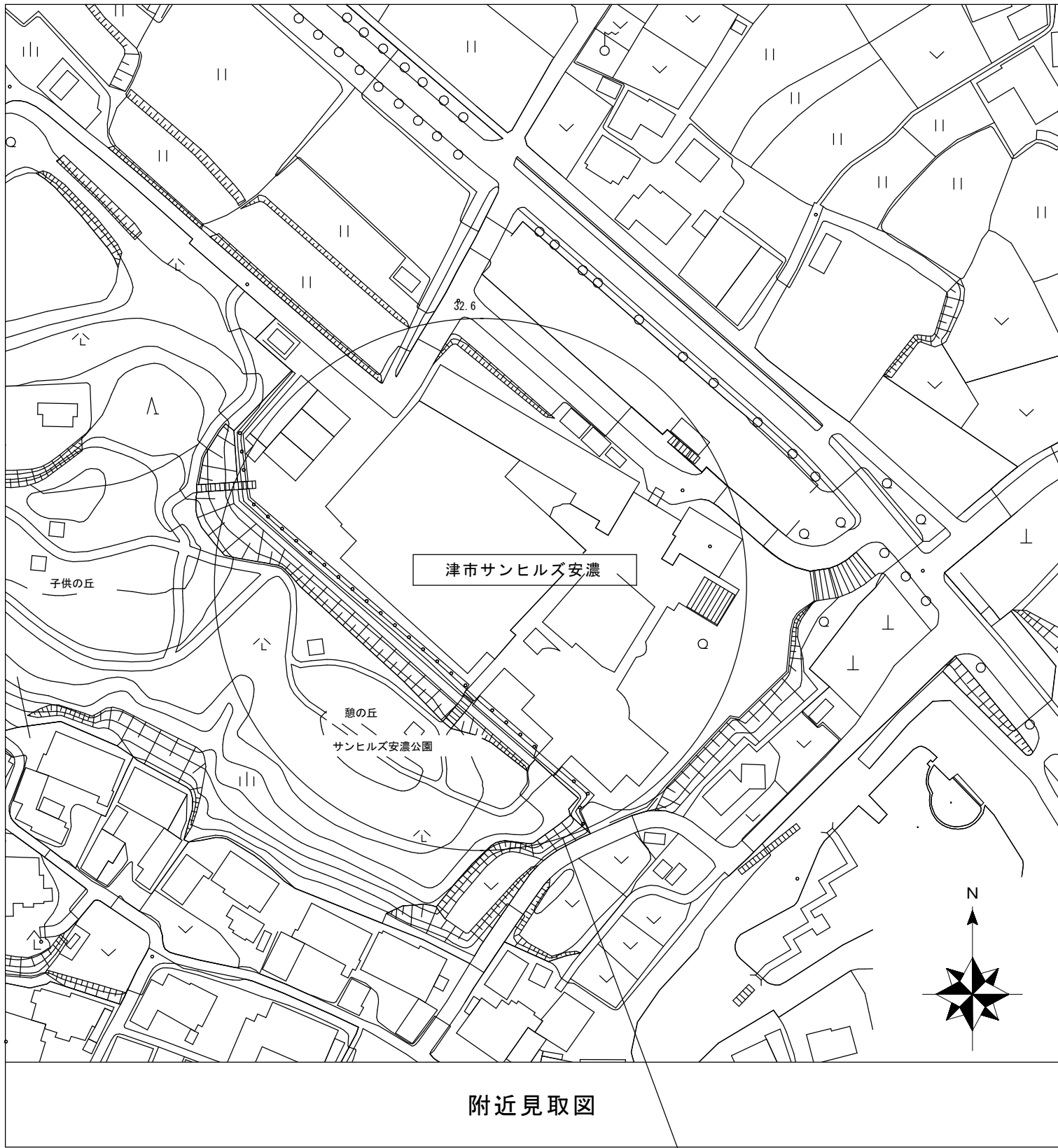
原図: A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

改修工事特記仕様書 7

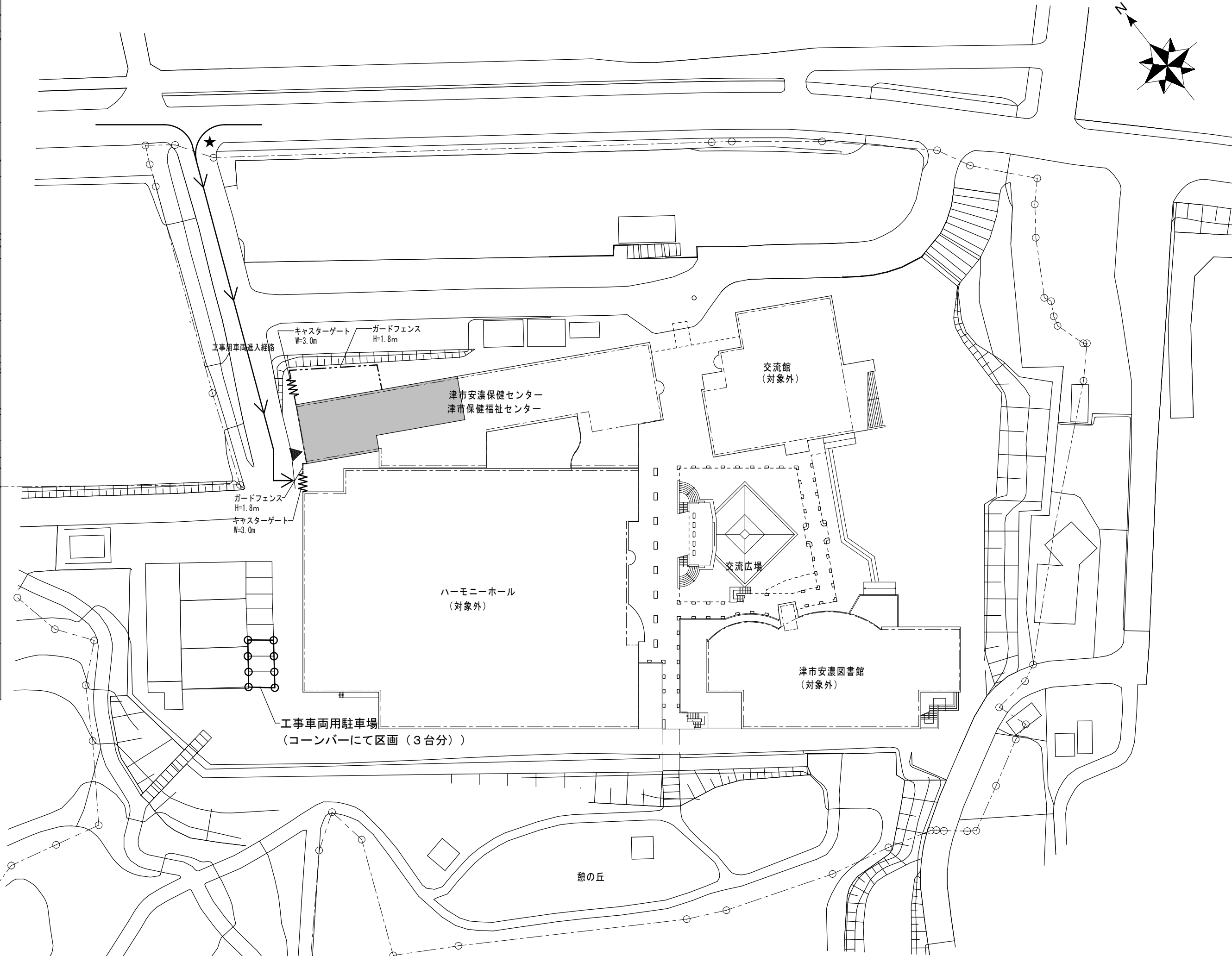
A - 7

S: non



附近見取図

工事場所



配置図兼仮設計画図 1/600

改修範囲を示す

※ 現場事務所は改修範囲内を利用すること。

凡例	
	: 仮囲い ガードフェンス H=1,800
	: キャスターゲート W=3,000 H=1,800
	: カラーコーン (工事車両停車時設置)
	: 工事車両進入経路
	: 交通誘導員 (大型車両進入時)
	: 作業員進入口

アルテック設計

津市大谷町2-3-3番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

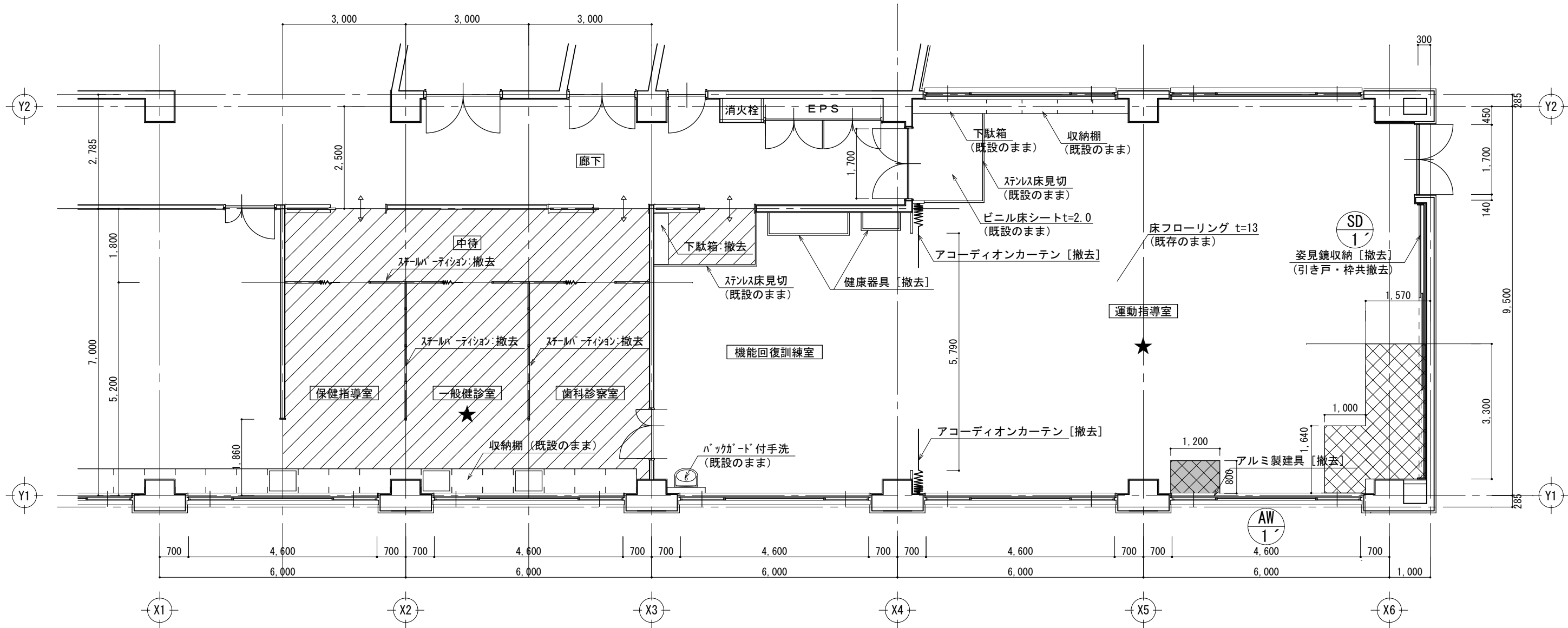
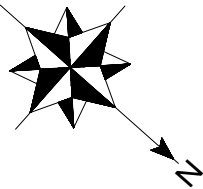
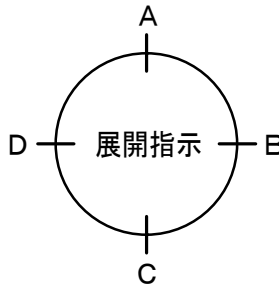
原図 : A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

附近見取図・配置図兼仮設計画図

A - 8

S : 1/600



平面図(改修前) S: 1/100

凡例

- 建具指示
- 床フローリング t=13撤去
モルタル・土間コンクリート撤去 砕石共
土間筋は周囲より400残しとする
カッター入れ共
- 床フローリング t=13撤去
下地モルタル共
- ビニル床シート t=2.0撤去
- ・・・環境測定位置を示す(改修前)

内部仕上表(改修前)

室名	床	巾木	壁	廻り縁	天井高	天井	備考
運動指導室	床フローリング t=13【一部撤去】 一部ビニル床シート t=2.0【既存のまま】	木製 H=60【一部撤去】	P B t=12(G L工法)仕上げの上 ビニルクロス貼り【一部撤去】	塩ビ製 【一部撤去】	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12【一部撤去】	アコーディオンカーテン【撤去】 アルミ製建具 1ヶ所【撤去】 スチール吊り戸 1ヶ所【撤去】(鏡共)
機能回復訓練室	床フローリング t=13【既存のまま】 一部ビニル床シート t=2.0【撤去】	木製 H=60【既存のまま】	P B t=12(G L工法)仕上げの上 ビニルクロス貼り【一部撤去】	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12【既存のまま】	下駄箱、健康器具【撤去】
中待	ビニル床シート t=2.0【撤去】	ソフト巾木 H=60【既存のまま】	P B t=12(G L工法)仕上げの上 ビニルクロス貼り【一部撤去】	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12【既存のまま】	スチールパーテーション【撤去】
歯科診察室	ビニル床シート t=2.0【撤去】	ソフト巾木 H=60【既存のまま】	P B t=12(G L工法)仕上げの上 ビニルクロス貼り【一部撤去】	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12【既存のまま】	スチールパーテーション【撤去】
一般検診室	ビニル床シート t=2.0【撤去】	ソフト巾木 H=60【既存のまま】	P B t=12(G L工法)仕上げの上 ビニルクロス貼り【既存のまま】	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12【既存のまま】	スチールパーテーション【撤去】
保健指導室	ビニル床シート t=2.0【撤去】	ソフト巾木 H=60【既存のまま】	P B t=12(G L工法)仕上げの上 ビニルクロス貼り【一部撤去】	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12【既存のまま】	スチールパーテーション【撤去】

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

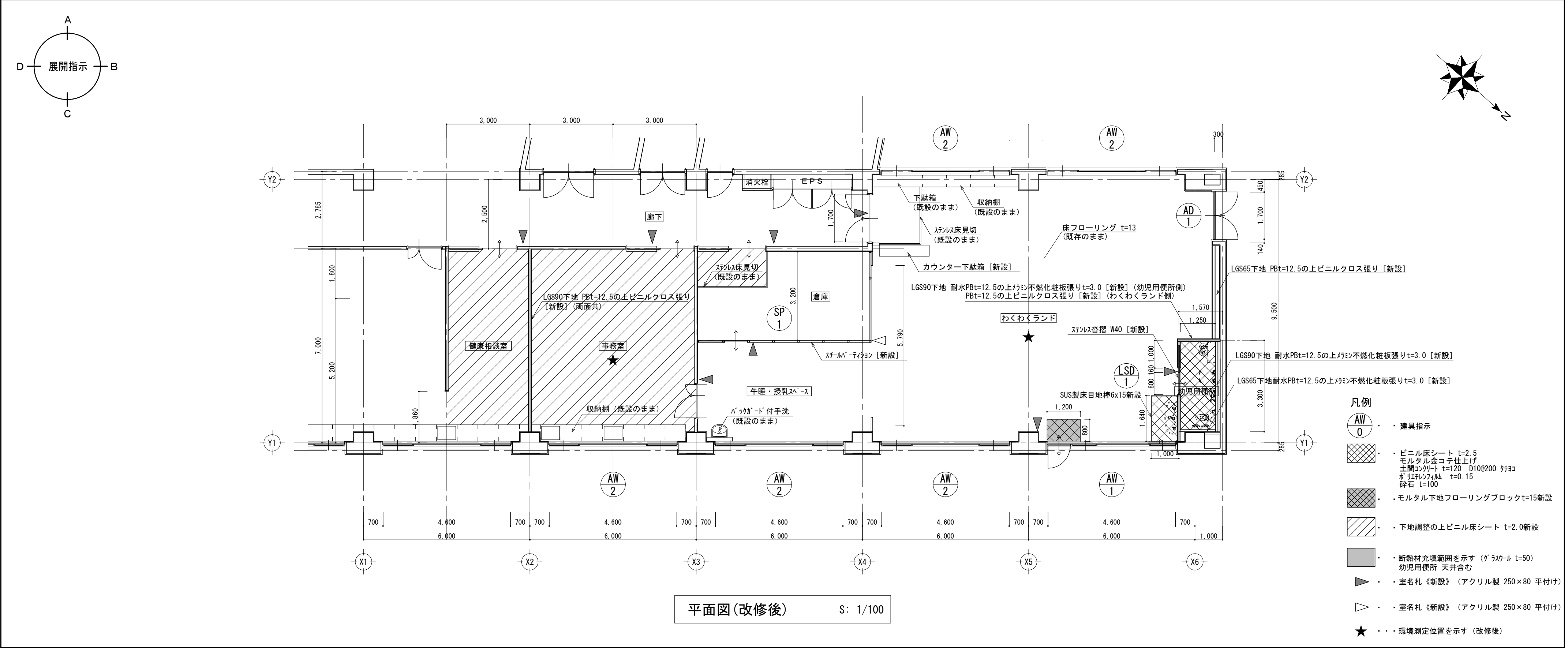
原図: A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

平面図・内部仕上表
(改修前)

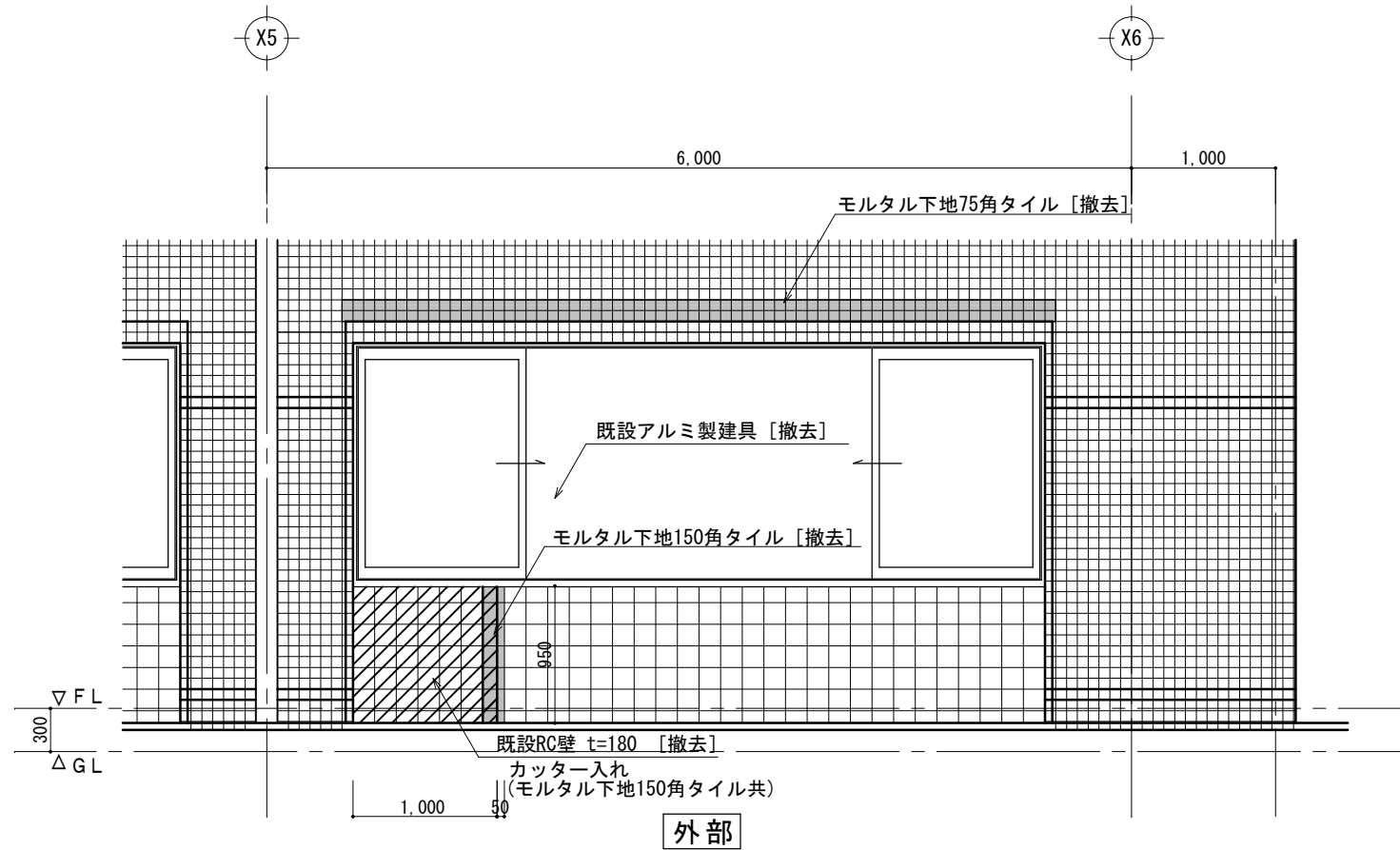
A - 9

S=1:100

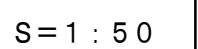
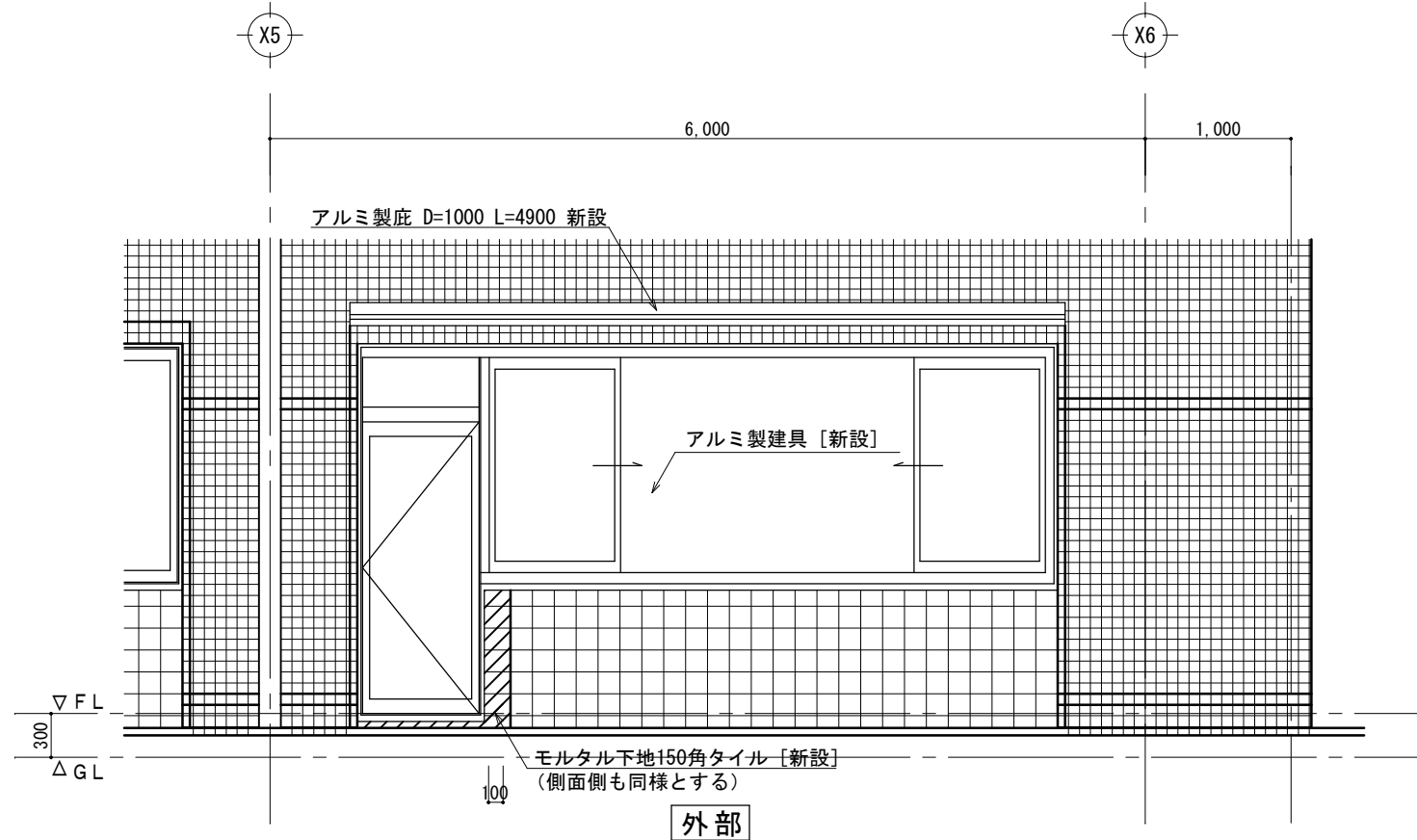


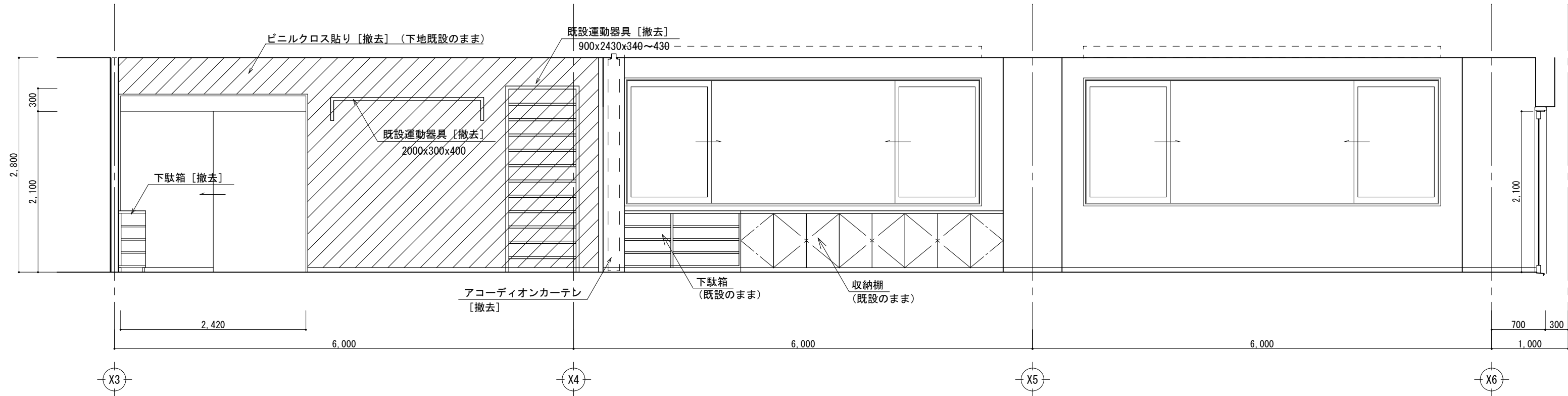
内部仕上表(改修後)							
室名	床	巾木	壁	廻り縁	天井高	天井	備考
幼児用便所	ビニル床シート t=2.5《新設》	ソフト巾木 H=60《新設》	耐水PB t=12.5の上 メラミン不燃化粧板張りt=3.0《新設》 ＜不燃＞	塩ビ製《新設》	2,550	化粧PB t=9.5《新設》 ＜準不燃＞	間仕切り壁：LGS90下地 一部LGS65下地
わくわくランド	床フローリング t=13〔既存のまま〕 床フローリング t=15《一部新設》 一部ビニル床シート t=2.5《新設》	木製巾木 CL塗り H=60《一部新設》	PB t=12.5(G L工法)の上 ビニルクロス張り《一部新設》 PB t=12.5の上 ビニルクロス張り《一部新設》 耐水ラワン合板t=12の上メラミン不燃化粧板張りt=3.0《一部新設》＜不燃＞	塩ビ製《一部新設》	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12〔既存のまま〕	ステンレス網戸 6ヶ所取付《新設》 片開き戸付アルミサッシ取付《新設》 SUS製床目地棒6x15《新設》
午睡・授乳スペース	床フローリング t=13〔既存のまま〕	ソフト巾木 H=60〔既存のまま〕	PB t=12(G L工法)の上 ビニルクロス張り〔既存のまま〕 一部ビニルクロス張り替え ＜不燃＞	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12〔既存のまま〕	ステンレス網戸 2ヶ所取付《新設》
倉庫	床フローリング t=13〔既存のまま〕 一部ビニル床シート t=2.0《新設》	ソフト巾木 H=60〔既存のまま〕	PB t=12(G L工法)の上 ビニルクロス張り〔既存のまま〕 一部ビニルクロス張り替え ＜不燃＞	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12〔既存のまま〕	スチールパーティション《新設》
事務室	ビニル床シート t=2.0《新設》	ソフト巾木 H=60〔既存のまま〕	PB t=12(G L工法)の上 ビニルクロス張り〔既存のまま〕 PB t=12.5の上 ビニルクロス張り《一部新設》 一部ビニルクロス張り替え ＜不燃＞	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12〔既存のまま〕	間仕切り壁：LGS90下地
健康相談室	ビニル床シート t=2.0《新設》	ソフト巾木 H=60〔既存のまま〕	PB t=12(G L工法)の上 ビニルクロス張り〔既存のまま〕 PB t=12.5の上 ビニルクロス張り《一部新設》 一部ビニルクロス張り替え ＜不燃＞	塩ビ製	2,800	ロックウール化粧吸音板 t=12〔既存のまま〕	間仕切り壁：LGS90下地
アルテック設計			DRAWING BY DATA		安濃子育て支援センター移転に伴う 津市安濃保健センター改修工事		平面図・内部仕上表 (改修後)
津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602			一級建築士 第177266号 伊藤 公智		A - 10		S = 1 : 100

改修前

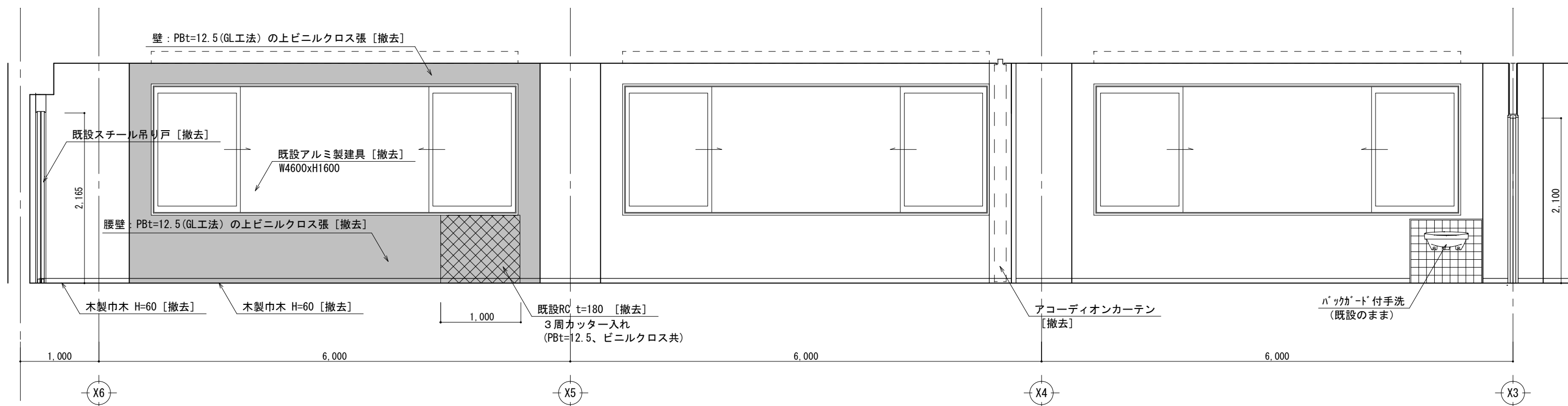


改修後

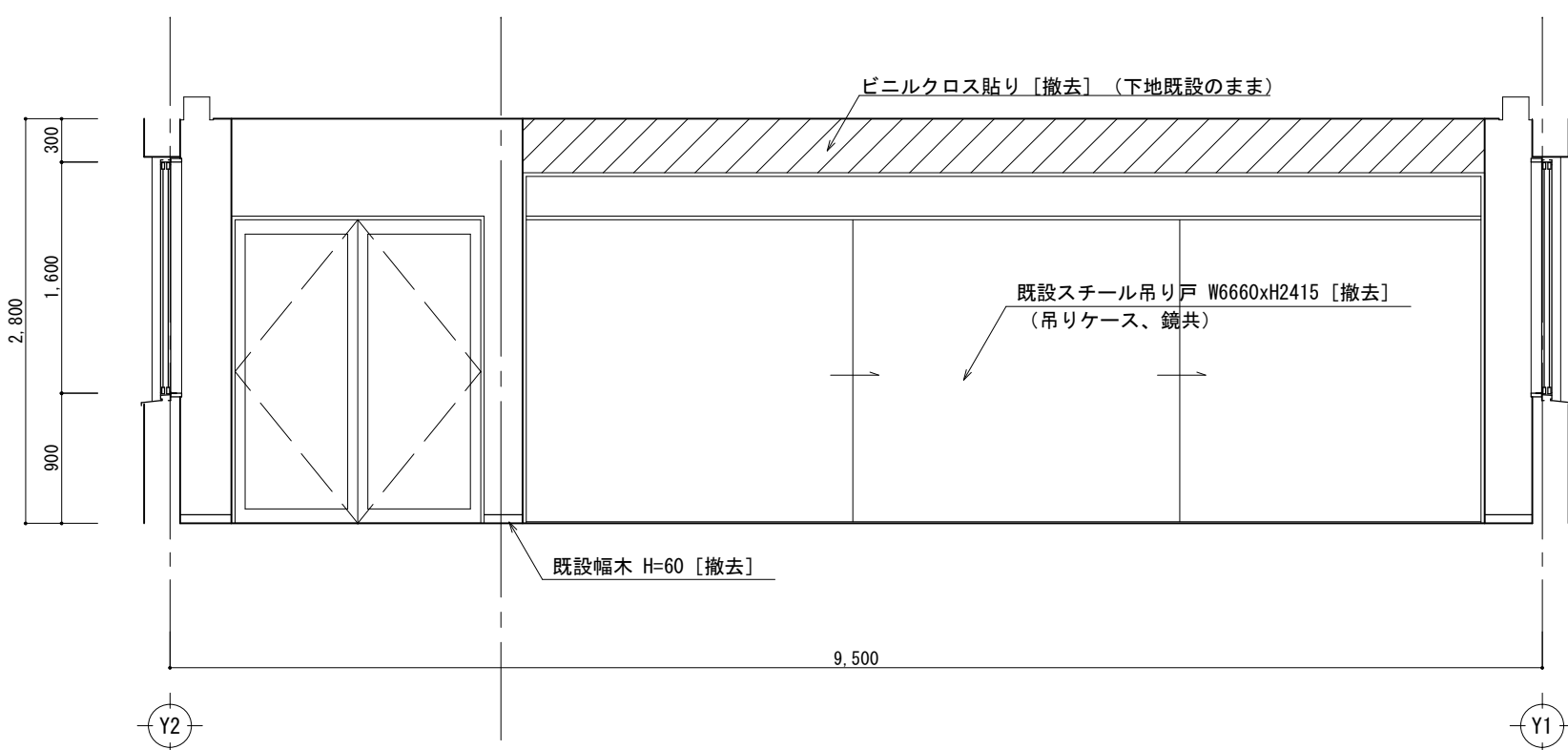




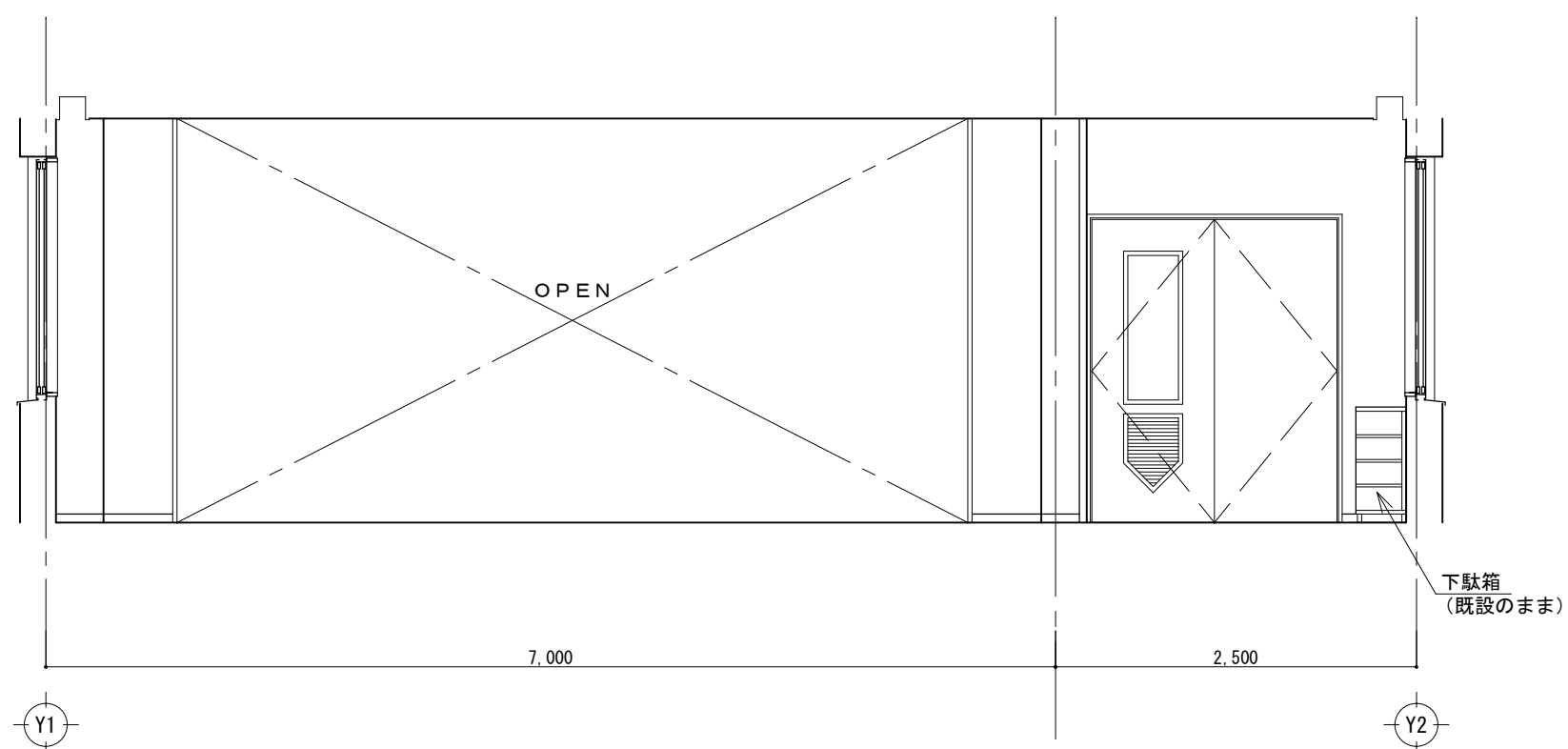
機能回復・運動指導室 A 面



機能回復・運動指導室 C 面



機能回復・運動指導室 B 面



機能回復・運動指導室 D 面

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

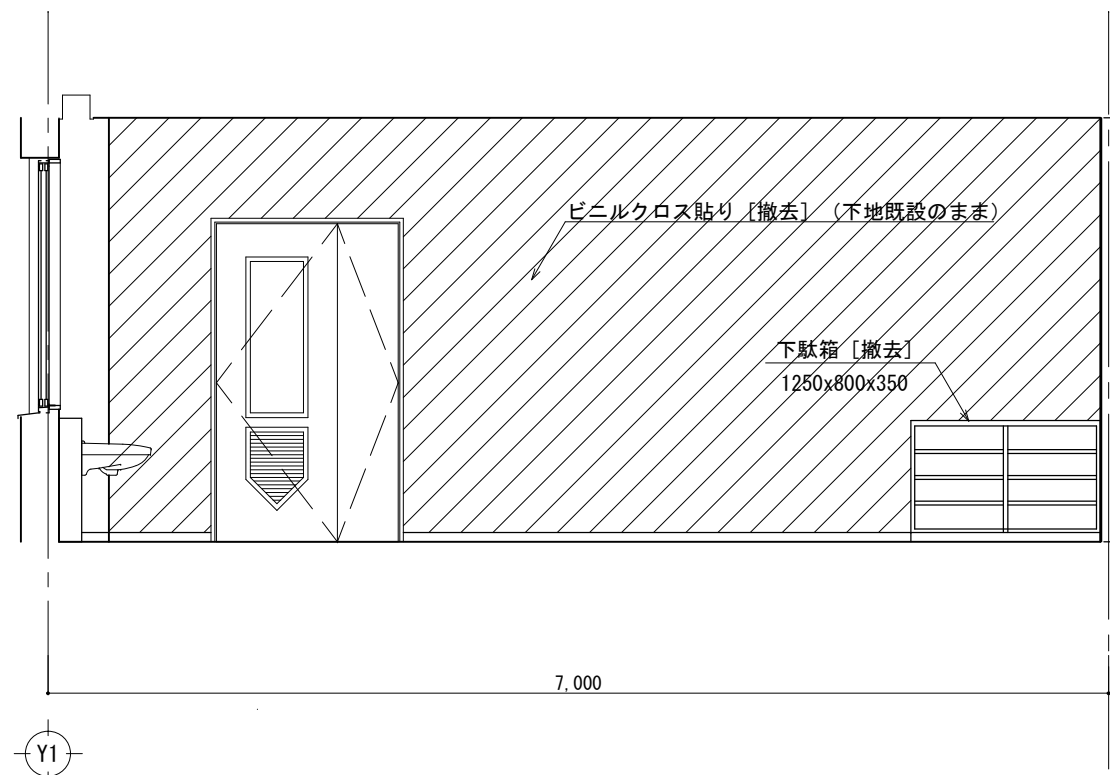
原図: A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

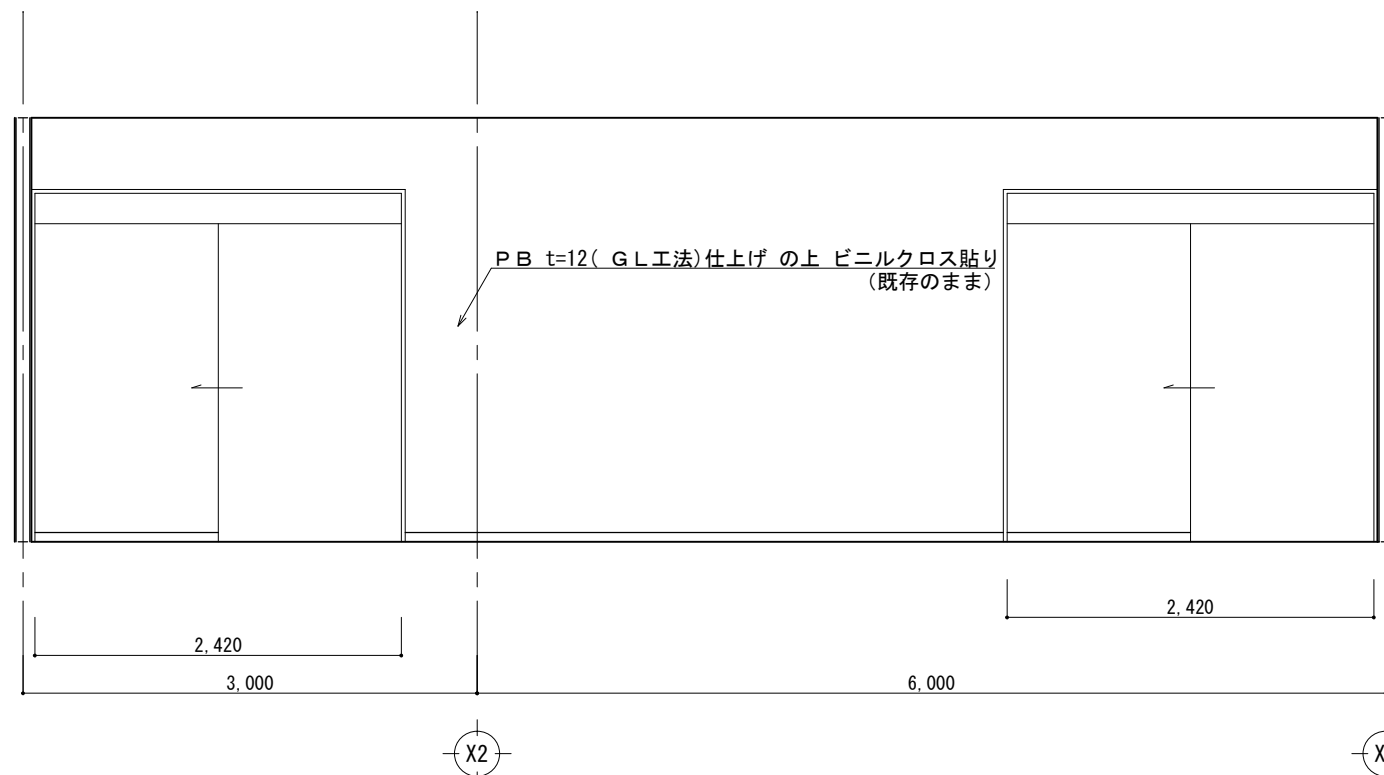
改修前 展開図(1)

A - 12

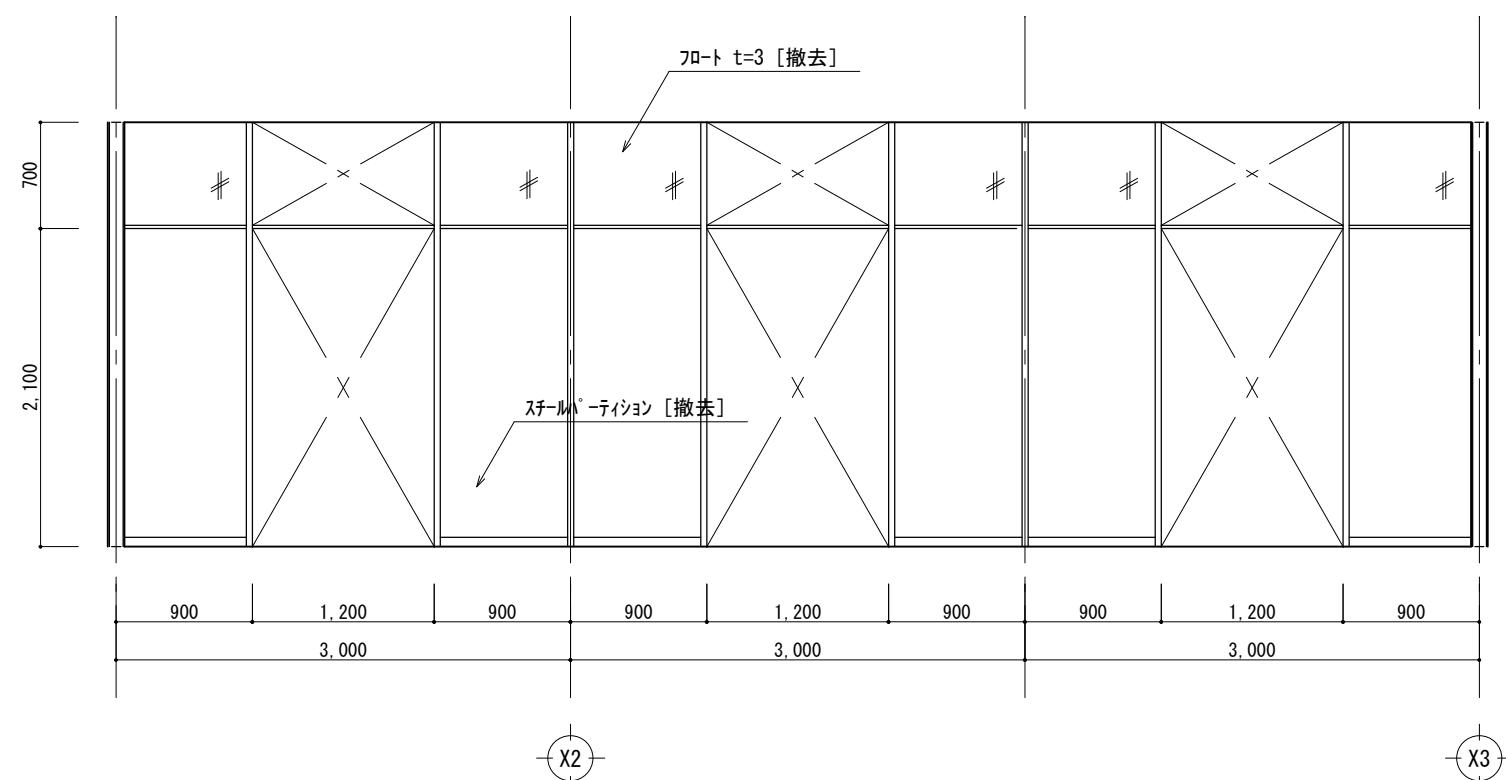
S=1:50



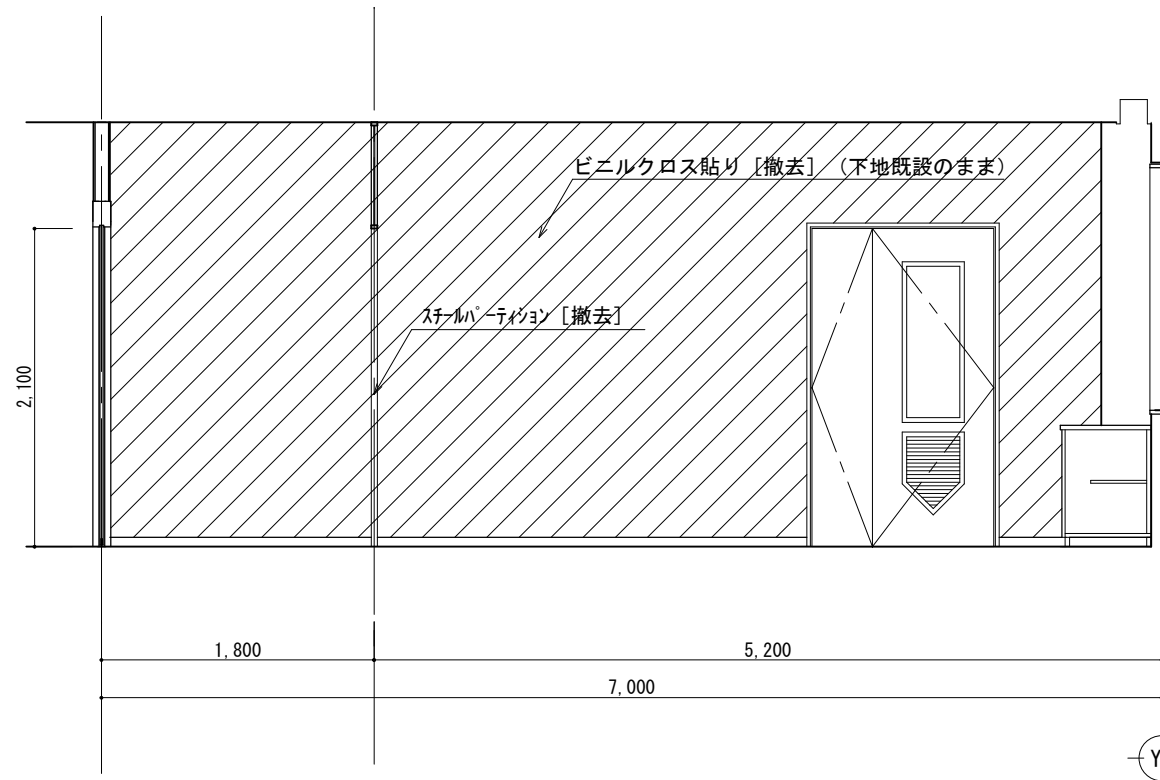
機能回復訓練室 D面



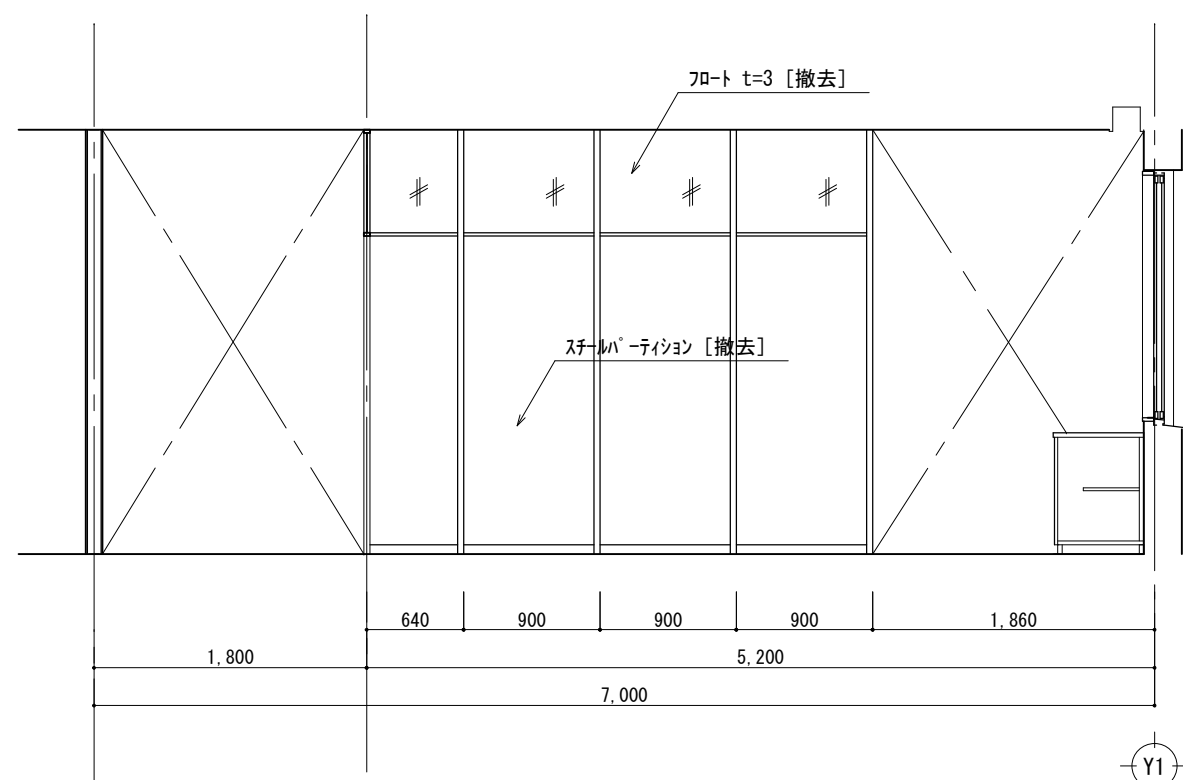
中待 A面



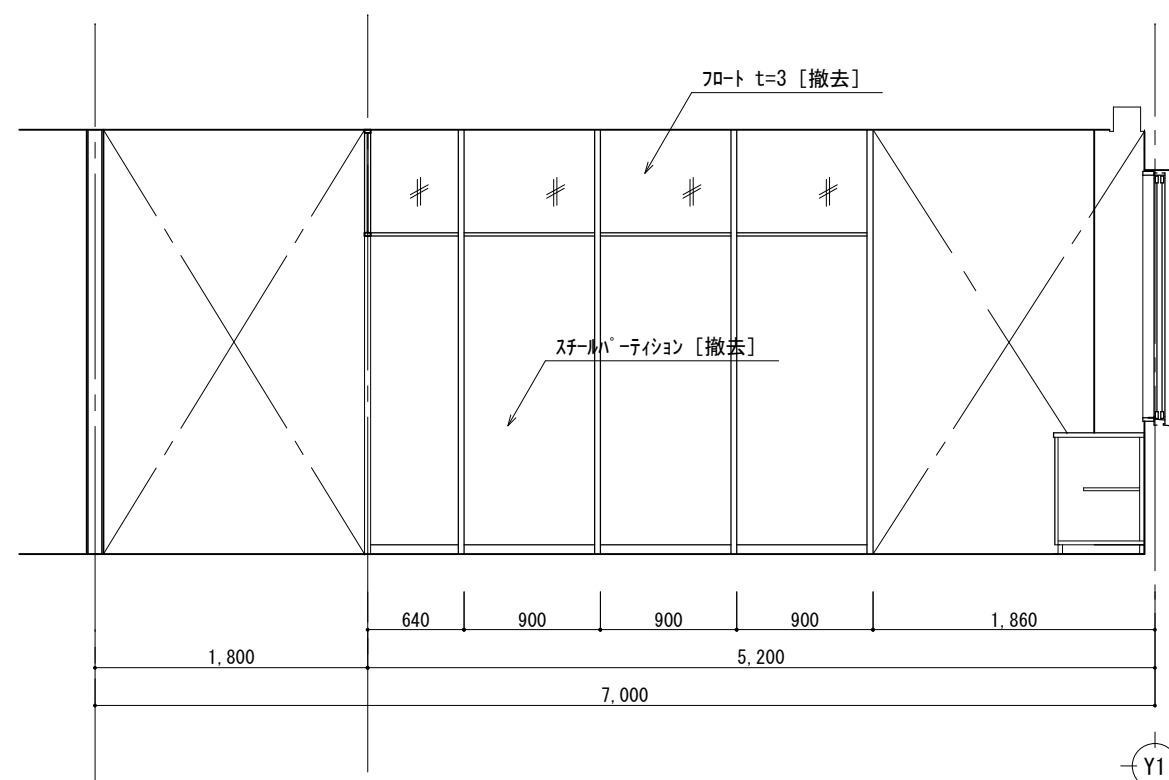
保健指導・一般健診・歯科検診室 A面



中待・歯科検診室 B面



中待・一般健診室 B面



中待・保健指導室 B面

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

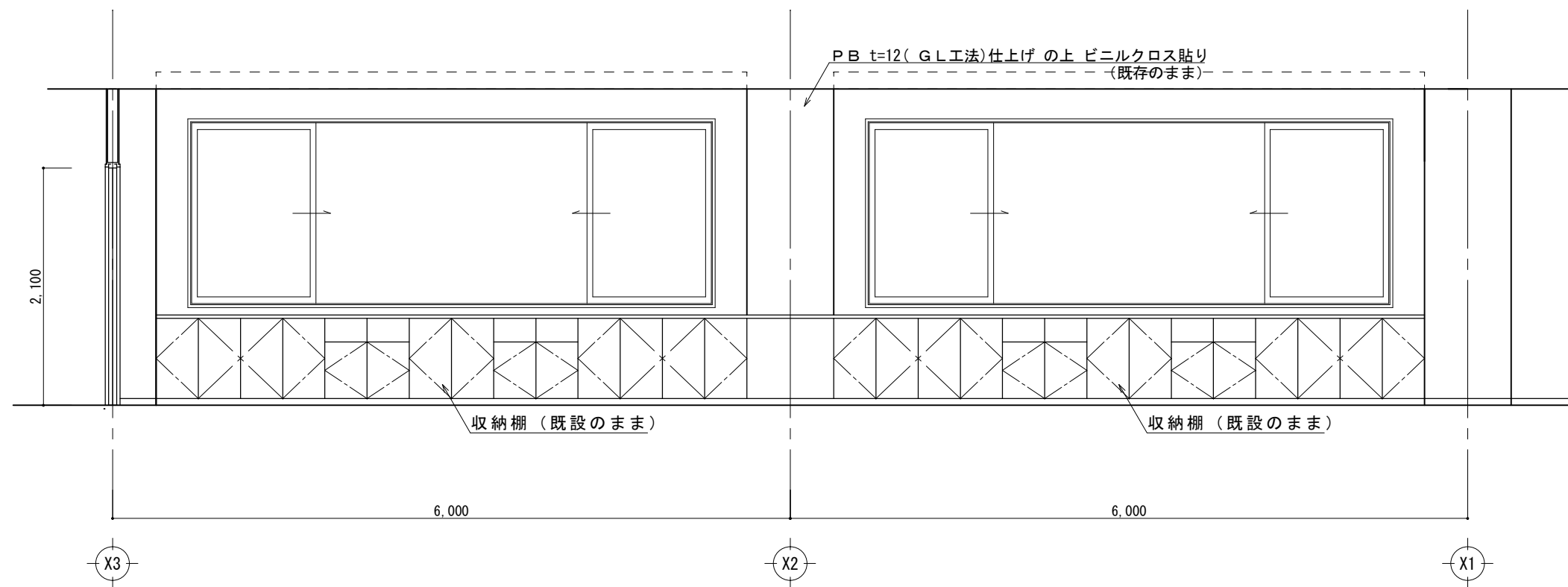
原図：A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

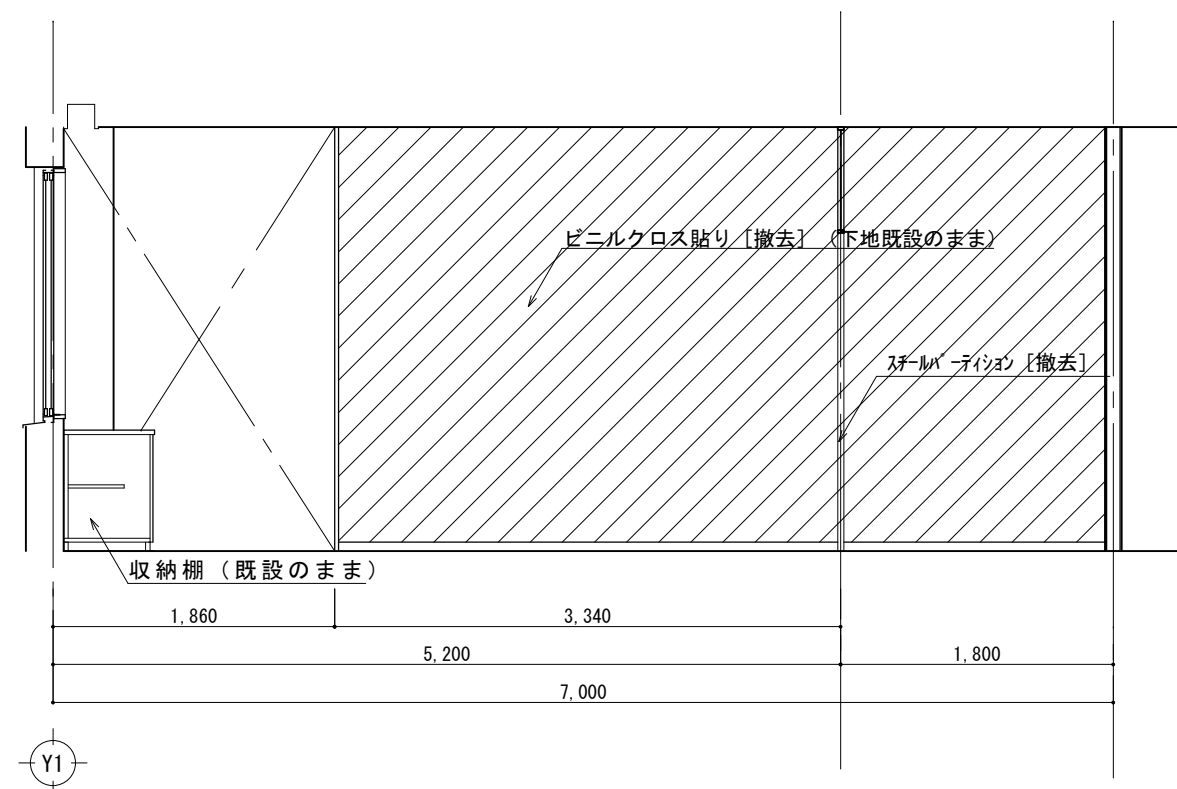
改修前 展開図(2)

A - 13

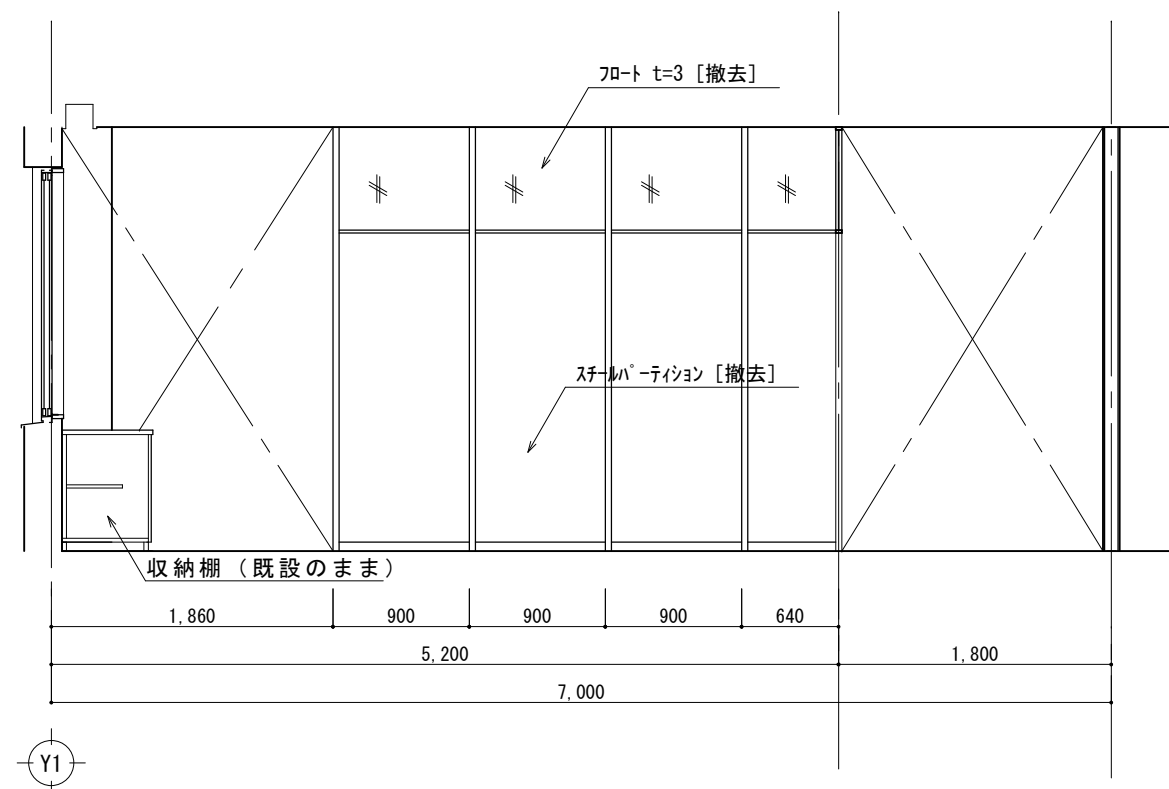
S = 1 : 50



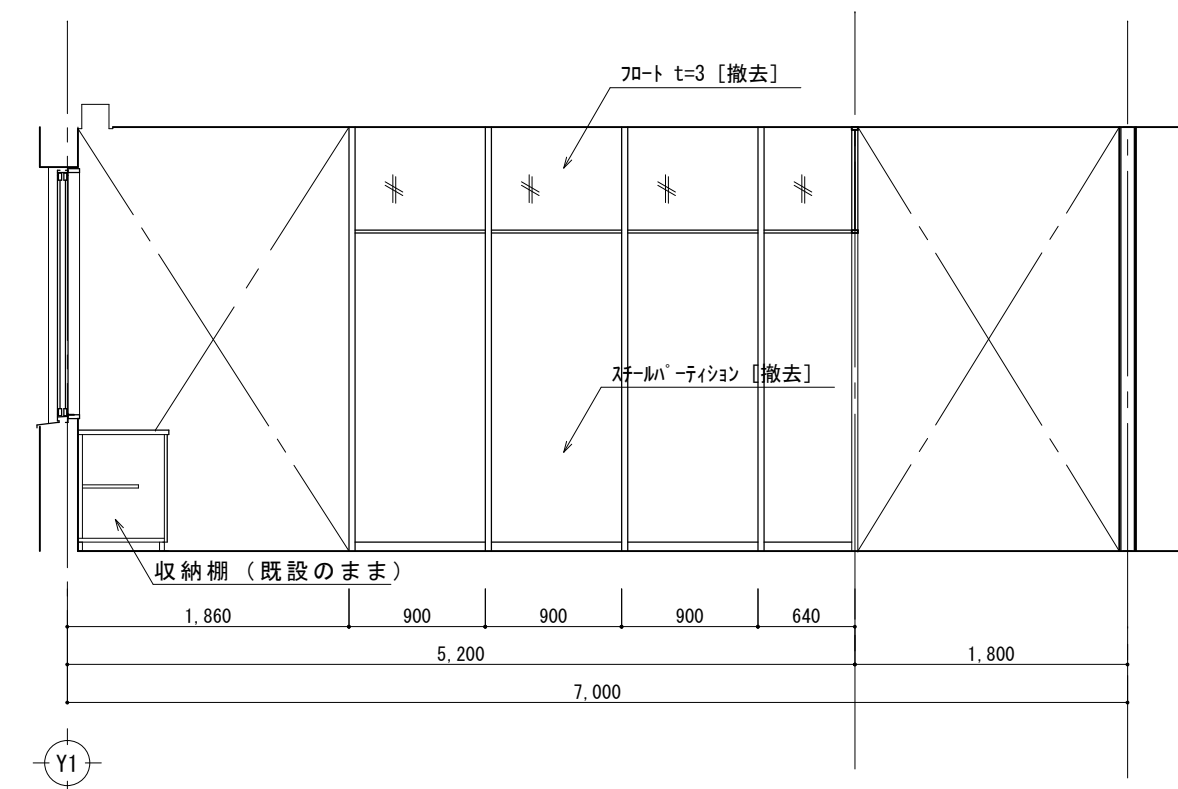
保健指導・一般健診・歯科検診室 C 面



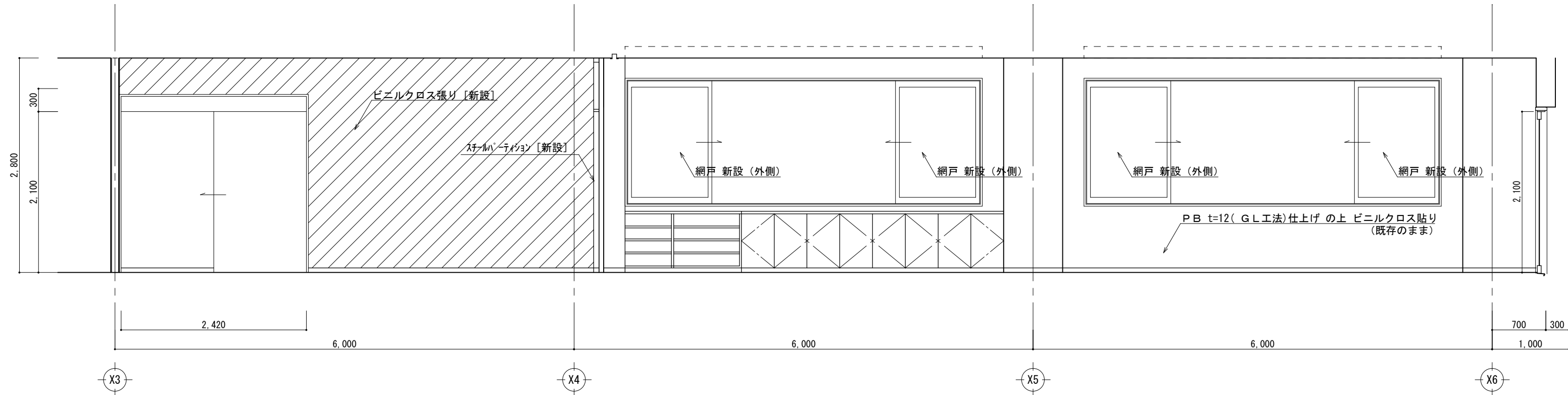
中待・保健指導室 D 面



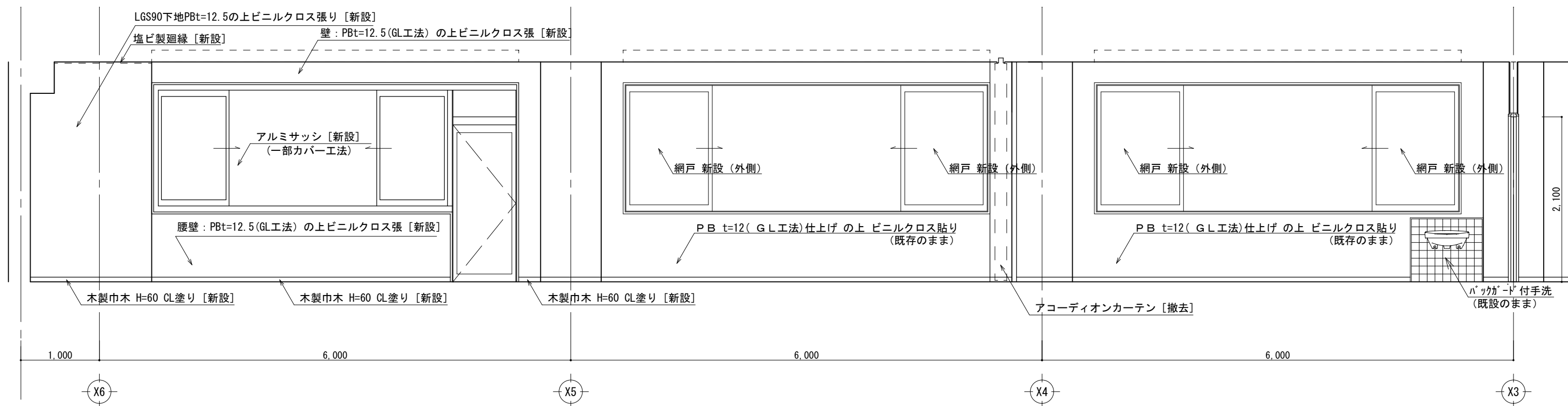
中待・一般健診室 D 面



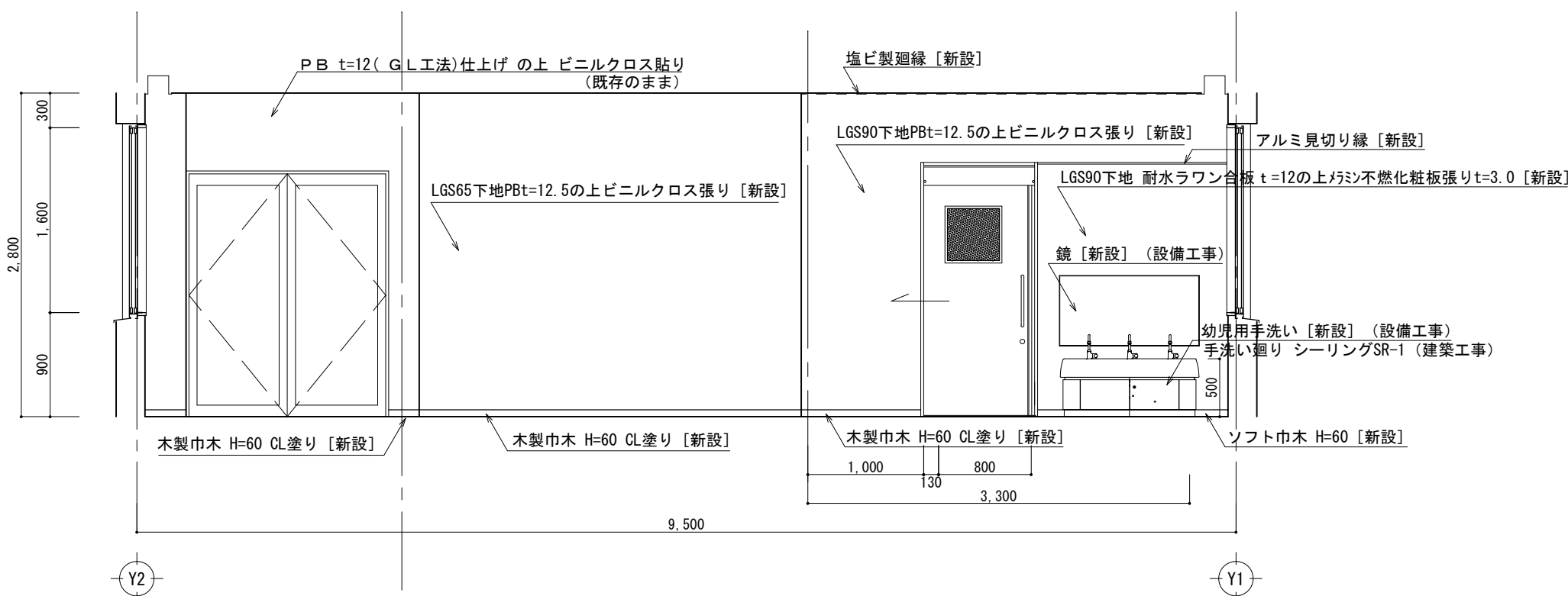
中待・歯科検診室 D 面



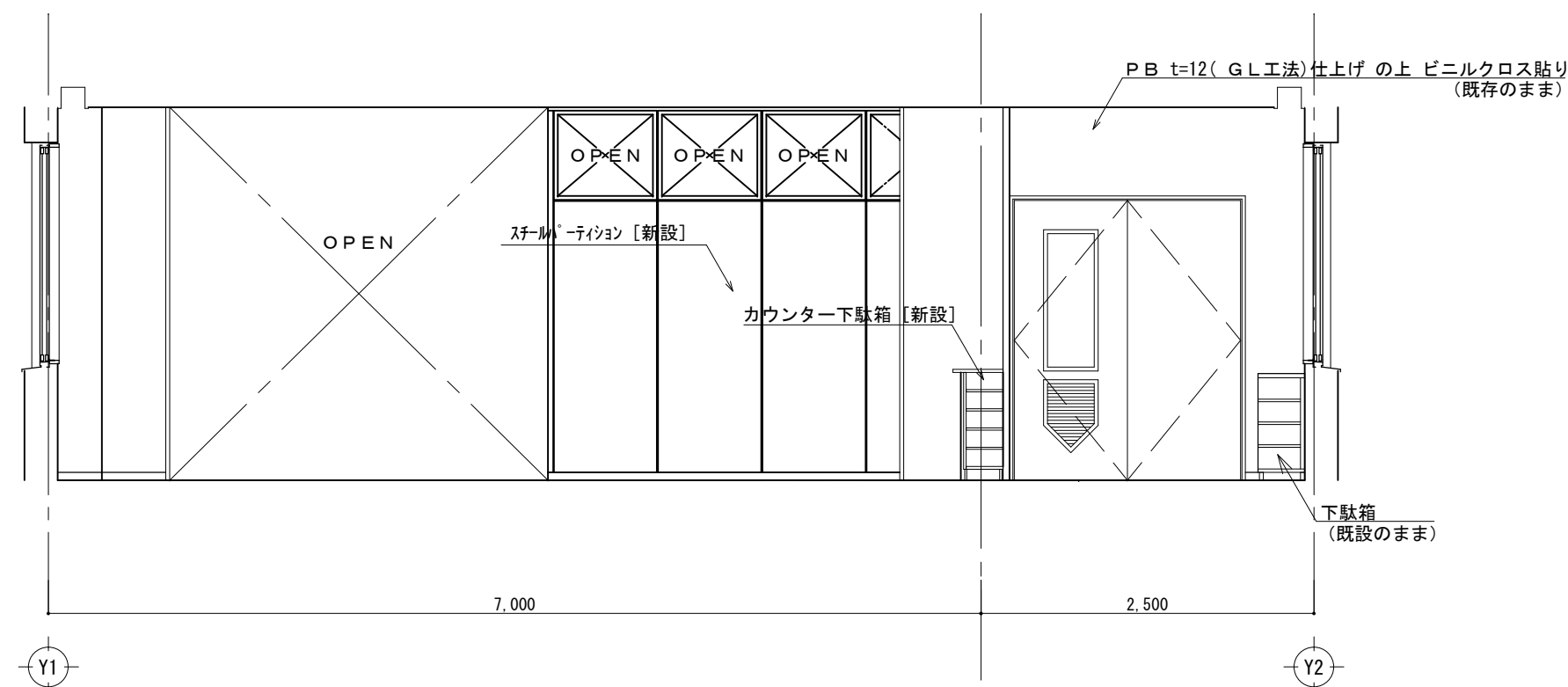
わくわくランド・倉庫 A面



わくわくランド C面



わくわくランド B面



わくわくランド D面

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

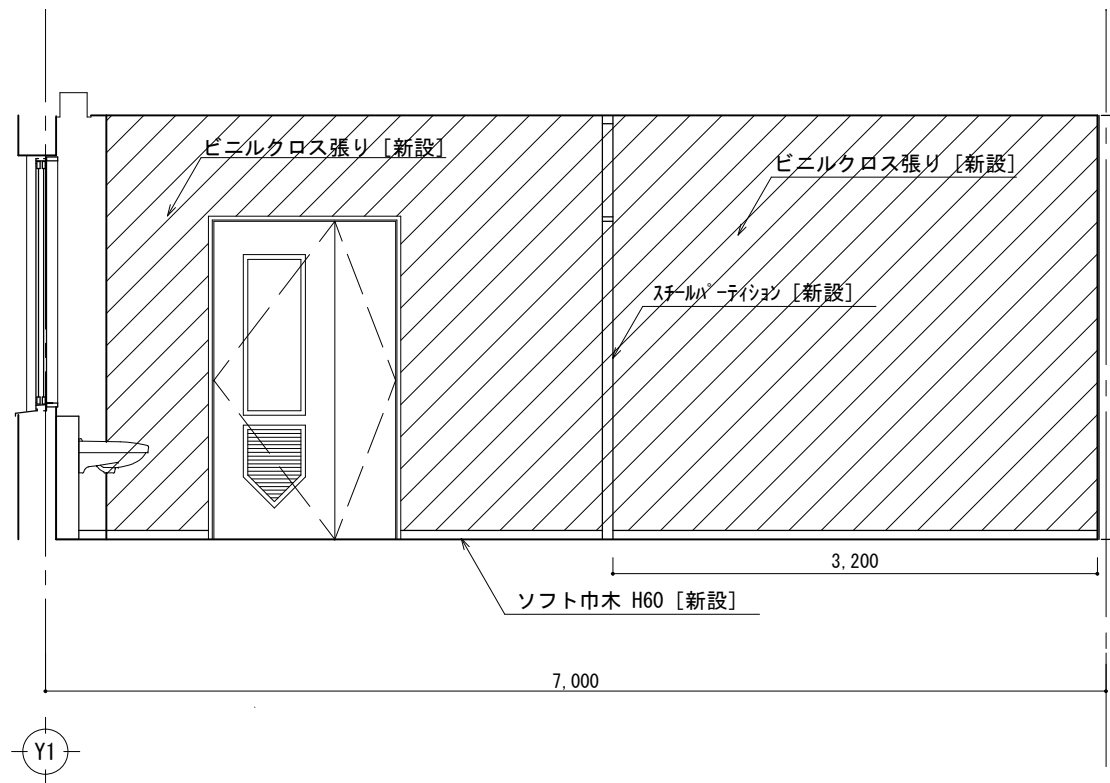
原図：A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

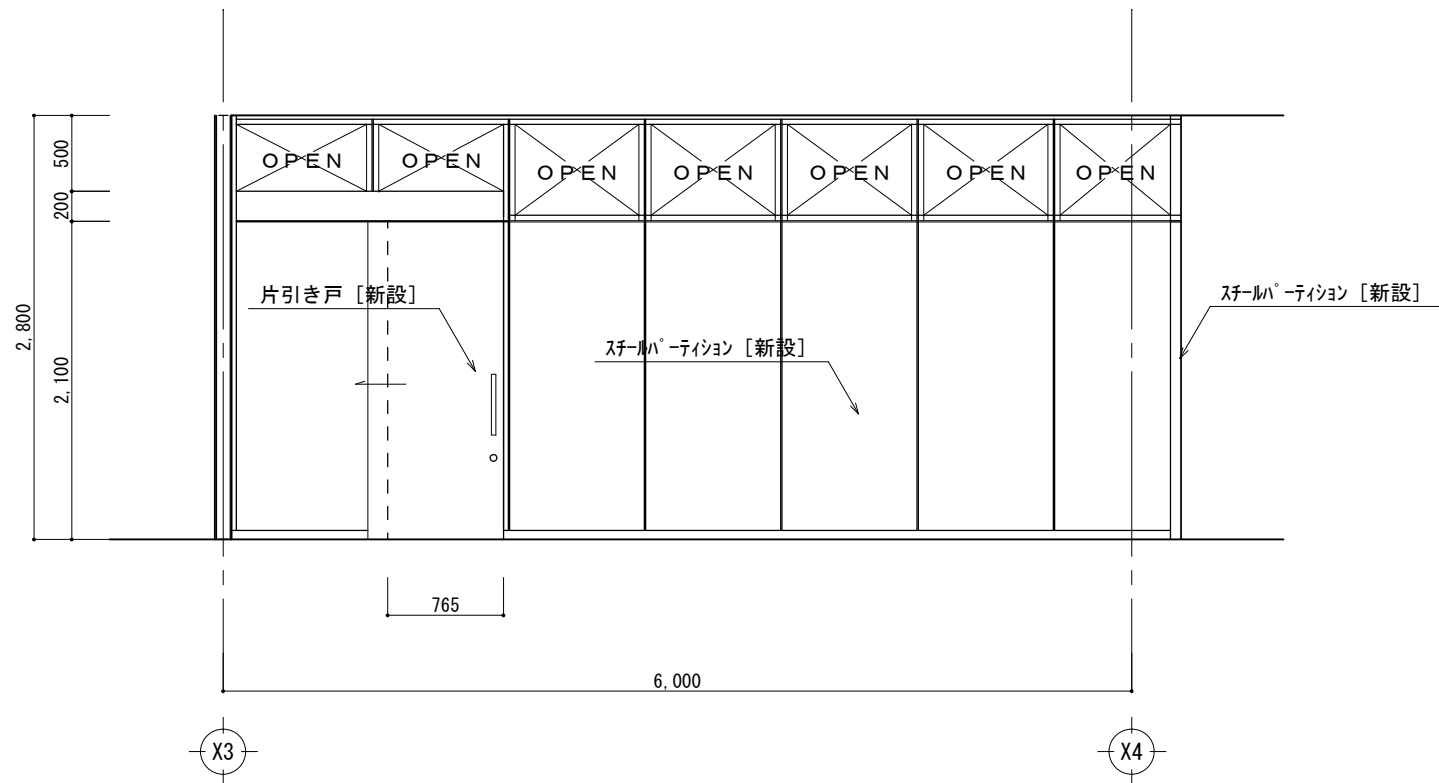
改修後 展開図(1)

A - 15

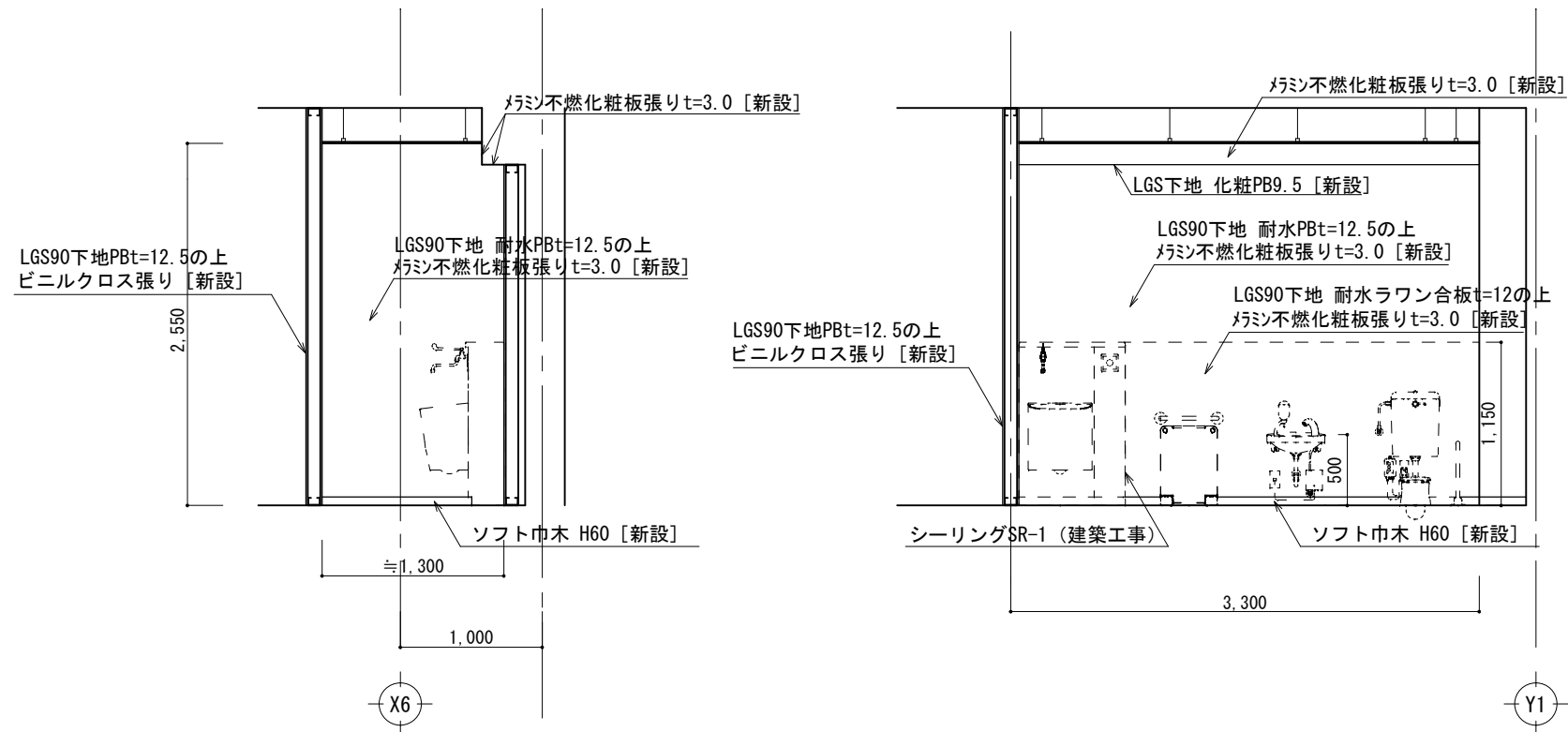
S=1:50



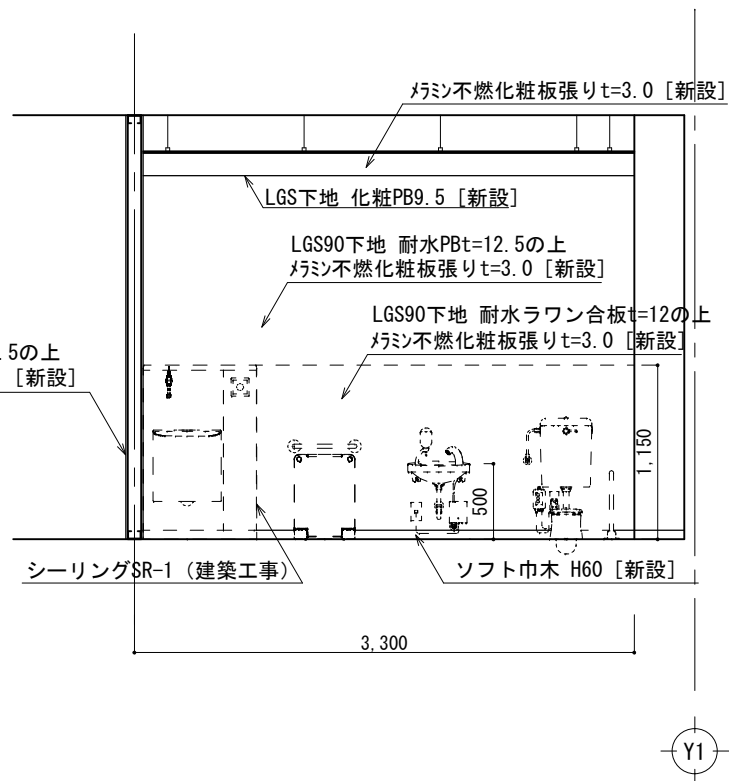
授乳スペース・倉庫 D面



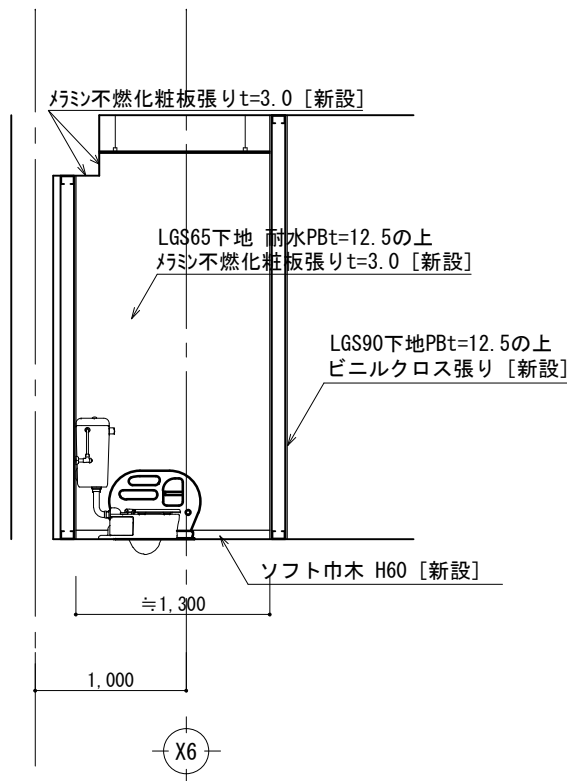
授乳スペース A面



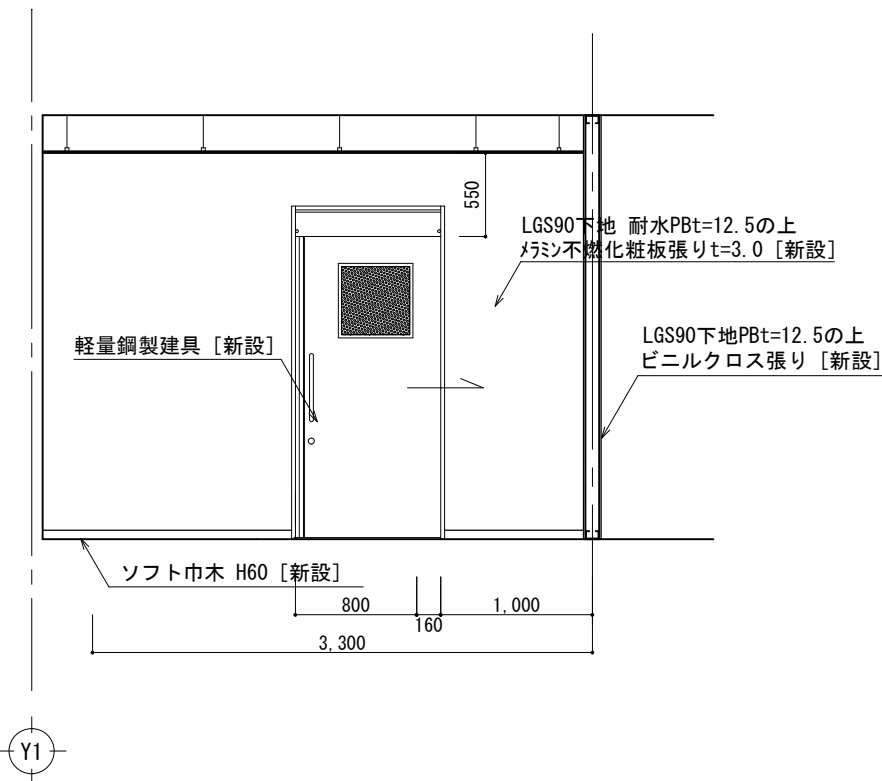
幼児用便所 A面



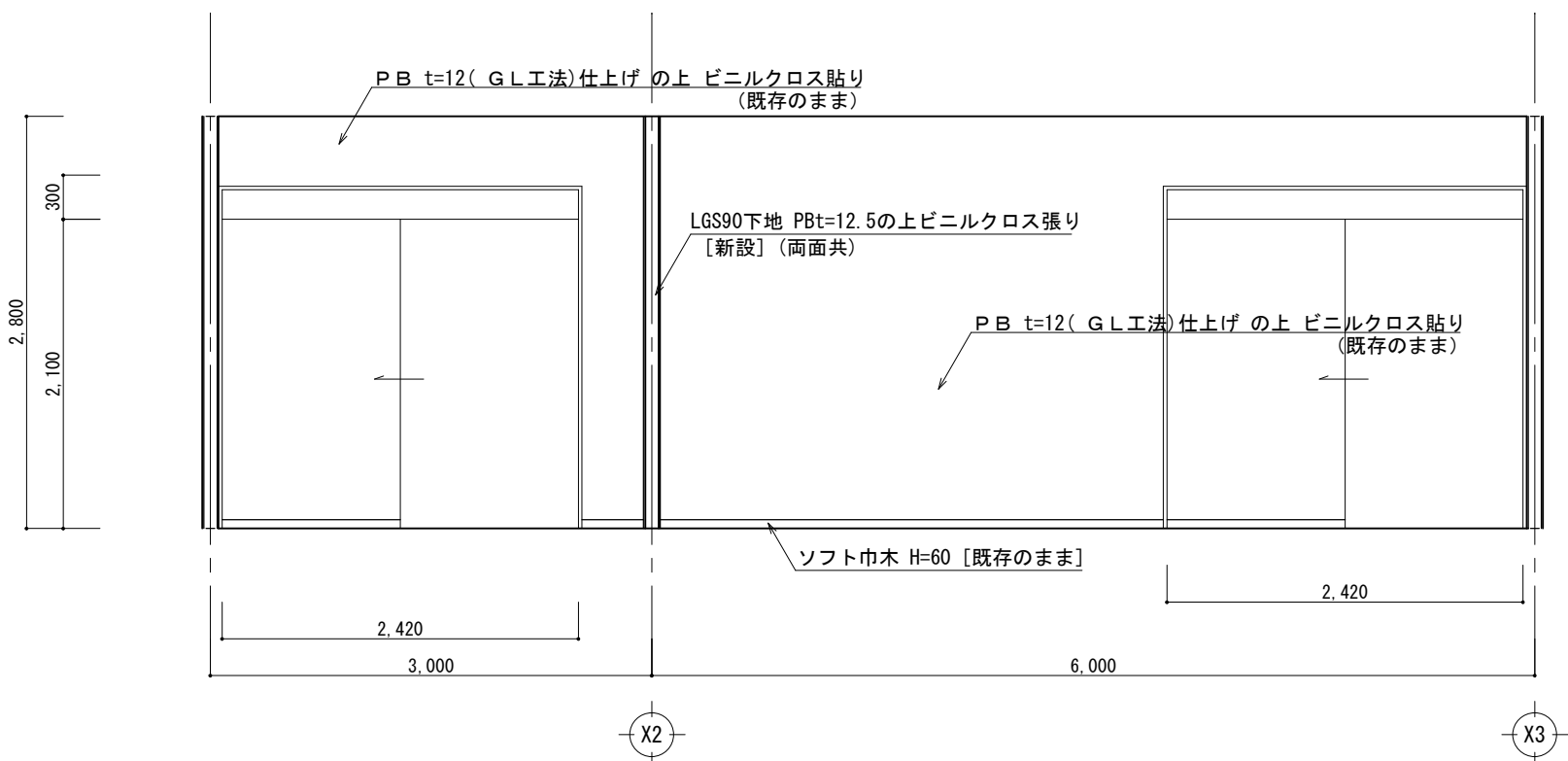
幼児用便所 B面



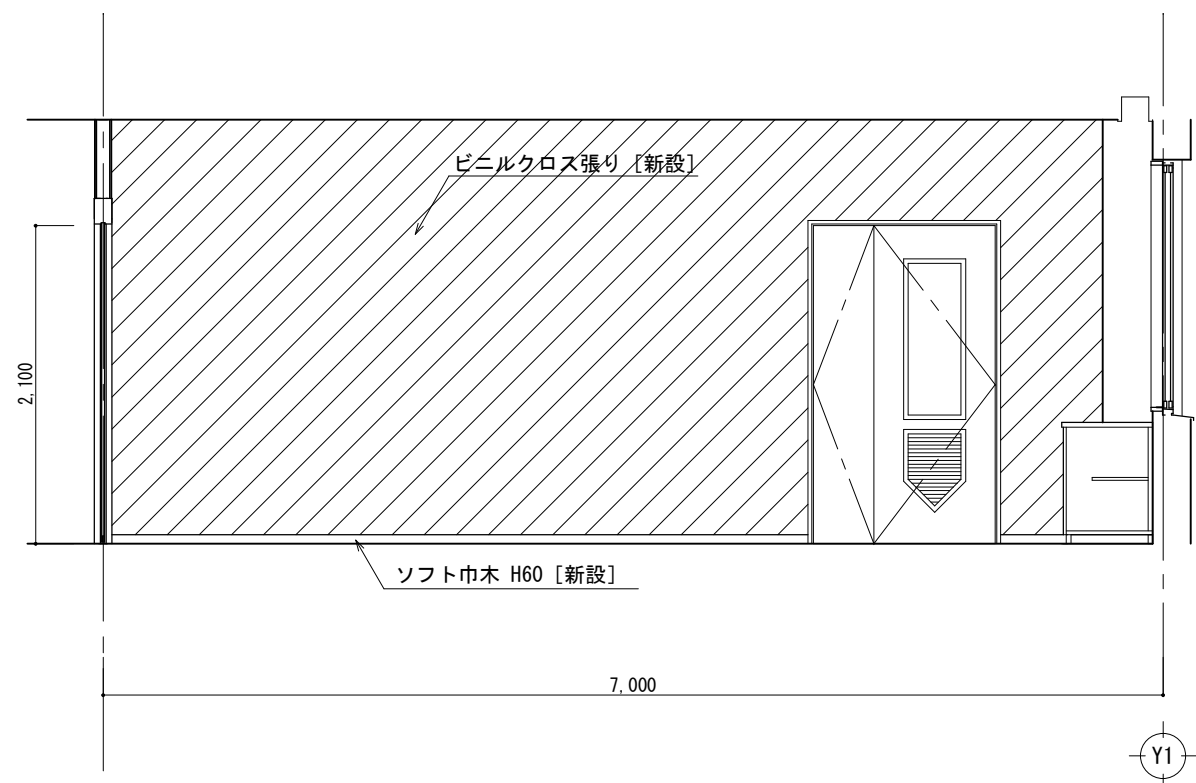
幼児用便所 C面



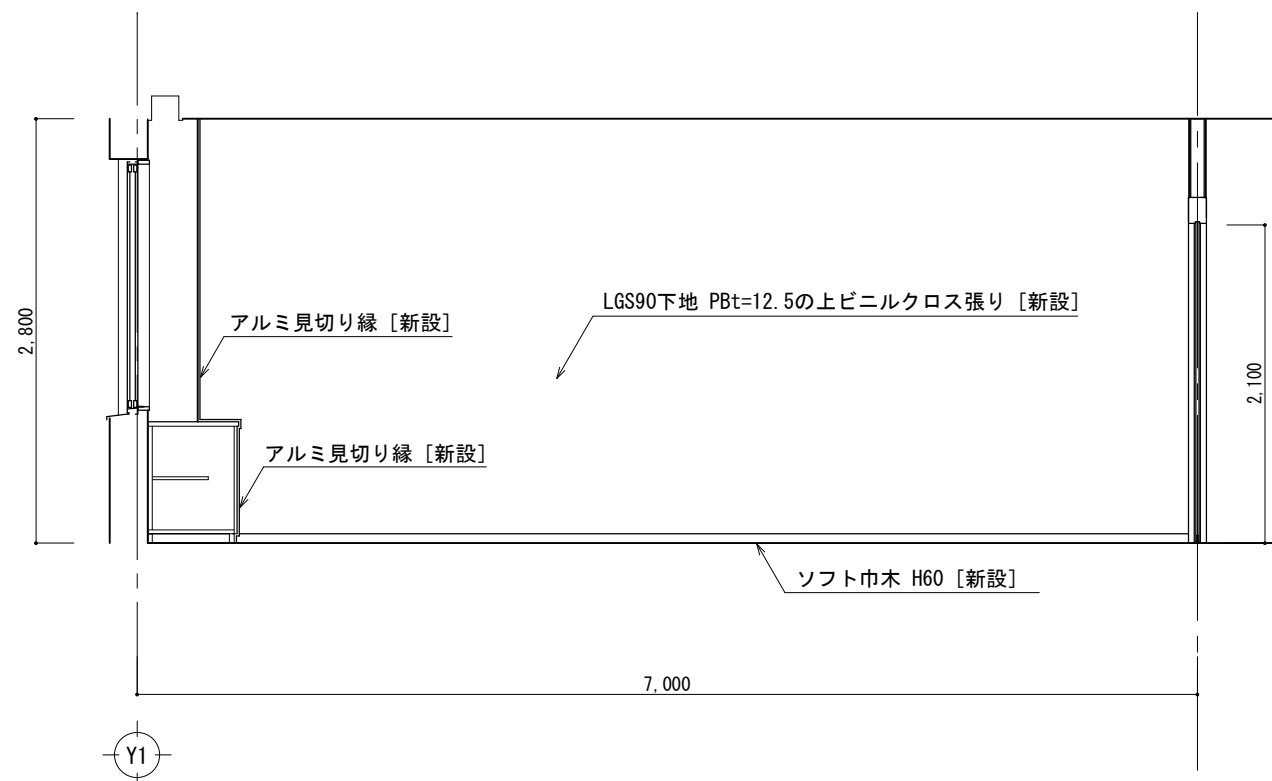
幼児用便所 D面



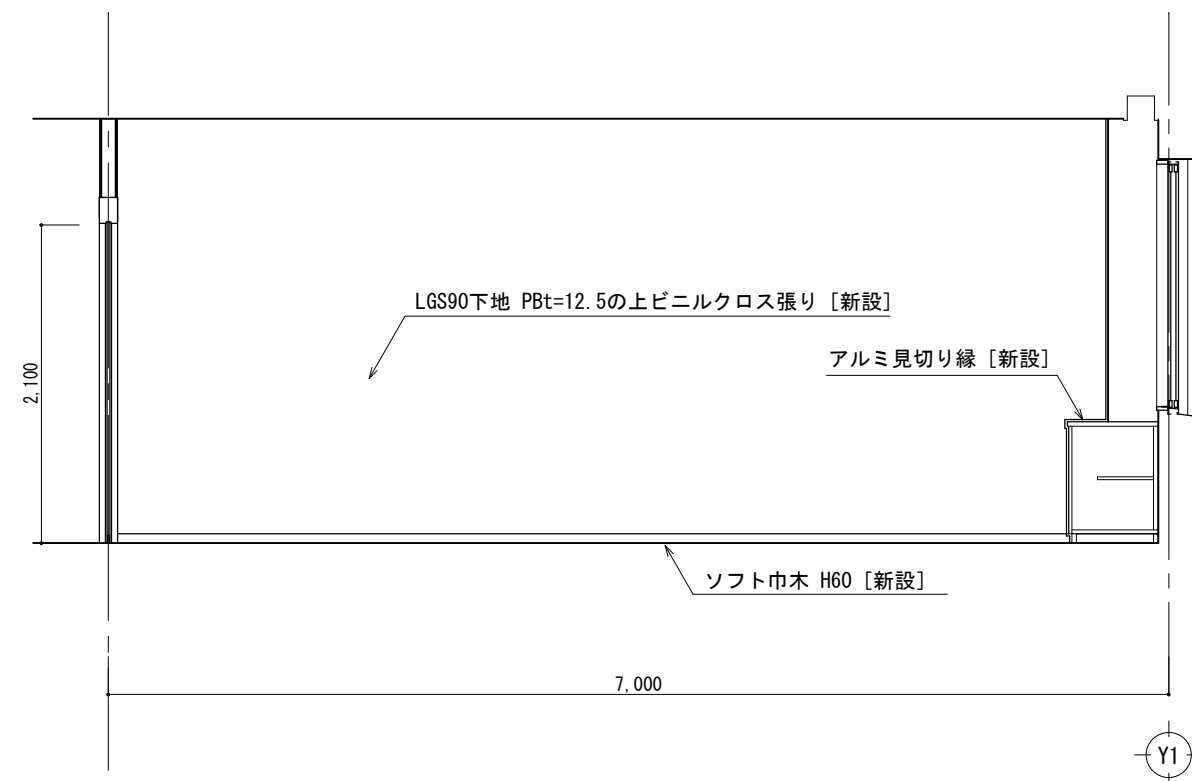
健康相談室・事務室 A面



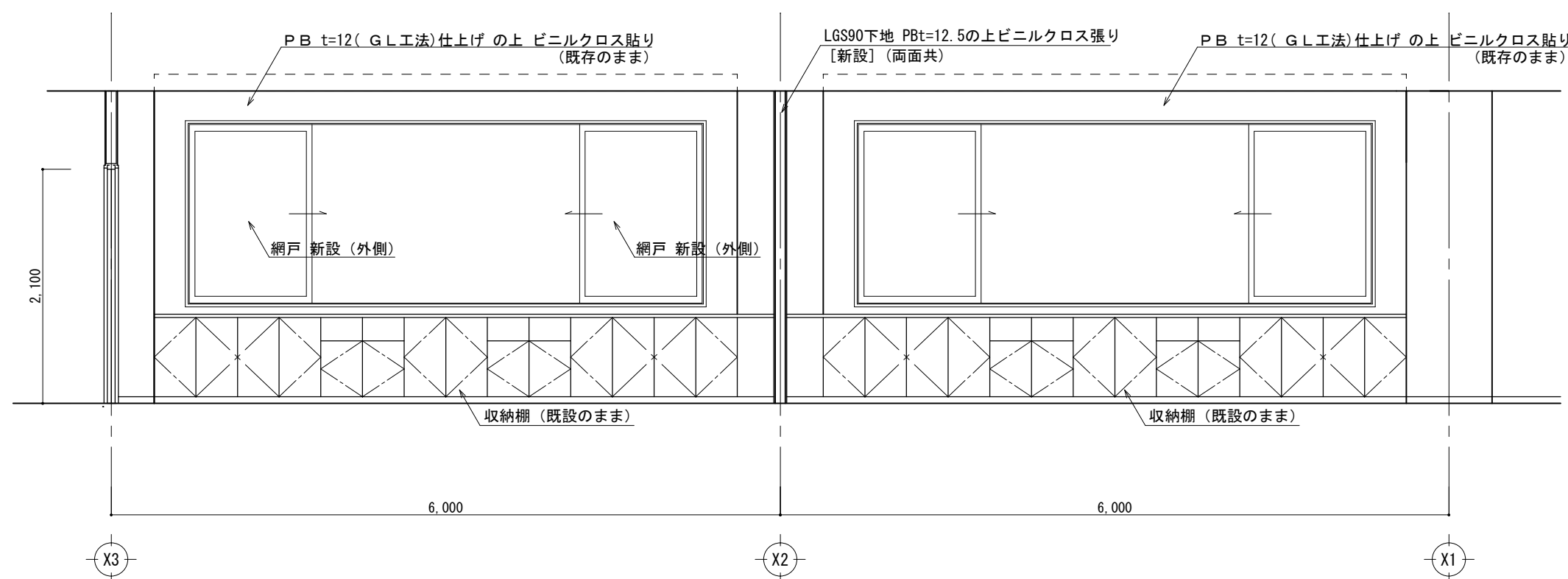
事務室 B面



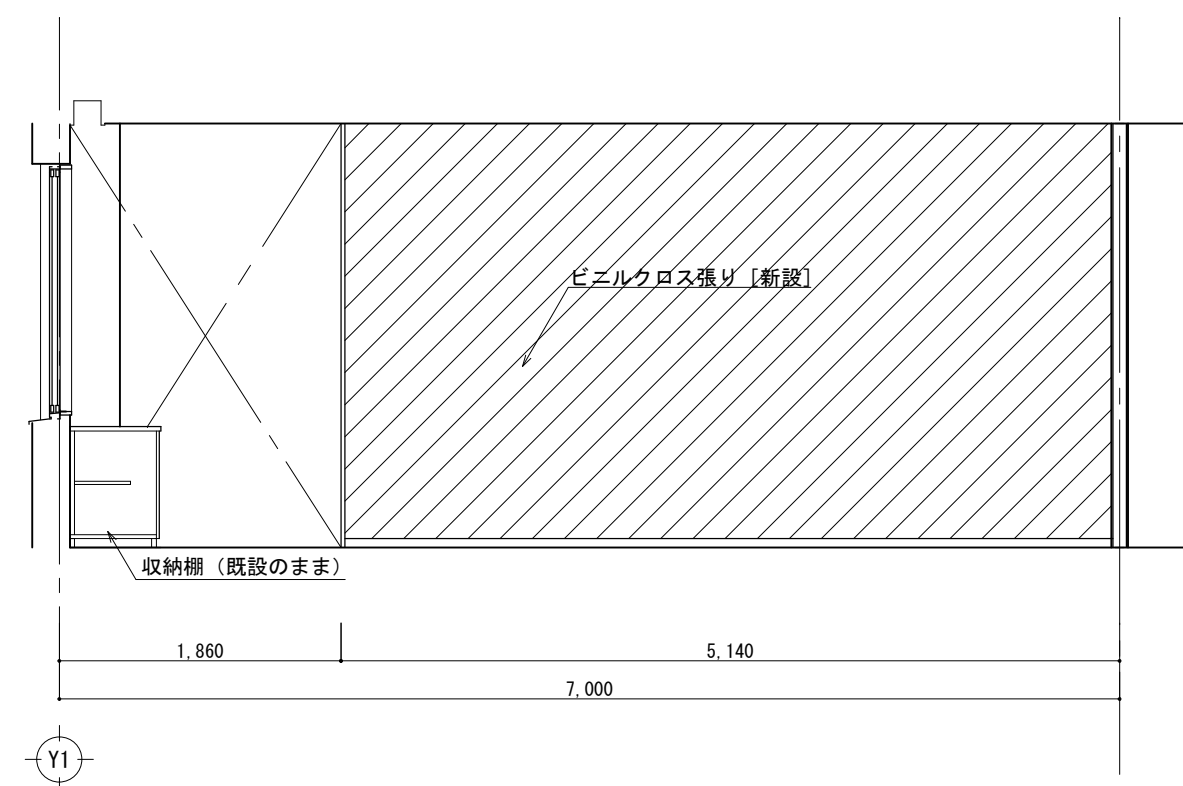
事務室 D 面



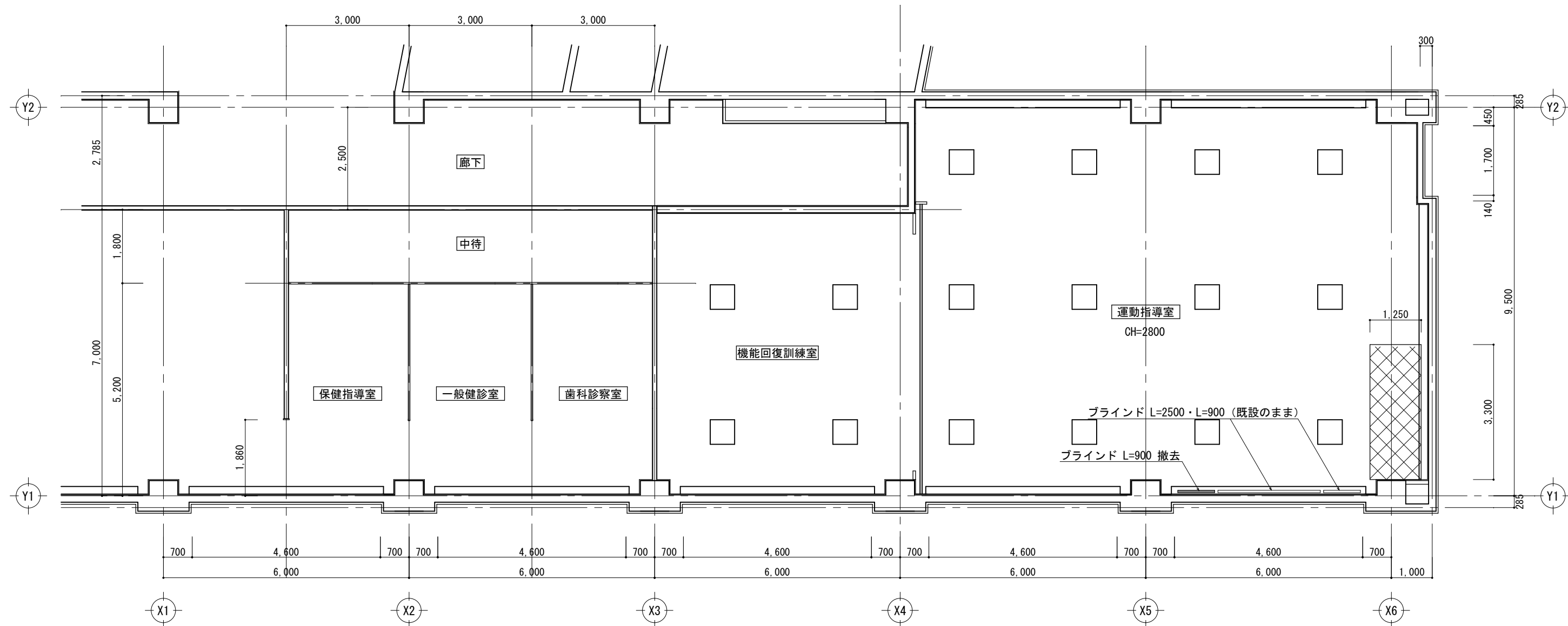
健康相談室 B 面



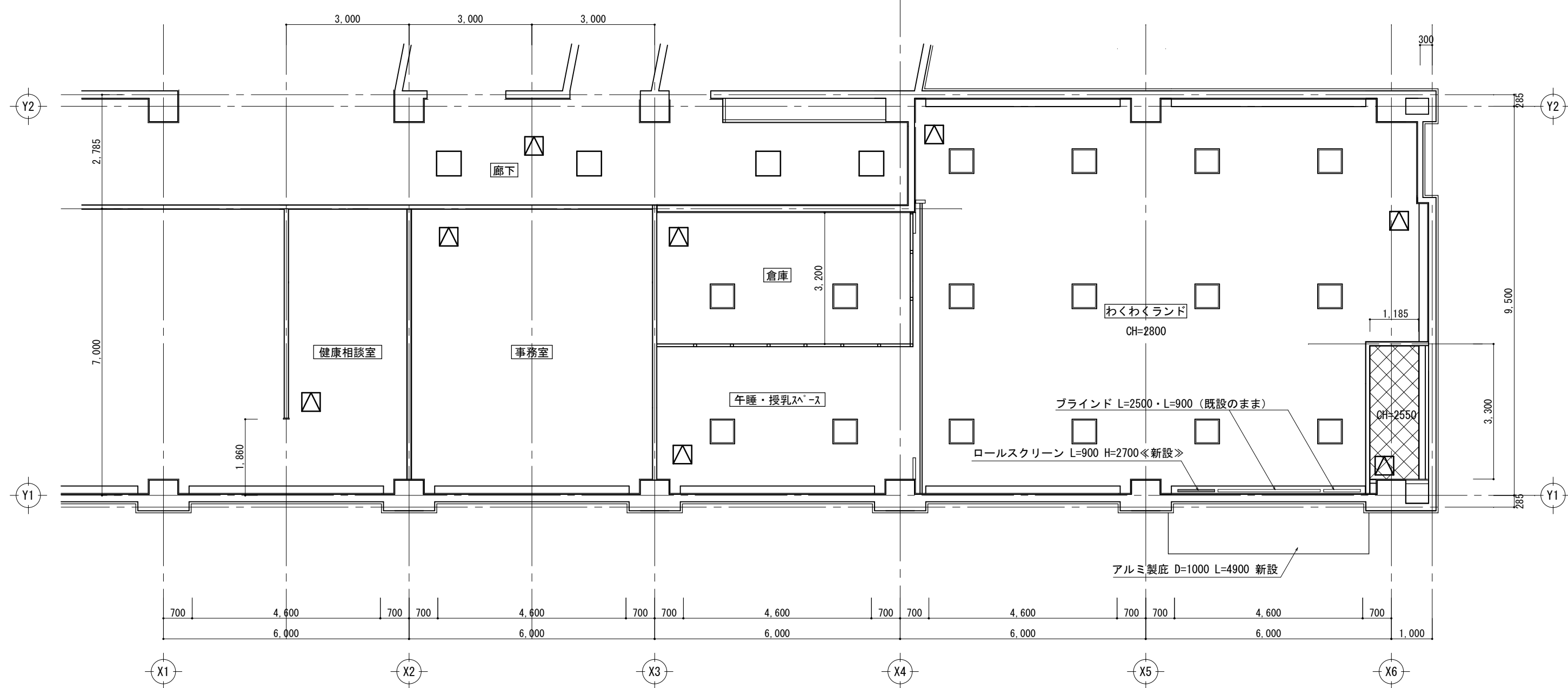
健康相談室・事務室 C 面



健康相談室 D 面

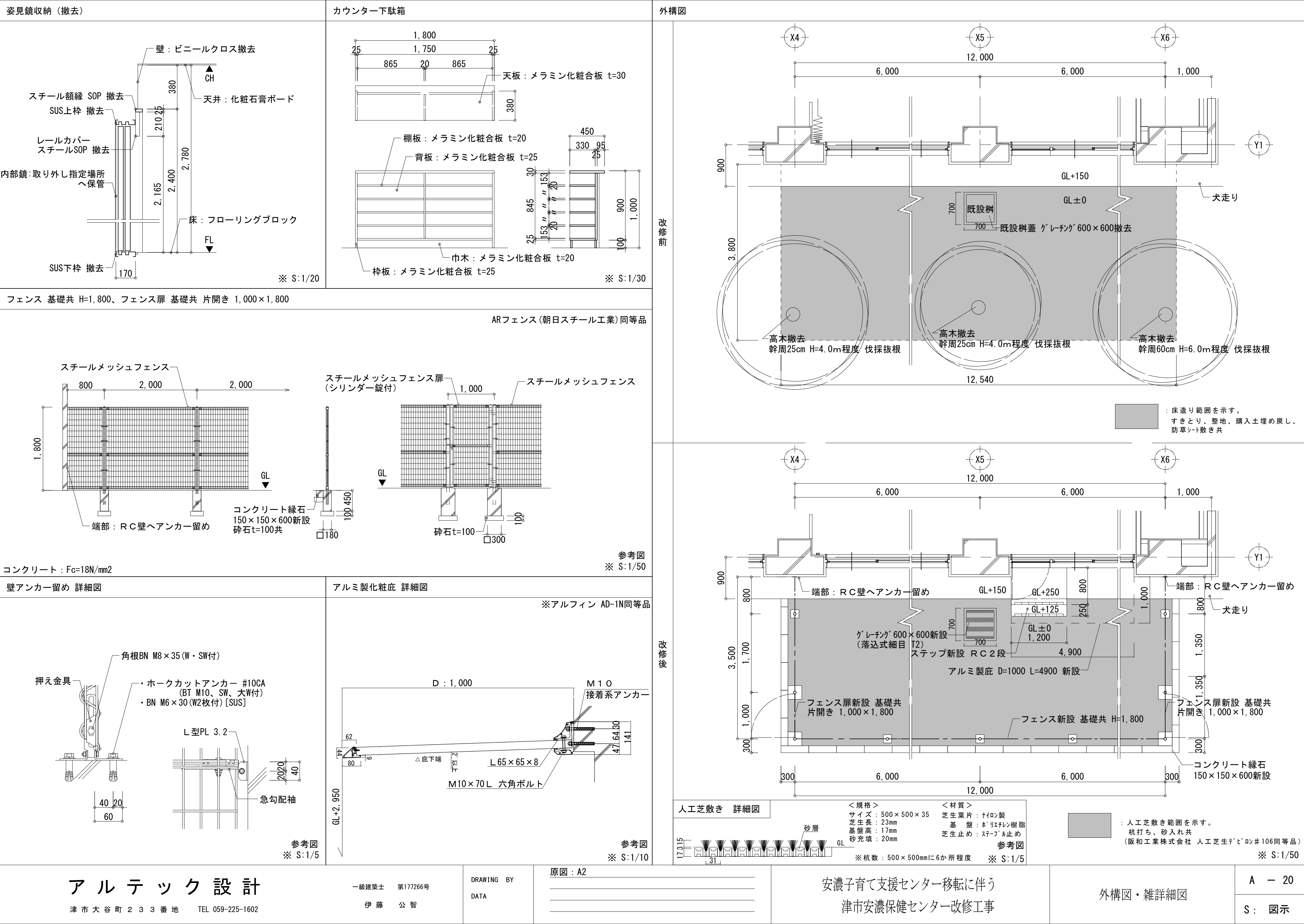


天井伏図(改修前) S: 1/100



天井伏図(改修後) S: 1/100

建 具 表										※ S:1/50		
番 号	名 称	SD-1	スチール吊り戸	撤去	AW-1	FIX付きアルミ片引き窓	撤去	AD-1	アルミ両開きドア	改修		
姿 図	F L ▼											
		1			1			1				
		吊りケース、内部鏡、付属金物一式			付属金物一式			ドアチェック新設、付属金物一式				
番 号	名 称	SP-1	スチールパーテーション	新設	LSD-1	片引き込み軽量鋼製ドア	新設	AW-1	片開きドア・FIX付きアルミ片引き窓	新設		
姿 図	F L ▼											
		倉庫			わくわくランド			わくわくランド				
		1			1			1ヶ所				
見 込 み		70			40			70				
仕 上		戸・パネル：亜鉛めっき鋼板 枠・サッシ：アルミ			枠：アルミ パネル：亜鉛メッキ鋼板			アルマイト				
ガ ラ ス					アクリルパンチング板 t=4+4（乳白色）			ドア：強化ガラス t=4				
金 物		引手、戸車、傾斜レール、本締錠、付属金物一式			ハンガーレール、通し引手、指詰め防止ゴム、亜鉛メッキ額縁、低速ドアクローザー、表示錠			シリンダー錠、レバーハンドル、ドアクローザー、丁番、クレセント、戸車、引手、アルミ水切り、アルミ額縁、SUS網戸（外付け）2枚				
番 号	名 称	AW-2	FIX付きアルミ片引き窓(網戸のみ新設)	改修	仮 設 平 面 図						※ S:1/200	
姿 図	F L ▼										<div>凡例</div> <div> 床養生範囲 (シート+ベニア)</div> <div> 建物利用者出入口</div> <div> 工事関係者動線</div>	
		わくわくランド、事務室										
		5ヶ所（10枚）										
見 込 み												
仕 上												
ガ ラ ス												
金 物		SUS網戸(外付け)										
アル テ ッ ク 設 計					一級建築士 第177266号		DRAWING BY		安濃子育て支援センター移転に伴う 津市安濃保健センター改修工事		建具表・仮設平面図	A - 19
津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602					伊 藤 公 智		DATA					
											S： 図示	



電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

安濃子育て支援センター移転に伴う津市安濃保健センター改修工事

2. 工事場所

津市 安濃町東観音寺 地内

3. 建物概要

鉄筋コンクリート造3階建（地下1階）

延べ面積 1,768㎡

用途区分（1）6 項目

4. 工事種目

下記において●印を付した工事を対象とする。

●電力設備

●通信・情報設備

●構内配電線路

・受変電設備

・中央監視制御設備

・構内通信線路

・電力貯蔵設備

・医療関係設備

・その他

II. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各平成31年版）

「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各平成31年版）

「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編 各平成31年版）

・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）

・電気工業会の業務の適正化に関する法律

・電気工事士法

・労働安全衛生法

・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）

・電力会社供給約款

・その他関連法令、関連諸基準

III. 特記仕様

1. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 一般事項

（1）工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。

（2）設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に関する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工すること将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。

なお、設計図書のとおりに施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。

（3）他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。

2. 足場

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。

1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者

2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者

3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

3. 三重県産業廃棄物税

本工事に係る産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。

4. 電気工作物の種類

・一般電気工作物

● 家用電気工作物

5. 電気工事士

電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

6. 電気工業会の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

7. 電気保安技術者

電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。

なお、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。

8. 品質管理
工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

9. 出来形管理
以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。
① 各種盤据付
耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
基礎寸法
水平垂直
② 配管・配線工事
支持間隔
③ スイッチ類の取付高さ

10. 測定機器の校正等
試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）等を提出する。
また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。

11. 施工計画等
受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。
なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。
① 総合施工計画書
包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。
② 工種別施工計画書（施工要領書）
各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。
③ 施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図）
主要機器、重量機器等については、固定方法の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。
④ 耐震計算書

12. 機材等
工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。
① 機器明細図
② 設計計算書
設計図書による他、監督員の指示による。

13. 工事写真
営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

14. 施工条件
監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。
(1) 施工可能日
・ 指定なし
・ 一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）
・ 指定あり
指定日（・ 施設休業日 ・ 打ち合わせ ・ その他（ ））
(2) 施工可能時間帯
・ 指定なし
・ 一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）
・ 指定あり
指定時間（（・ ）時～（・ ）時 ・ 打ち合わせ ・ その他（ ））
(3) その他（ ）

15. 事故の発生時
工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。
なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

16. 建設副産物
(1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出した場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。また、工事の変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬出した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。
なお、計画書及び実施書の提出とともにJ A C I Cが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。
(2) 請負額1億円以上の工事において、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。

17. 発生材の処理等
(1) 引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。
(2) 特別管理産業廃棄物
・ 変圧器 ・ コンデンサ ・ その他（ ）
現場内の監督員の指示する場所へ保管するものとする。
なお、施工に際してP C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
(3) 現場内において再利用を図るもの
・ 発生土 ・ その他（ ）
(4) 再資源化を図るもの
・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材
(5) 水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの
・ 蛍光ランプ ・ H I ドランプ（高輝度放電ランプ） ・ その他（ ）
「水銀廃棄物ガイドライン」（平成29年6月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に基づき適切に 処理すること。
(6) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。
また、再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。
(7) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。
（マニフェストA、B2、D票を提示すること。）

18. 官公署への手続き
工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
●消防設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係
・その他（ ）

19. 消防法関係の手続き
(1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・本工事 ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・別途工事
(2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

20. 工事用仮設物
構内への設置 ・できる（施設管理者と協議） ・できない

21. 工事用電力
構内既存の施設
●利用できる（ ・有償 ●無償） ・利用できない
本工事で新規受電した時からの電力料金は本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

22. 工事用水
構内既存の施設
●利用できる（ ・有償 ●無償） ・利用できない

23. 工事中等の保安監理
電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。

24. 搬入計画
大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。

25. 製品確認
発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、

26. 機材等の検査及び試験
検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

27. 完成確認及び完成検査時等の電源確保
機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

28. 完成時の操作説明
総合盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

29. 完成図等
作成する（ ・完成図 ・保全に関する資料 ・（ ））
完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は、発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

30. 完成写真
デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

31. 不正軽油の使用の禁止
(1) 市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
(2) 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
(3) 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

32. 現場での安全確保（自主施工の原則）
(1) 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
(2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

2. 施工仕様
下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
1. 既設設備等の調査
既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。
(1) 地中埋設管路

1) 項目	・埋設配管	・構造物	・その他 ()
2) 調査範囲	・埋設ルート	・その他 ()	

(2) 貫通及びはつり

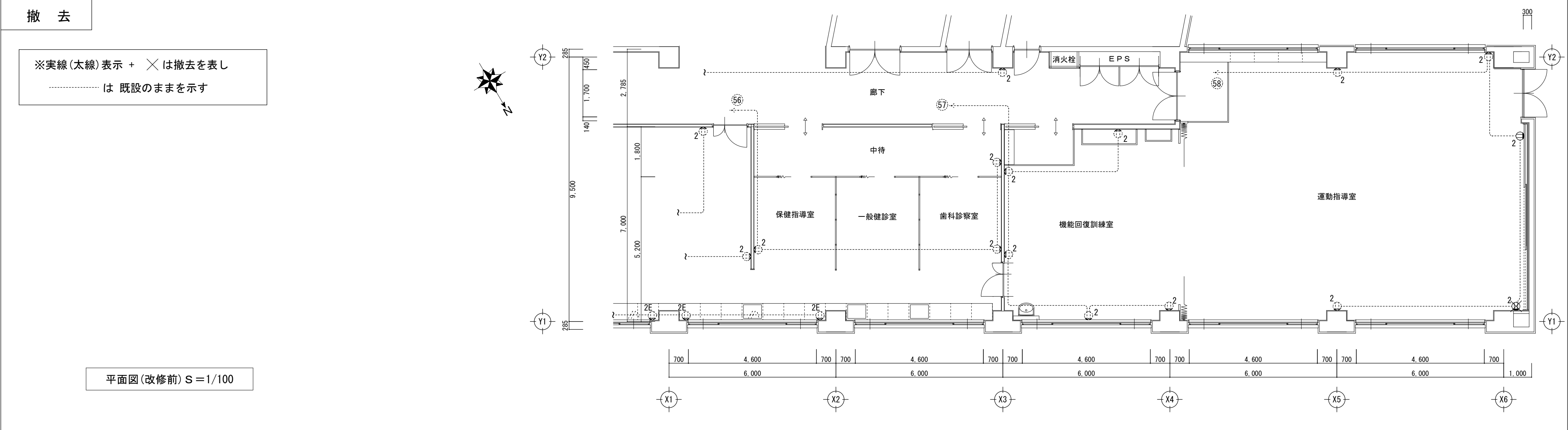
1) 項目	・鉄筋	・配管	・その他 ()
2) 調査範囲	・施工部分	・その他 ()	

(3) 既設との取合い

1) 項目	・接続箇所	・増設箇所	・その他 ()
2) 調査範囲	・施工部分	・その他 ()	
2. 施工前の測定等
改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認等を着工前に行い、監督員に報告すること。
3. 耐震施工
(1) 想定される地震に対応するものとする。
(2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。
4. 耐震基準
耐震措置の計算及び施工方法は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部)及び「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」((一財)日本建築センター)を適用する。
5. はつり
(1) 4開け及び補修 ・なし ・あり (貫通場所及び口径は別図による)
(2) 溝はつり及び補修 ・なし ・あり (はつり深さは別図による)
6. あと施工アンカー
性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない
7. 基礎の配線ビット
基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。
8. 配管・配線の耐震処置
建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない
建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ・行わない
9. 最上階の埋込配管
最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。
10. 露出配管
(1) 雨漏れなど水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。
(2) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。
(3) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。
(4) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。
11. 合成樹脂管
(1) 合成樹脂管の管端には、ブッシングを取り付ける。
(2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)
12. 予備配管等
埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は(P F 22)を1本、5回路以上は(P F 22)を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。
13. 金属製電線管等の塗装
(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。
① 屋外、屋内(電気室、機械室、EPS、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。
② 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。
(2) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。)
(3) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。
(4) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。
14. 導入線
通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。
15. 予備スリーブ
梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。
なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。
16. ボックス類
位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として合成樹脂製とする。
17. 軽量間仕切のボックス
軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。
18. プルボックス
(1) 屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。
(2) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。
19. ボルト・ナット類
屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの
・ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ

<div> <div> アルテック設計 </div> <div> 津市大谷町233番地 TEL059-225-1602 </div> </div>	<div> 一級建築士 第177266号 </div> <div> 伊藤 公智 </div>	DRAWING BY		<div> 安濃子育て支援センター移転に伴う 津市安濃保健センター改修工事 </div>	<div> 電気設備工事特記仕様書 1 </div>	E-1
		DATE				S=N, S

16. 拡声設備 (1)機器 (2)増幅器 (3)付属機器 (4)操作装置 (5)スピーカ	・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他 () ・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用出力 () W 出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置 (・CD ・メモリアーディオ ・その他 ()) ・アナウンスレコーダ (・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマー ・その他 ()) ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン (・電波式 (・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・ラジオチューナー (・FM ・AM ・その他 ()) ・スピーカ切替装置 ・その他の機器 () ・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他 () ・非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照) ・専用結線 ・1W ・3W ・ () W インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他 ()	23. 自動閉鎖設備 (1)機器 (2)運動制御器 (3)感知器 (4)自動閉鎖装置 (5)自動開錠装置	・運動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置 ・その他 () 1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉 ・その他 () 2) 回線数 () 回線 (遠方復帰機構 () 回路) 3) 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 煙感知器 (・2種 ・3種) 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 機器仕様 ・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他 () 1) 方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他 () ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()	24. 非常警報設備 (1)設備 (2)非常放送装置	・非常放送装置 ・非常ベル 1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ●スピーカ ・非常用リモコンマイク ・その他 () 3) 増幅器 ①出力 () W ②出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他 () ④機能 ・マイク放送 ・運動放送 (・自火報設備 ・緊急地震速報設備) ・その他 () ⑤用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 4) スピーカ ①結線 ●1W ・3W ・ () W ②インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 ③設置場所 ●屋内 ・屋外 ・その他 () ④用途 ●拡声設備兼用 ・非常放送専用 5) 非常用リモコンマイク 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他 () 1) 機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他 () 2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス (別途) に組込 ・その他 ()	(3)非常ベル (自動サイレンを含む)	25. ガス漏れ火災 警報設備 (1)機器 (2)受信機 (3)副受信機 (4)検知器 【中央監視 制御設備】 【医療関係設備】 【構内配電線路】	・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器 ・その他 () 1) 回線数 () 回線 2) 種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用 3) 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 () 設置 ・単独 (・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤 ・その他 () 1) 動作 ・単独 (単独動作) ・運動 (受信機に伝送) 2) 定格電圧 ・AC100V ・DC24V (受信機等から供給) ・その他 () 3) ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式 ・仕様詳細は別紙による。 ・仕様詳細は別紙による。 26. 構内配電線路 (1)配線方式 (2)建柱 (3)装柱機器 (高压用) (4)装柱機器 (低压用) (5)ハンドホール マンホール (6)錆鉄蓋 (7)地中ケーブル 保護材料	・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 () 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード) ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 (電力仕様) ・無 5) 銘板 ・有 ・無 1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。 1) 機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他 () 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・ () 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1 (走行速度制限箇所)) ・無 1) 錆鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。 1) 種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚銅電線管 ・その他 () 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。	【構内通信線路】 27. 構内通信線路 (1)用途 (2)配線方式 (3)建柱 (4)ハンドホール マンホール (5)錆鉄蓋 (6)地中ケーブル 保護材料 【その他】 28. 消火器	・電話 ・拡声 ・時刻表示 ・火災報知 ・非常警報 ・インターホン ・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他 () ・地中線式 (・直埋 ・管路) ・架空線式 (・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式 (・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他 ()) ・その他 () 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他 () 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他 () 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線 (保護ガード) ・有 ・無) 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無 1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・ () 箇所 4) 重車両の通行 ・有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1 (走行速度制限箇所)) ・無 1) 錆鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。 1) 種類 ・FEP ・GLT (PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚銅電線管 ・その他 () 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他 () 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。 5. 使用資機材の適用規格 (1)以下に定めたとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格 (JIS規格) 適合品の使用を原則とする。 ● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品 ・電気用品安全法適合品 ● 耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル ・消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの ・第三者認証機関として(一社)日本電線工業会規格 (JCS規格) への適合性検査を行い合格したもの ● 非常用照明器具 ・建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ・(一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの ● 誘導灯 ・登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA誘導灯認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 制御盤 ・(一社)日本配電制御システム工業会規格 (JSIA規格) 適合品 ● 消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品 ・登録認定機関 ((一財)日本消防設備安全センター (消防用設備等認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● 不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品 ・(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの ● 金属閉鎖形スイッチギア ・(一社)日本電機工業会規格 (JEM規格) 適合品 ● 高圧機器 (遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器) ・(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品 ● 直流電源装置 (防災電源用) ・登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA蓄電池設備認定委員会)) の認定をうけ、認定証票が貼付されたもの ● 交流無停電電源装置 ・(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品 ● 自家発電装置 (防災電源用) ・登録認定機関 ((一社)日本内燃力発電設備協会) の認定を受け、認定証票 (長時間形) が貼付されたもの ● 自家発電装置 (防災電源用でないもの) ・(一社)日本電機工業会規格 (JEM規格) 適合品 ● 太陽電池モジュールの支持物 ・電気設備の技術基準の解釈第46条第2項又は第3項の規定に適合するもの ● 電話用設備 (電話交換機、電話機等) ・登録認定機関 ((一財)電気通信端末機器審査協会 (JATE) 等) の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの ● 非常用放送設備 ・登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ● テレビ共同受信機器 ・優良住宅部品 (BL部品) の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ・(一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの ● 自動火災報知設備 ・登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの (2)特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。
アルテック設計		一級建築士 第177266号	DRAWING BY	原図：A2	安濃子育て支援センター移転に伴う 津市安濃保健センター改修工事		電気設備工事特記仕様書 3	E-3			
津市大谷町233番地 TEL059-225-1602		伊藤公智	DATE				S=N. S				



撤 去

※実線(太線)表示 + ×は撤去を表し
.....は 既設のままを示す
※(再)傍記は一時取外し再取付を示す

記 号	仕 様
f41	埋込(ℓ-ℓ'-付) FL40Wx1
f42	埋込(ℓ-ℓ'-付) FL40Wx2
p554	埋込(ℓ-ℓ'-付) FPL55Wx4(□600)
h75	LED埋込型ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ器具 (□600)
d41	FL40Wx1 (特大型) 壁付
f21	FL20Wx1 天井吊

平面図(改修前) S=1/100

運動指導室	p554	12	(撤去)
	h75	4	(再)
	d41	1	(撤去)

保健指導室	f42	2	(再)
	f42	4	(既)

一般検診室	f42	1	(再)
	f42	5	(既)

歯科診察室	f42	6	(既)
-------	-----	---	-----

機能回復訓練室	p554	4	(撤去)
	f21	1	(撤去)

改 修

※.....は 既設を示す
※(再)傍記は既設再取付品を示す

A75	LED ｵｰｽﾀｲﾄ	B12	LED ｵｰｽﾀｲﾄ
公共施設型番:LRS15-6-110		公共施設型番:LRS1-13	
aB	B級 (BH) 形	bB	B級 (BH) 形 (両面型)
公共施設型番:SH1-FBF20-BH		公共施設型番:ST1-FSF23-BH	

平面図(改修後) S=1/100

健康相談室	f41	1	(再)
	f42	2	(再)
	f42	4	(既)

事務室	f41	2	(再)
	f42	1	(再)
	f42	11	(既)

午睡・授乳ｽﾍﾞｰｽ	A75	2	
	bB	1	

倉庫	A75	2	
----	-----	---	--

電灯設備 平面図

- 3 VVF1. 6-2C(天井ころがし)
- 4 VVF1. 6-3C(天井ころがし)
- 6 VVF1. 6-2C x 2(天井ころがし)
- 8 VVF1. 6-3C x 2(天井ころがし)
- 8 VVF1. 6-3C x 2+2C(天井ころがし)
- AE1. 2-2C (天井ころがし) リモコンスイッチ
- ▽ 人感センサ (換気扇連動型)
- 2S 操作ユニット (2回路用)
- 1 リモコンスイッチ (1回路)
- 8 リモコンスイッチ (8回路)
- ★ : 既設配線と接続を示す。
- (*) : 既設流用を示す。
- (h) : カバープレート取付を示す
- : 4回路用リモコンレ (天井内取付用T/U付) 参考型番 WR34629
- : 位置ボックス
- : 天井点検口 (450x450) (建築工事)
- (※A) □ 及びその一次側電源はコンセント設備兼用

アル テ ッ ク 設 計

一級建築士 第177266号

伊 藤 公 智

津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602

DRAWING BY

DATE

原図 : A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

電灯設備 平面図

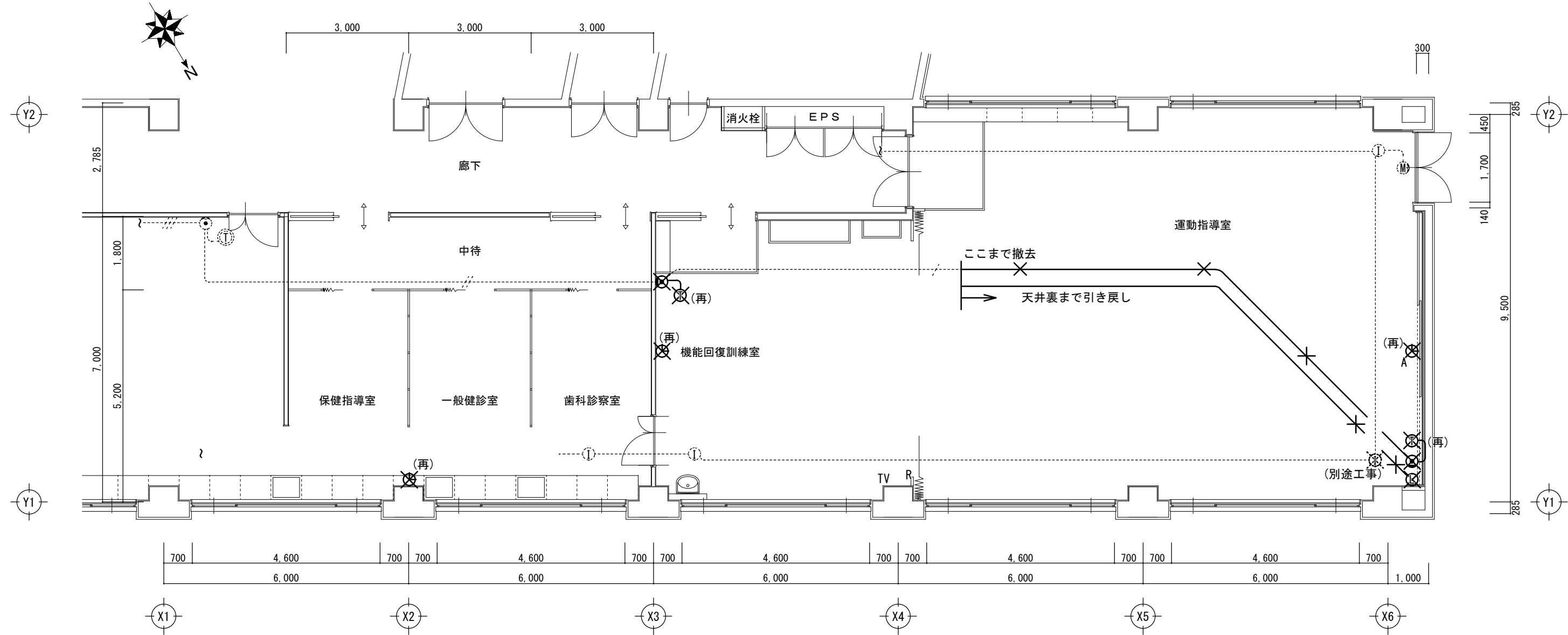
E-5

S=1/100

撤 去

※実線 (太線) 表示 + × は撤去を表し
..... は 既設のままを示す
※ (再) 傍記は一時取外し再取付を示す

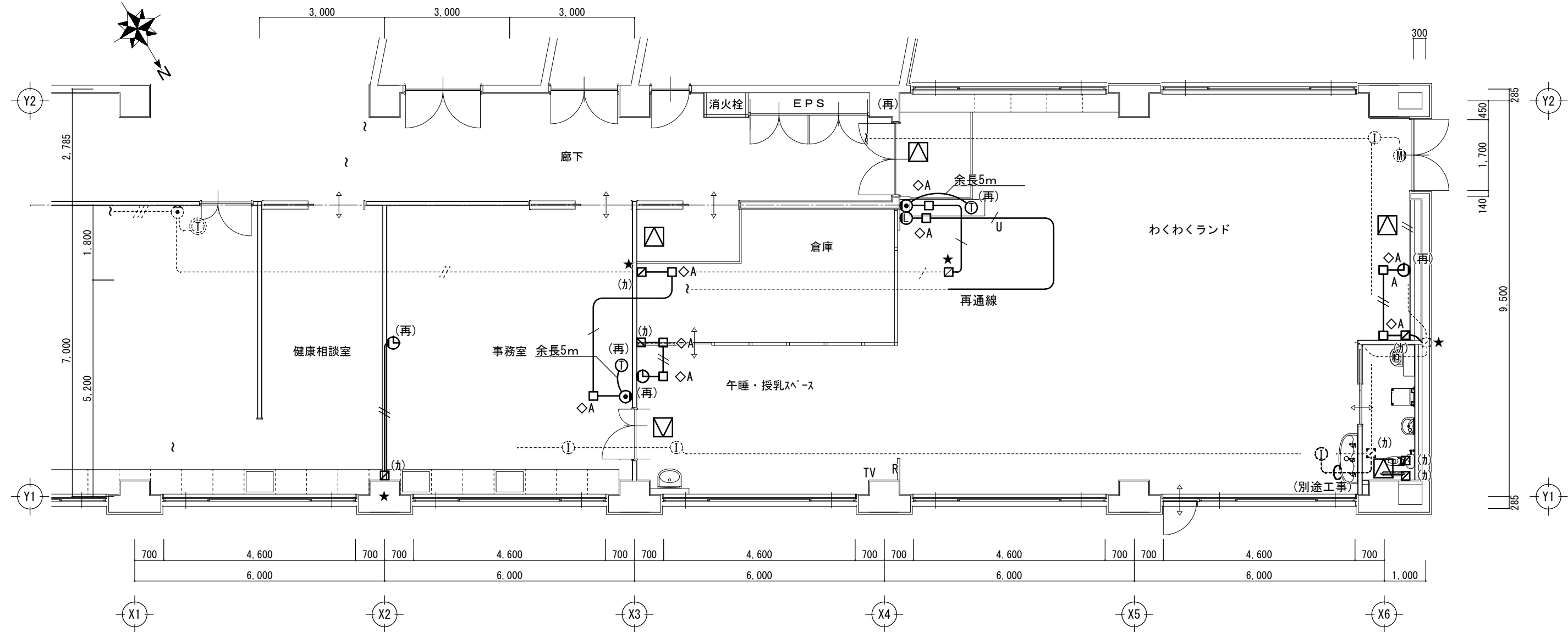
⊙_A :子時計 (壁掛 310φ)



平面図 (改修前) S=1/100

改 修

※ は 既設を示す
※ (再) 傍記は既設再取付品を示す



平面図 (改修後) S=1/100

- ⊙_(PF22) : (PF22)
- ⊙_(PF22) : (PF22)
- TIVF 0.65-2C (PF16)
- UTP 0.5-4P Cat-5e
- AE1.2-2C
- ◇_A : 1種金属線び (A型) 保護を示す
- ▽ : 天井点検口 (450x450) (建築工事)
- ★ : 既設配線と接続を示す
- (カ) : カバープレート取付を示す
- (再) : 既設再取付品を示す
- : 位置ボックス
- ⊙ : LANジャック
- ⊙ : 壁掛け時計
- ⊙ : TELジャック
- ⊙ : 電話機

※再設置に当たり、電話機は卓上置きとし、電話機TELジャック間の線余長は5mとする

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

原図 : A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

弱电設備 (1) 平面図

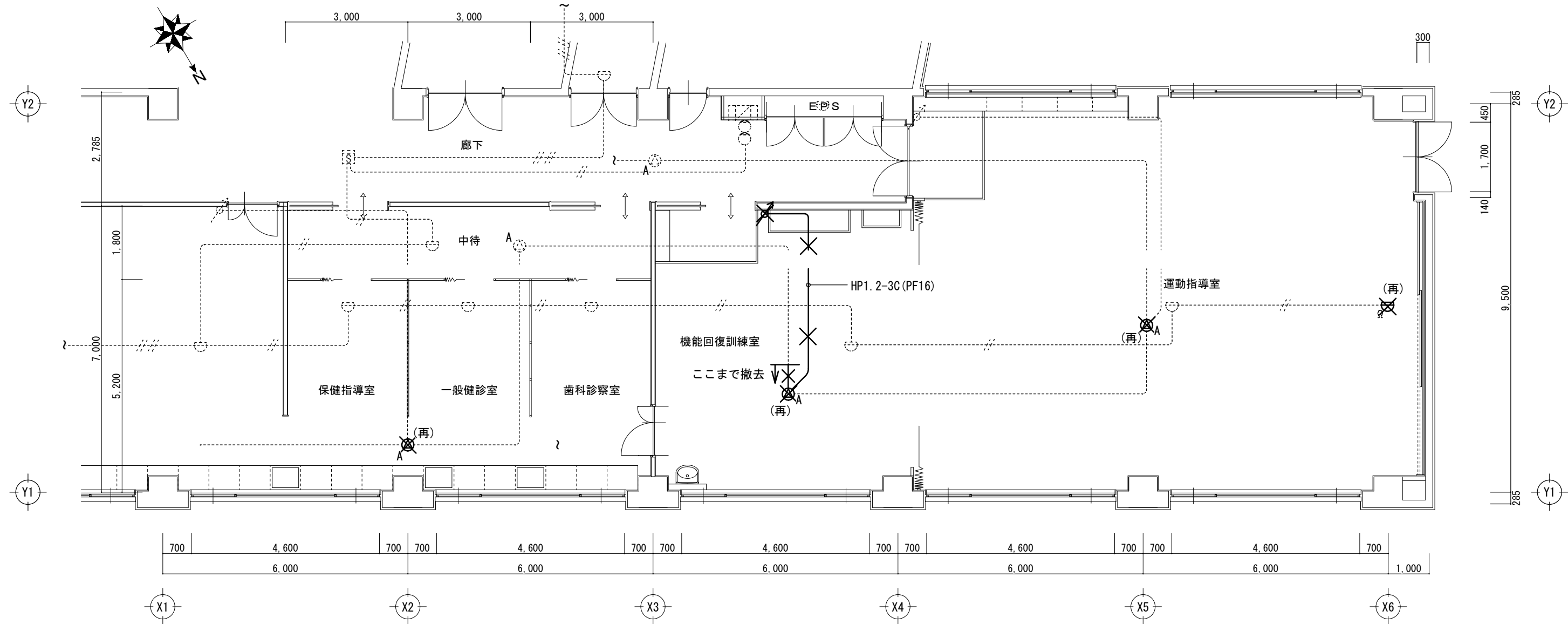
E-6

S=1/100

撤 去

※実線(太線)表示 + ×は撤去を表し
.....は 既設のままを示す
※(再)傍記は一時取外し再取付を示す

⊙_A :天井埋込スピーカ-(1W・L級)
○ :差動式漏電型感知器



既設 平 面 図 S=1/100

改 修

※.....は 既設を示す
※(再)傍記は既設再取付品を示す

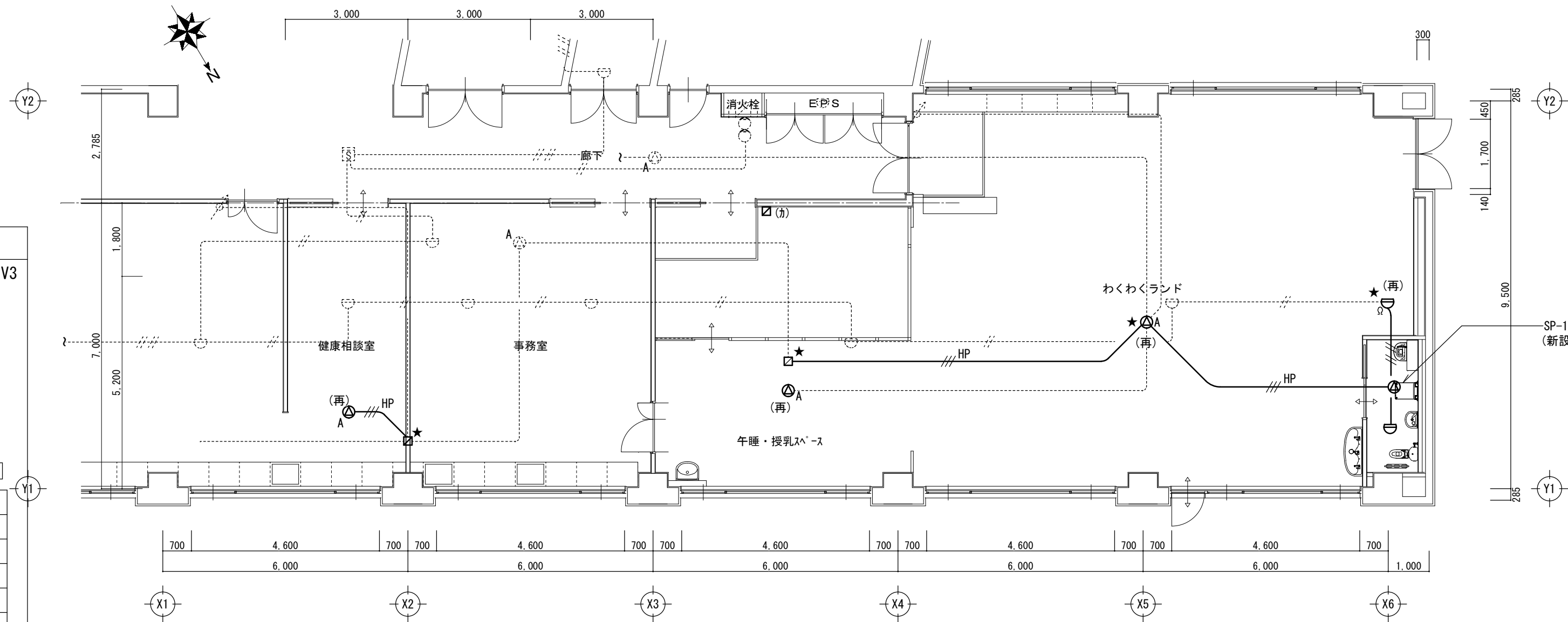
⊙ SP-1 天井埋込型スピーカ (ATT付)
公共施設型番: SC4Hi-1 (3) V3

134 15.5 59.5

198

日本消防検定協会認定品 L級

スピーカーユニット	12 cmコーン
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	100 Hz~18 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド
パネル	パンチング



平面図(改修後) S: 1/100

//// AE1. 2-4C
///HP HP1. 2-3C
★ : 既設配線と接続を示す
(再) : 既設再取付品を示す
(カ) : カバープレート取付を示す
□ : 位置ボックス

アル テ ッ ク 設 計

津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊 藤 公 智

DRAWING BY

DATE

原図: A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

弱电設備 (2) 平面図

E-7

S=1/100

機械設備工事特記仕様書		(11) 発生材の処理等	■建築工事に準じる	(22) 不正軽油の使用の禁止	1) 一般事項	9 工事細目
1 工事名称	安濃子育て支援センター移転に伴う津市安濃保健センター改修工事	1) 引渡しを要するもの	()	1) 一般事項	工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。	(1) 配管材料
2 工事場所	津市 安濃町東観音寺 地内	2) 特別管理産業廃棄物	()	2) 調査の協力	受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。	部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。
3 建築概要	R C造 3 階建（地下1階） 消施令の適用 1 6項イ	処理方法	()	また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。	3) 是正措置	■ 給水管
4 適用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。	3) 現場内において再利用を図るもの	<input type="checkbox"/> 発生土 <input type="checkbox"/> その他 ()	また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。	2) 測定機器の校正記録	□ 水道用硬質強化ビニルライニング鋼管 JWMA K116 （一般：SGP-VB 地中；SGP-VD） □ フランジ付硬質強化ビニルライニング鋼管 WSP 011 （一般：SGP-FVA、FVB 地中；SGP-FVD） ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。 □ 水道用硬質ポリ強化ビニル管 JIS K 6742 （一般・地中：H1VP） □ 水道配水用ポリエチレン管 JWMA K 144（地中：PE） □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
5 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで得る不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意図的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。	4) 再資源化を図るもの	(<input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input type="checkbox"/> アスファルトコンクリート塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材)	3) フロン回収及び充填	1) 使用機械	■ 雑排水管
(1) 提出図書	□建築工事に準じる	5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。	6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マニフェスト、B2、D票を提示すること。）	2) 測定機器の使用	2) 測定機器の校正記録	□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 土間・一般：硬質ポリ強化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ 土間：リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質強化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
1) 工事書類	・ 施工計画書 ・ 打合記録 ・ 施工要領書 ・ 機器使用図 ・ 機器明細図 ・ 工程表 ・ 施工図等	6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マニフェスト、B2、D票を提示すること。）	(12) 電気保安技術者	3) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	3) フロン回収及び充填	■ 通気管
2) 工事完成図書	・ 品質確認書類 ・ 工事日報 ・ 工事写真 ・ 安全・訓練実施記録 ・ 竣工図【製本4（原寸 2部、A3（見開き）2部）】 ・ 機器完成図（ファイル等1部） ・ 保守に関する説明書（取扱説明書・保証書） 2部 ・ 機器性能試験成績書 1部 ・ 総合調整測定表（試験結果・測定結果等） 1部 ・ 官公署届出書類控、検査済証 1部 ・ 出来形確認書類 1部 等	7) 仮設工事	□ 配置する	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	4) 現場での安全確保（自主施工の原則）	□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白） ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） ■ 硬質ポリ強化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質強化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。		8) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。	■ 汚水管
※ 工事写真は賞給工事写真撮影要領（国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。		9) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 排水用硬質強化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPF MDJ 002 ■ 土間・一般：硬質ポリ強化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ 土間：リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質強化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。		10) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 鉛管
(2) 機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。	11) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 給湯管
(3) 官公署等への届出手続	工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。	12) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 排水・通気用鉛管 SHASE-S203 □ 水道用耐熱性硬質強化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 （一般：SGP-HVA 地中；WHTLP 内外面耐熱性硬質強化ライニング鋼管） □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448
1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成	<input type="checkbox"/> 本工事（ <input type="checkbox"/> 建築工事 <input type="checkbox"/> 電気設備工事 <input type="checkbox"/> 機械設備工事） <input type="checkbox"/> 別途工事	13) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ ガス管
2) 防火対象物使用開始届出書書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。		14) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 土間：強化ビニル被覆鋼管（黒） □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE） ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ ガス事業者の供給規定に準じる
(4) 品質管理	工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。	15) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	■ 消火管
(5) 出来形管理	以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。	16) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 屋外埋設排水
1) 各種機器据付	・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・ 基礎寸法 ・ 水平、垂直等	17) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 硬質ポリ強化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU） □ リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） □ 排水用リサイクル硬質ポリ強化ビニル管 AS-58（R E P-VU） □ リサイクル硬質ポリ強化ビニル三層管 JIS K 9797（RS-VU） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品） （1類水路用遠心力鉄筋コンクリート管）
2) 配管・ダクト工事	・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔	18) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 冷温水配管
3) 屋外排水工事	・ 排水勾配 ・ 樹の深さ	19) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 水道用耐熱性硬質強化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 （一般：SGP-HVA）
4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ		20) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 冷却水管
(6) 製品確認	発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない	21) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 水道用硬質強化ビニルライニング鋼管 JWMA K116（一般：SGP-VA、VB） □ フランジ付硬質強化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB）
(7) 耐震安全性の分類	構造体（ ）類 建築非構造部材（ ）類 建築設備（ ）類	22) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP- 白） □ 水道用硬質強化ビニルライニング鋼管 JWMA K116（一般：SGP-VA、VB） □ フランジ付硬質強化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB）
(8) 機器の地震力（主要機器）	<input type="checkbox"/> 図示による	23) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ ドレン管
機器名	設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）	24) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 硬質ポリ強化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）（屋内 結露防止層付 VP 屋外 カラーVP） □ 保温層付硬質ポリ強化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP） ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質強化ビニル管VP）又は JIS K 9798（リサイクル硬質ポリ強化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
水槽類	設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）	25) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 冷媒管
その他監督員が指示するもの		26) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 鋼及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 □ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mm（液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい）とする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係示列基準の規定による。
(9) 冷媒（フロン類）の回収	<input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない	27) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 油管
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。		28) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 溶接接合
・ フロン回収行程管理票		29) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ 蒸気管
・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）		30) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	□ プライン管
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。		31) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。		32) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	
(10) 中間技術検査	実施回数（ ）回 実施する段階（ ）	33) 仮設工事	(<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり)	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

原図：A2

安濃子育て支援センター移転に伴う

津市安濃保健センター改修工事

機械設備特記仕様書 1

M-0 1

※ 横走り管の吊り間隔

銅管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下	—	1m 以下
	100A以上	—	2m以下
鉛管	1.5m以下		
鉄鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
銅管	—	50A～100 A	125A～
鉄鉄管	—	—	—
ビニル管 耐火二層管 銅管	25A～40A	50A～100A	125A～

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- ☐ 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGOCA) 鍍金付着Z18以上
 - ☐ ステンレス鋼板 JIS G4305
 - 工法
 - ☐ アングルフランジ工法
 - ☐ 共板フランジ工法
 - ☐ スライドオンフランジ工法
 - 形鋼補強
 - ☐ 山形鋼 JIS G 3101
 - ☐ SUS鋼材 JIS G 4317
 - 丸ダクト
 - ☒ スパイラルダクト
 - ☐ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料
- 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。
- | | | | |
|---|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| ■ グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K | | | |
| ■ 給水管 | ■ 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> |
| (屋外等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 | <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- | | | | |
|--|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| □ ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランケット (防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504 | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> 消火管 |
- | | | | |
|---|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| □ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号 | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷水管 (2～4℃) |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (屋外等) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- | | | | |
|--|------------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| □ 合成樹脂調合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種 (露出) | | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 通気管 | <input type="checkbox"/> ドレン管 |
| <input type="checkbox"/> ガス管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> 油管 | <input type="checkbox"/> 冷却水管 |
| <input type="checkbox"/> ダクト (垂鉛鉄板製) | <input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製) | | |
- | | | | |
|--|------------------------------------|--|--|
| □ さび止めベイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めベイント) 2種 (露出) | | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 (往) | <input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製) | | |

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	80A	100～150A	-	200A～	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	～25A	-	32～50A	65A～	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	～25A	32～200A	250A～

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	～25A	32～200A	250A～	-
冷水管 (冷水温度2～4℃)	-	-	～20A	25A～100A	125A～	-
プライン管	-	-	-	～25A	32～80A	100A～

・ 機器ダクト保温厚		
保温厚		
25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)	
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水、環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部 (ロックウール)	
75mm	煙導 (ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S 内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス粘着テープ	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の屋外露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S 内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク					カラー垂鉛鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・還水貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ熱交換器				カラー垂鉛鉄板 (屋内)	

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	保温板	カラー鉄板		
	機械室	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S 内	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板	
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
	屋外露出、多湿箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サブライチャンパー		鉄	保温板	ガラスクロス	鋼亀甲金網	
消音チャンパー、エルボ		鉄	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温帯			
煙道		プランク	鉄線	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S 02による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	合成樹脂調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
2. E A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
3. R A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
4. O A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()

チャンパー内貼施工

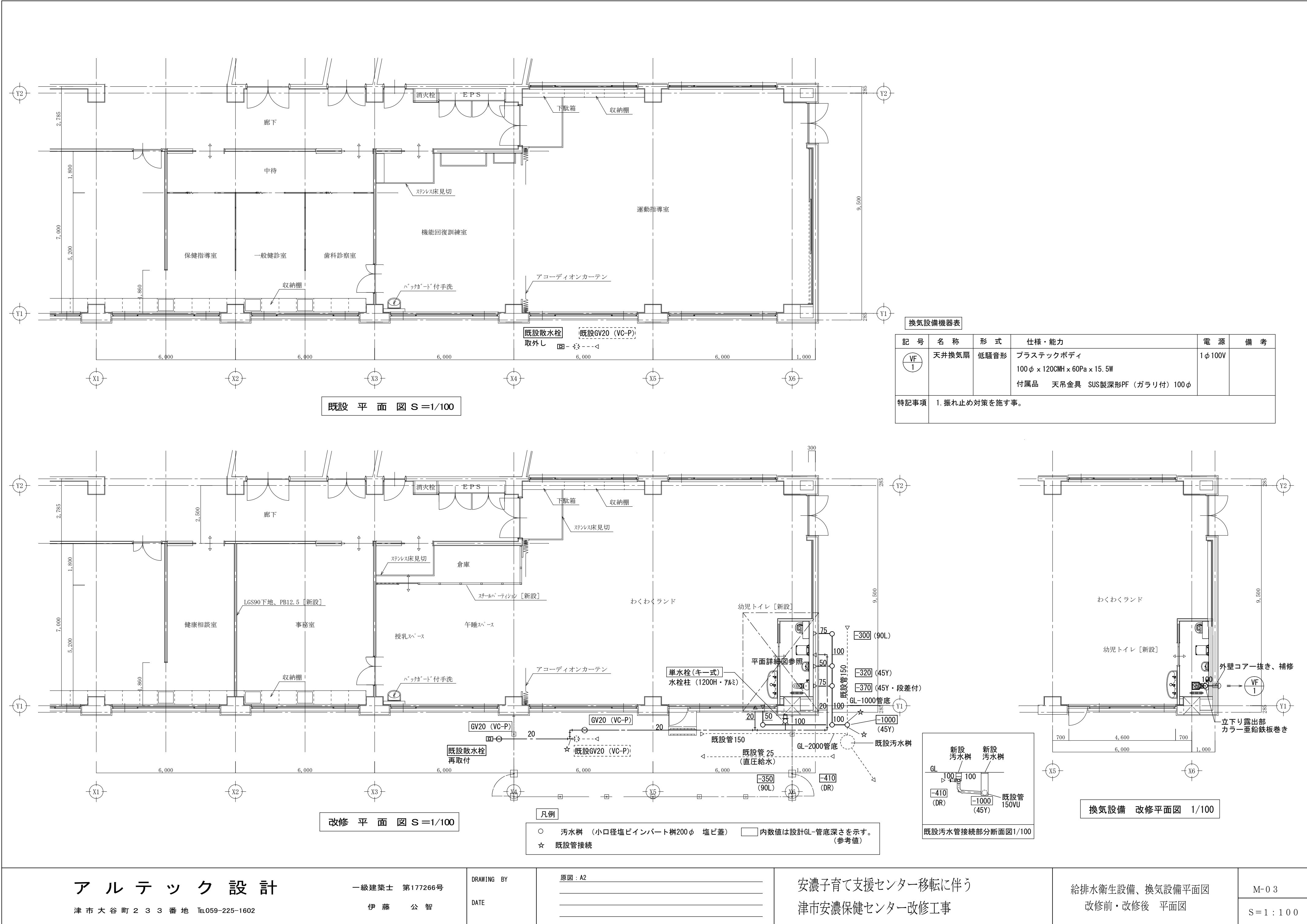
- ☐ 内貼あり (mm) ☐ 内貼なし ☐ 図面による ☐ その他 ()

(4) スリーブ工事

- 1.管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
- 2.地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
- 3.その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続面を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S 内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けのガラリチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設様を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものをを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
- ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 18) 建設発生土は場外自由処分とすること。



換気設備機器表

記 号	名 称	形 式	仕様・能力	電 源	備 考
VF 1	天井換気扇	低騒音形	プラスチックボディ 100φ×120CMH×60Pa×15.5W 付属品 天吊金具 SUS製深形PF（ガラリ付）100φ	1φ100V	

特記事項 1. 振れ止め対策を施す事。

既 設 平 面 図 S=1/100

改 修 平 面 図 S=1/100

換気設備 改修平面図 1/100

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

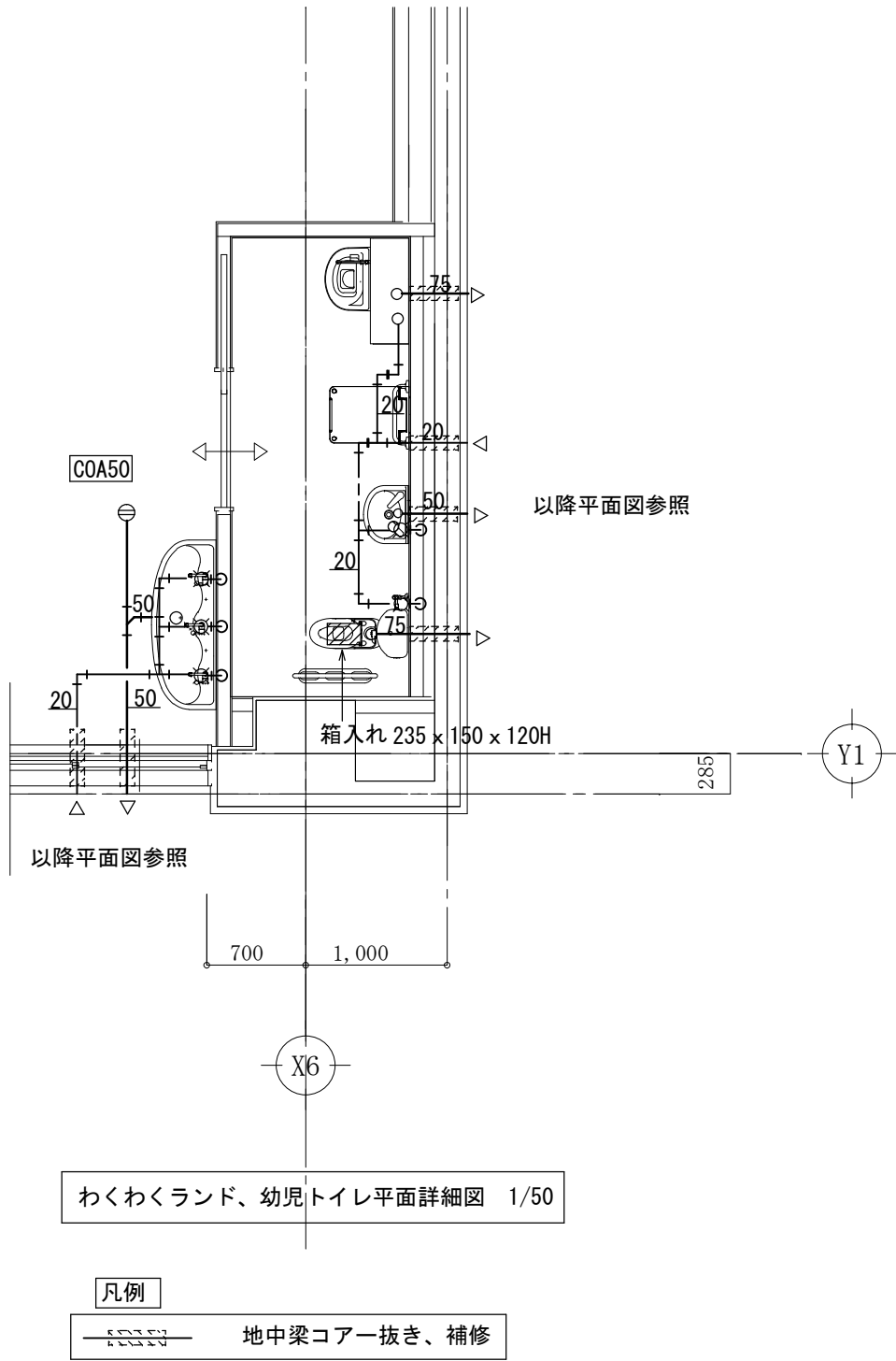
原図：A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

給排水衛生設備、換気設備平面図
改修前・改修後 平面図

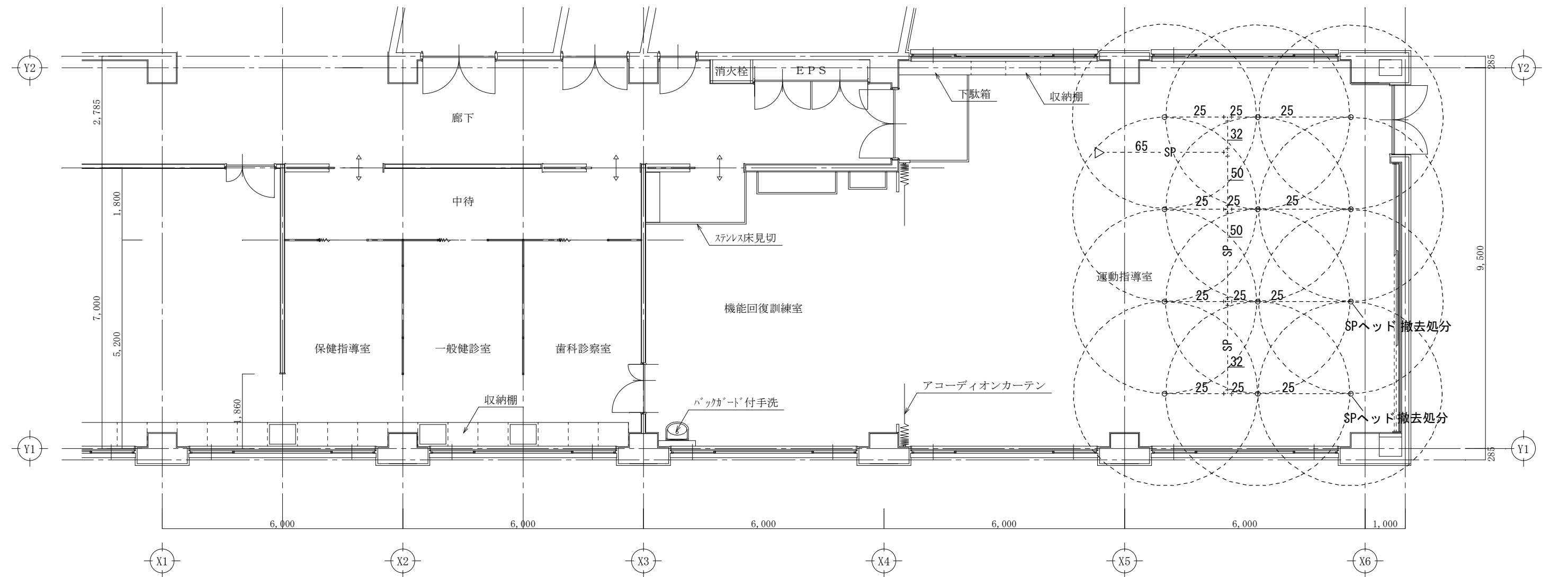
M-03

S=1:100

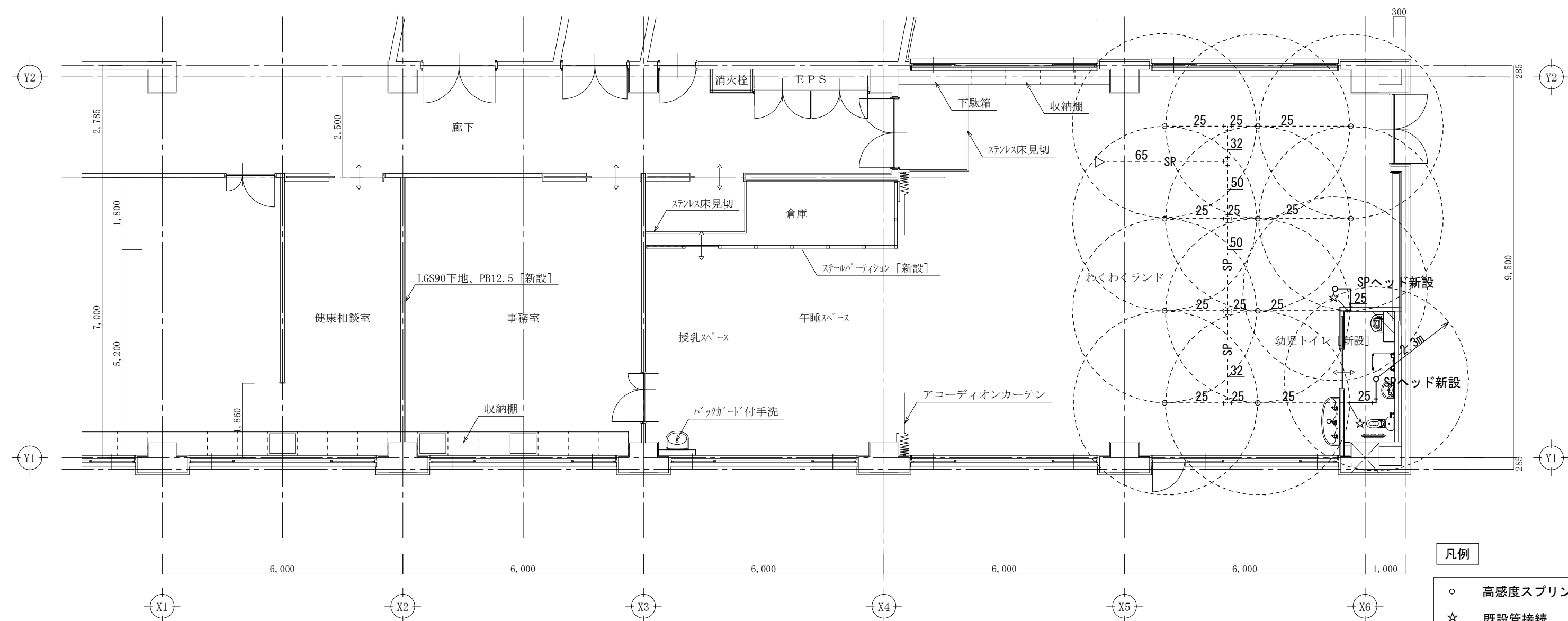


衛生器具表 TOTO

わくわくランド			
幼児用マルチシンク	SKL300LMRASR	底板共、電気温水器（1φ100V 1.1kW 5L）	1
化粧鏡	MMA1	1300×600	1
幼児トイレ			
幼児用便器（1.2歳用）	CS310B	S300BK, TCF41R（暖房便座 1φ100V 32W）	1
手すり（紙巻器付）	YYB10P2S		1
手洗器	L30D	TL106AQR（レバーハンドル）, T22BP, TL4CFU, TL220D	1
壁掛汚物流しバック	UAS23B	UTR141（側板） 1φ100V	1
化粧鏡	YM3045A	300×450	1
フィッティングボード	YKA41		1
手すり	YYB10		1



既設 平面図 S=1/100



改修 平面図 S=1/100

凡例

- 高感度スプリンクラーヘッド 72°C
- ☆ 既設管接続

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATE

原図：A2

安濃子育て支援センター移転に伴う
津市安濃保健センター改修工事

消火設備平面図
改修前・改修後 平面図

M-05

S=1:100